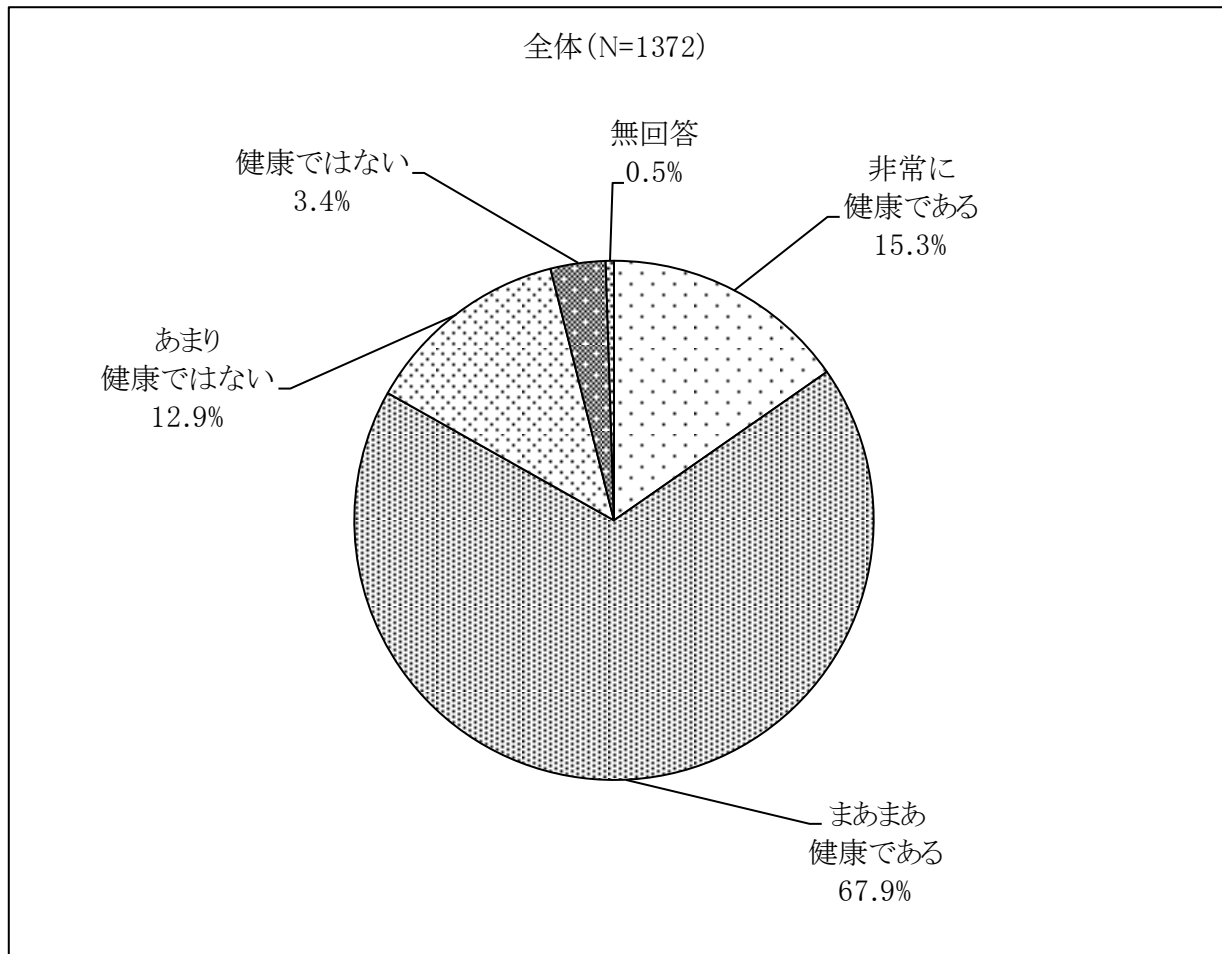


## Ⅱ 市民の健康づくり

### － i あなたの健康づくり－

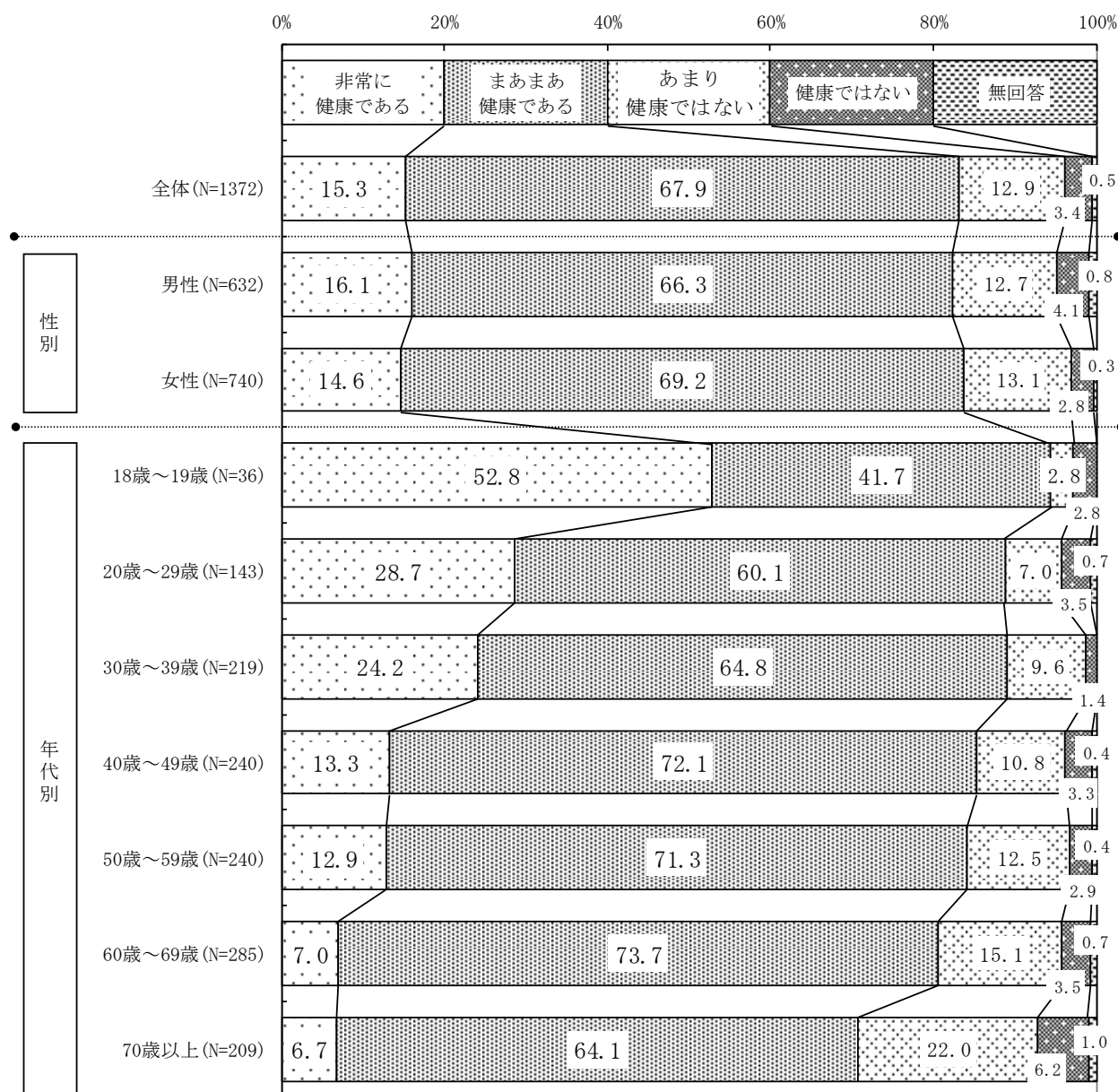
#### ■ 自分の健康状態に関する認識

問 1      あなたは、現在のご自分の健康状態をどのように感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



自分の健康状態を「非常に健康である」と回答した人は全体の 15.3%で、「まあまあ健康である」の 67.9%を合わせると“健康である”という回答は 83.2%と 8 割を超える。

自分の健康状態を“健康である”と回答している人は、83.2%。

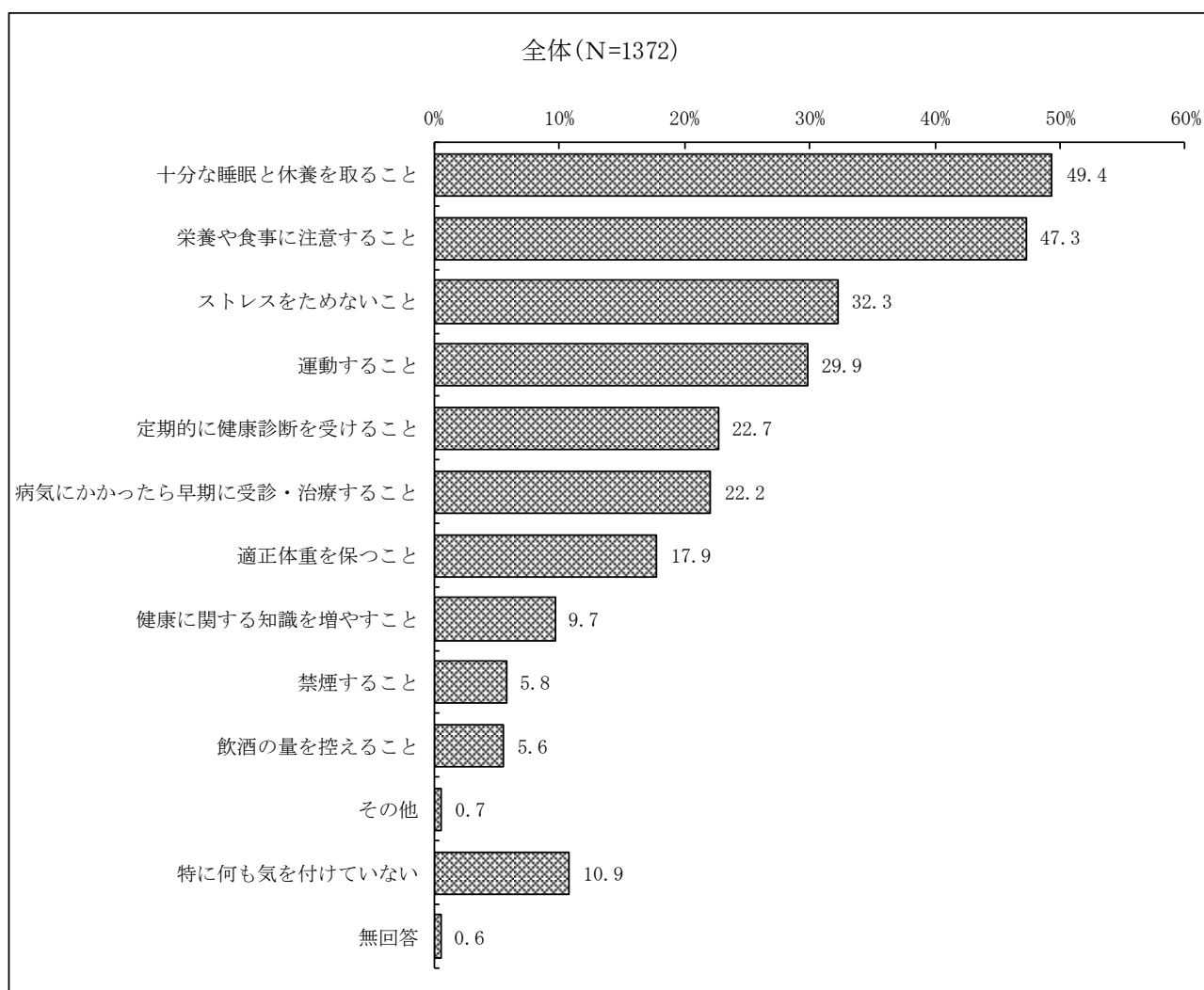


性別でみると、男女ともに大きな差はなく、“健康である”（「非常に健康である」＋「まあまあ健康である」）と回答した男性は82.4%、女性は83.8%で、8割を超えている。

年代別でみると、“健康である”（「非常に健康である」＋「まあまあ健康である」）と回答した人は、18歳～19歳は94.5%、20歳代は88.8%、30歳代は89.0%、40歳代は85.4%、50歳代は84.2%となっている。一方、60歳代は80.7%、70歳以上は70.8%と、全体に比べて低くなっている。

■健康づくりのための取り組み実践内容

問 2           あなたが、健康づくり(健康増進や維持)のために取り組んでいることは何ですか。次の中から、あてはまるものに3つまで○をつけてください。



健康づくりのために取り組んでいることは、「十分な睡眠と休養をとること」が 49.4%と最も高く、次いで「栄養や食事に注意すること」が 47.3%となっている。以下は、「ストレスをためないこと」が 32.3%、「運動すること」が 29.9%となっている。

健康づくりのために取り組んでいることは、「十分な睡眠と休養をとること」が 49.4%。

	サンプル数	十分な睡眠と休養をとること	栄養や食事に注意すること	ストレスをためないこと	禁煙すること	飲酒の量を控えること	定期的に健康診断を受けること	健康に関する知識を増やすこと	運動すること	適正体重を保つこと	病気にかったら早期に受診・治療すること	その他	特に何も気を付けていない	無回答
全体	1372	49.4	47.3	32.3	5.8	5.6	22.7	9.7	29.9	17.9	22.2	0.7	10.9	0.6
《性別》														
男性	632	47.3	39.9	30.1	9.5	9.5	23.7	6.8	32.9	15.8	19.8	0.3	13.0	0.9
女性	740	51.2	53.6	34.2	2.7	2.3	21.9	12.2	27.3	19.6	24.2	0.9	9.1	0.3
《年代別》														
18歳～19歳	36	55.6	36.1	38.9	-	-	-	8.3	38.9	16.7	5.6	-	25.0	2.8
20歳～29歳	143	51.0	40.6	27.3	8.4	5.6	4.9	8.4	23.1	18.2	16.1	-	17.5	0.7
30歳～39歳	219	53.4	44.7	30.6	6.8	7.8	14.2	10.5	21.0	17.8	17.8	-	16.9	0.5
40歳～49歳	240	52.1	37.9	31.7	7.1	5.0	23.8	7.1	30.0	18.8	17.5	-	12.9	0.4
50歳～59歳	240	47.9	55.0	35.8	3.3	4.6	26.3	11.7	31.3	18.3	21.3	0.8	7.5	0.8
60歳～69歳	285	48.1	49.5	35.8	7.4	6.3	25.6	7.7	34.0	17.5	25.6	1.8	7.4	0.4
70歳以上	209	43.5	55.5	28.2	3.3	5.3	38.8	13.4	34.9	16.7	35.4	1.0	3.8	0.5

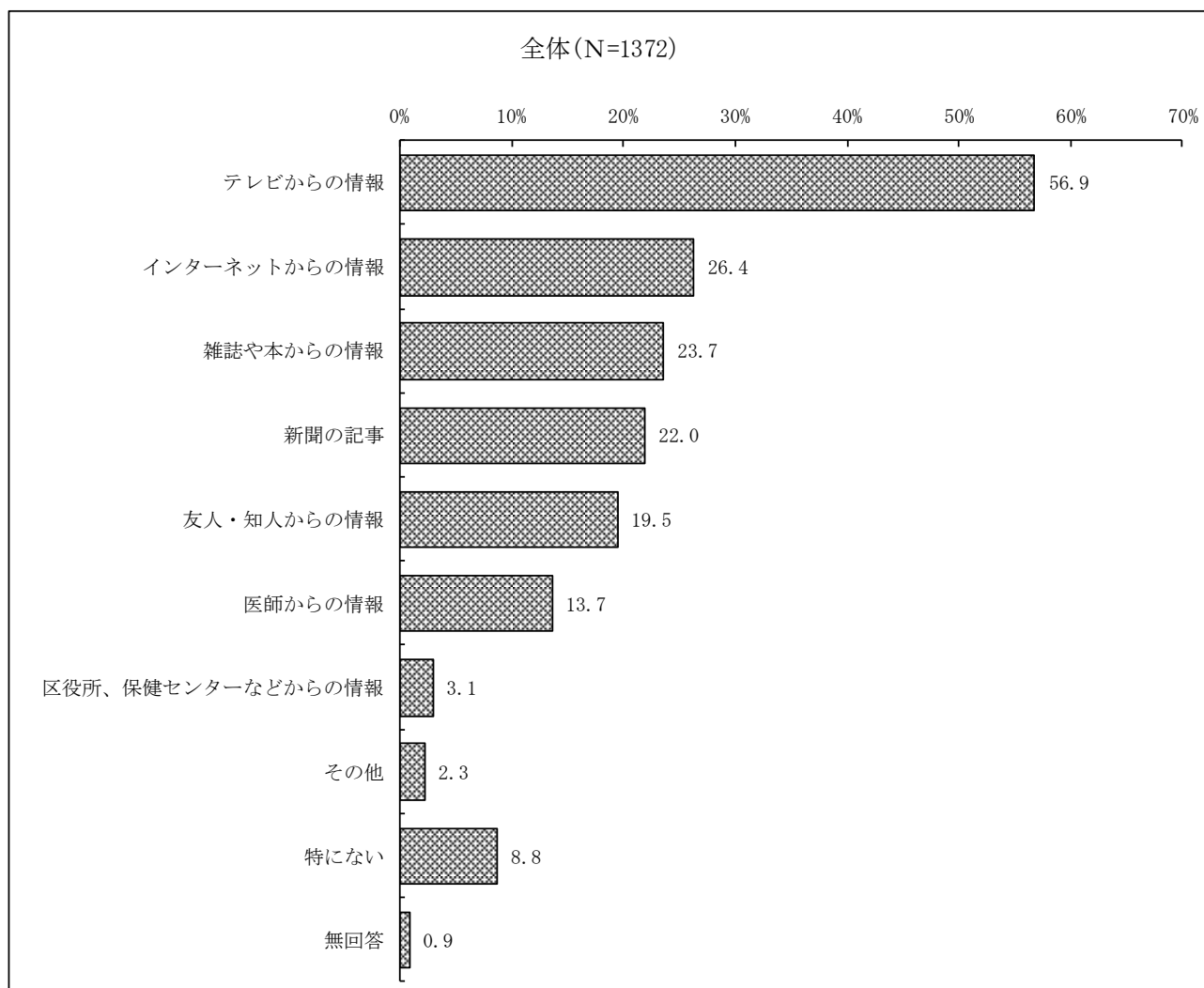
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男性は全体と同様に「十分な睡眠と休養をとること」が 47.3%と最も高くなっている。女性は「栄養や食事に注意すること」が 53.6%と最も高くなっているが、「十分な睡眠と休養をとること」も 51.2%となっており、男性より 3.9 ポイント高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、20 歳代～40 歳代は、全体と同様に「十分な睡眠と休養をとること」が最も高くなっており、50 歳代～70 歳以上は、「栄養や食事に注意すること」が最も高くなっている。

■健康づくりに関する情報取得媒体

問 3           あなたは、健康づくりに関する情報をどこから得ていますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。



健康づくりに関する情報取得媒体としては、「テレビからの情報」が 56.9%と最も高く、次いで「インターネットからの情報」が 26.4%となっている。以下は、「雑誌や本からの情報」が 23.7%、「新聞の記事」が 22.0%の順になっている。

健康づくりに関する情報取得媒体としては、「テレビからの情報」が 56.9%。

	サンプル数	新聞の記事	雑誌や本からの情報	テレビからの情報	インターネットからの情報	友人・知人からの情報	区役所、保健センターなどからの情報	医師からの情報	その他	特にない	無回答
全体	1372	22.0	23.7	56.9	26.4	19.5	3.1	13.7	2.3	8.8	0.9
《性別》											
男性	632	22.3	18.0	52.2	28.8	14.6	3.8	16.8	2.7	12.5	0.8
女性	740	21.8	28.5	60.8	24.3	23.8	2.4	11.1	2.0	5.7	1.1
《年代別》											
18歳～19歳	36	2.8	13.9	36.1	41.7	13.9	－	2.8	13.9	22.2	2.8
20歳～29歳	143	4.9	21.7	54.5	47.6	14.7	0.7	2.8	1.4	14.0	1.4
30歳～39歳	219	9.1	26.5	53.4	47.5	15.5	0.9	6.4	1.4	12.8	0.5
40歳～49歳	240	16.7	23.3	56.7	39.2	19.2	2.5	8.3	2.5	7.5	0.4
50歳～59歳	240	26.7	31.7	56.7	22.9	16.7	0.8	13.3	2.1	6.3	1.7
60歳～69歳	285	32.3	22.5	59.3	7.4	28.4	4.6	19.3	1.8	7.4	0.7
70歳以上	209	37.3	16.7	62.7	2.4	19.6	8.6	29.7	2.9	5.3	1.0

は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともに「テレビからの情報」が最も高くなっており、女性が 60.8% で男性の 52.2% より 8.6 ポイント高くなっている。

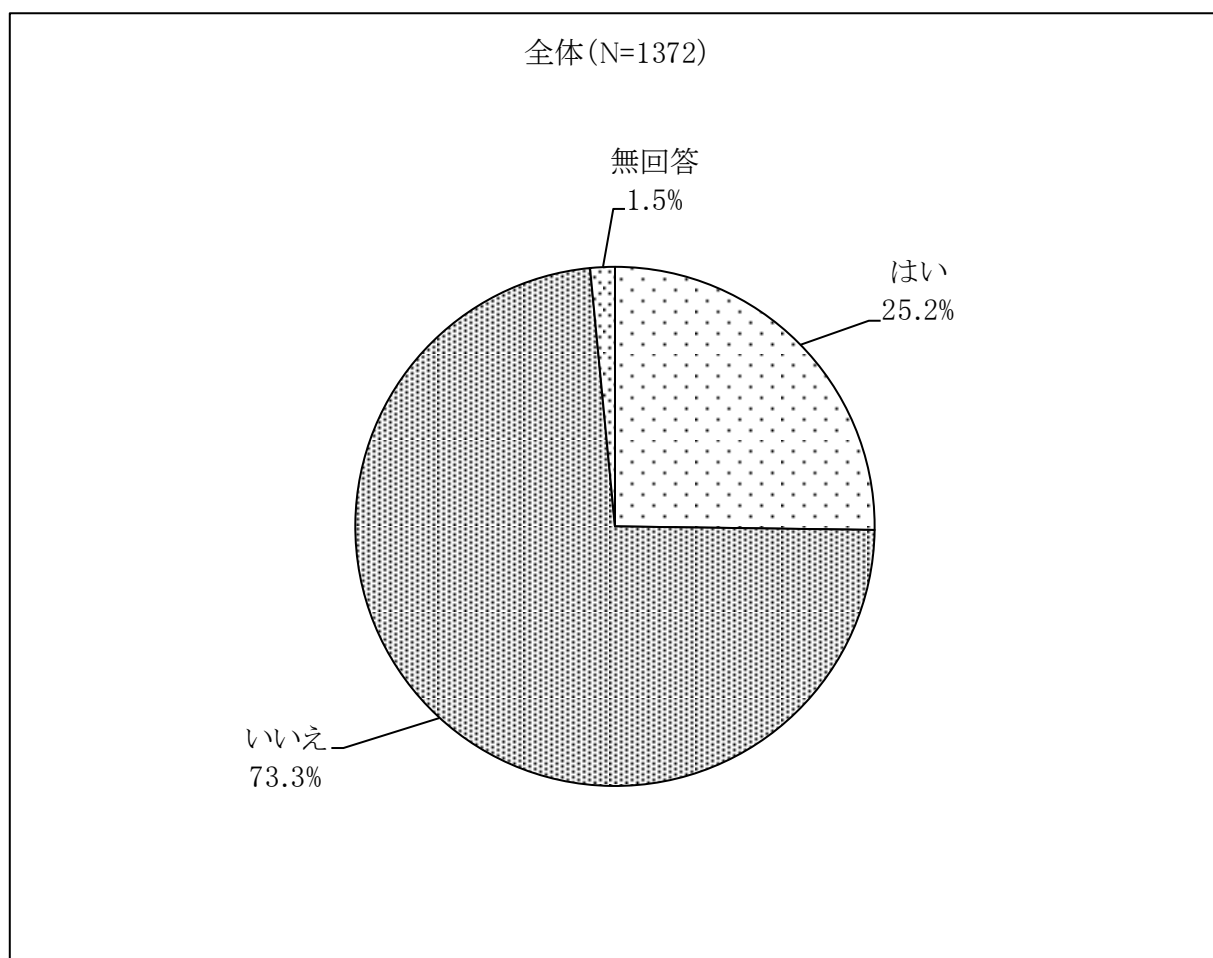
年代別でみると、20 歳代～70 歳以上は、「テレビからの情報」、18 歳～19 歳は、「インターネットからの情報」が最も高くなっている。

## Ⅱ 市民の健康づくり

### － ii ウォーキングへの取り組み－

#### ■ウォーキングの取り組み状況

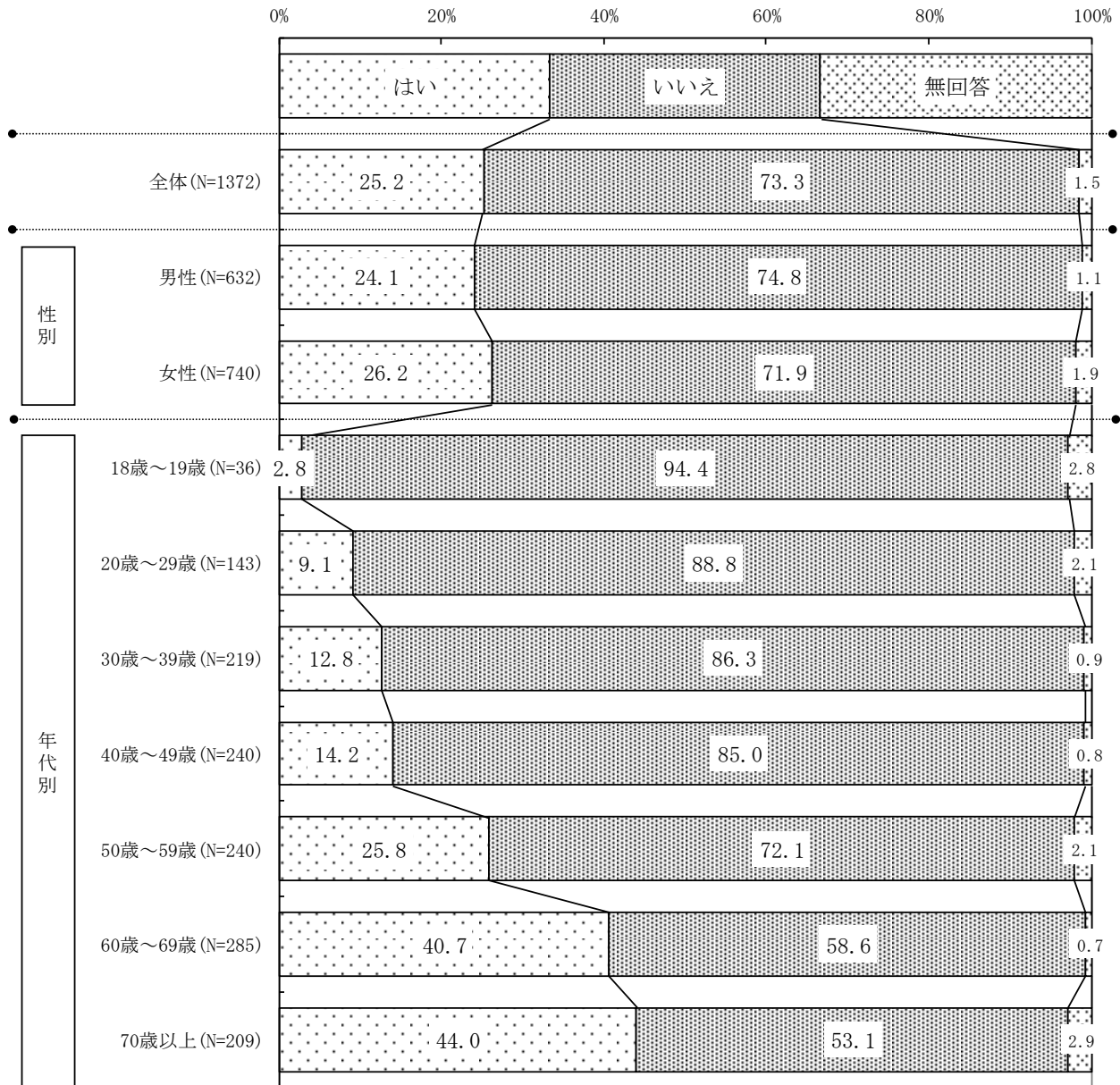
問 4            あなたは、健康づくりのためにウォーキングに取り組んでいますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



ウォーキングの取り組み状況について、「取り組んでいない」と回答した人は 73.3% となっており、7割を超えている。

一方、「取り組んでいる」と回答した人は、25.2%となっている。

ウォーキングの取り組み状況について、「取り組んでいない」が 73.3%。



性別でみると、男女間に大きな差はなく、「取り組んでいない」と回答した男性は74.8%、女性は71.9%と、7割を超えている。

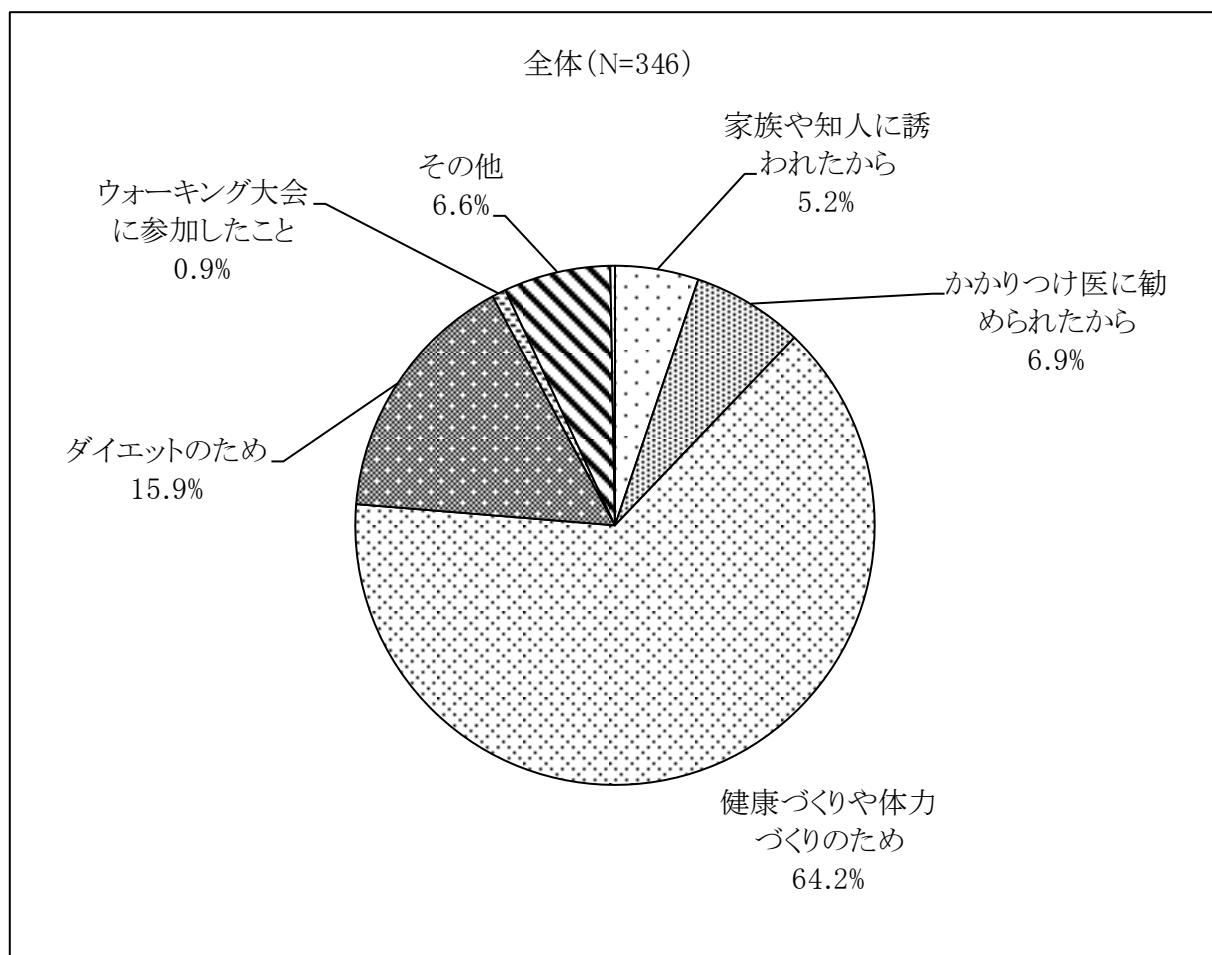
年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～40歳代は、「取り組んでいない」が8割を超えている。一方、50歳代～70歳以上は、「取り組んでいる」が全体と比べて高くなっている。



■ウォーキングを始めたきっかけ

《問4で「1 はい」と答えた方にお聞きします》

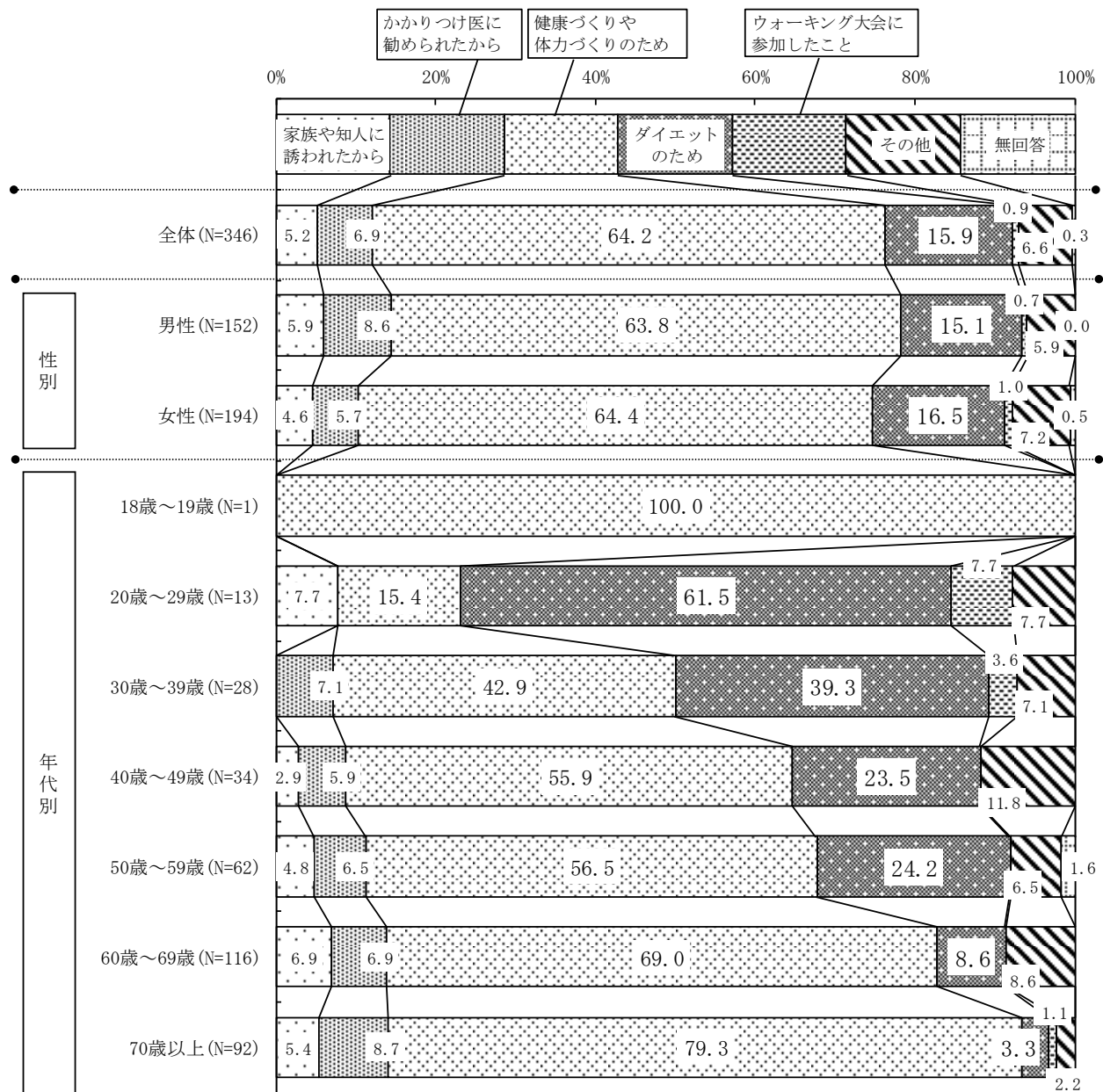
問4の1 あなたが、ウォーキングをはじめたきっかけは何ですか。次の中から、最もあてはまるものに1つ○をつけてください。



ウォーキングをはじめたきっかけについて、「健康づくりや体力づくりのため」が64.2%と最も高く、次いで「ダイエットのため」が15.9%、「かかりつけ医に勧められたから」が6.9%となっている。

ウォーキングをはじめたきっかけについて、「健康づくりや体力づくりのため」が64.2%。

## II 市民の健康づくり－ii ウォーキングへの取り組み－



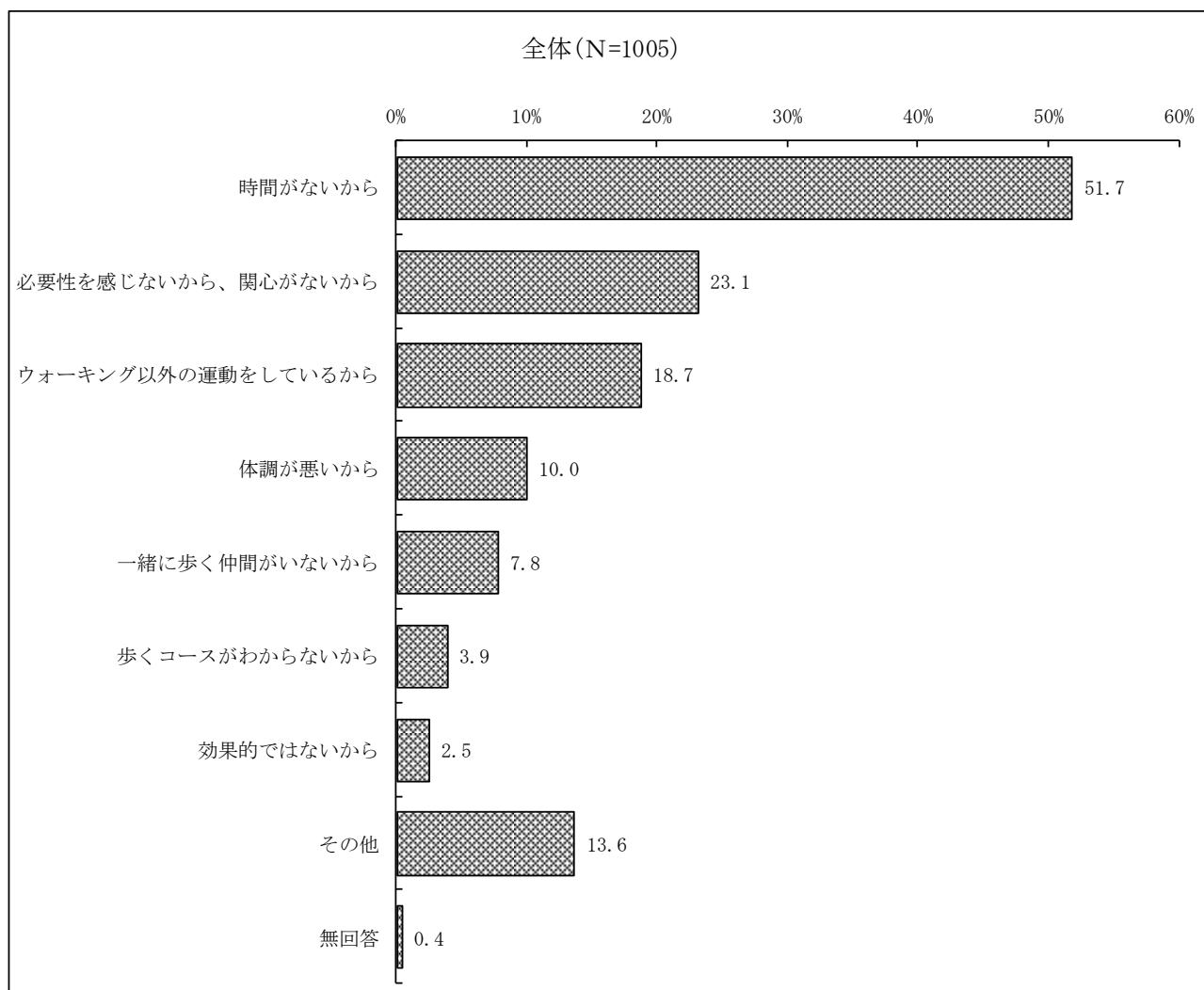
性別でみると、男女ともに「健康づくりや体力づくりのため」が最も高くなっており、女性が 64.4% で、男性の 63.8% より 0.6 ポイント高くなっている。

年代別でみると、30 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「健康づくりや体力づくりのため」が最も高くなっている。一方、20 歳代は、「ダイエットのため」が最も高くなっている。

■ウォーキングをしていない理由

《問4で「2 いいえ」と答えた方にお聞きます》

問4の2 あなたがウォーキングをしていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



ウォーキングをしていない理由について、「時間がないから」が 51.7%で最も高く、次いで「必要性を感じないから、関心がないから」が 23.1%となっている。以下は、「ウォーキング以外の運動をしているから」が 18.7%、「体調が悪いから」が 10.0%となっている。

ウォーキングをしていない理由について、「時間がないから」が 51.7%。

	サンプル数	時間がないから	必要性を感じないから、関心がないから	一緒に歩く仲間がないから	歩くコースがわからないから	ウォーキング以外の運動をしているから	体調が悪いから	効果的ではないから	その他	無回答
全体	1005	51.7	23.1	7.8	3.9	18.7	10.0	2.5	13.6	0.4
《性別》										
男性	473	48.4	27.9	7.2	2.7	23.7	9.1	2.5	10.6	0.4
女性	532	54.7	18.8	8.3	4.9	14.3	10.7	2.4	16.4	0.4
《年代別》										
18歳～19歳	34	44.1	38.2	8.8	－	20.6	8.8	2.9	2.9	－
20歳～29歳	127	60.6	30.7	7.1	7.1	15.7	3.1	2.4	10.2	－
30歳～39歳	189	66.7	23.8	3.2	3.2	11.6	3.7	3.7	11.6	－
40歳～49歳	204	64.7	21.6	6.4	4.4	18.1	4.4	1.5	11.8	0.5
50歳～59歳	173	53.2	19.1	11.0	3.5	17.3	8.1	1.2	17.9	－
60歳～69歳	167	37.1	24.6	11.4	4.2	25.1	13.2	3.6	14.4	1.8
70歳以上	111	14.4	15.3	8.1	1.8	27.0	36.9	2.7	19.8	－

は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともに「時間がないから」が最も高くなっており、女性が 54.7%で、男性の 48.4%より 6.3 ポイント高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、20 歳代～60 歳代は、全体と同様に「時間がないから」、70 歳以上は、「体調が悪いから」が最も高くなっている。

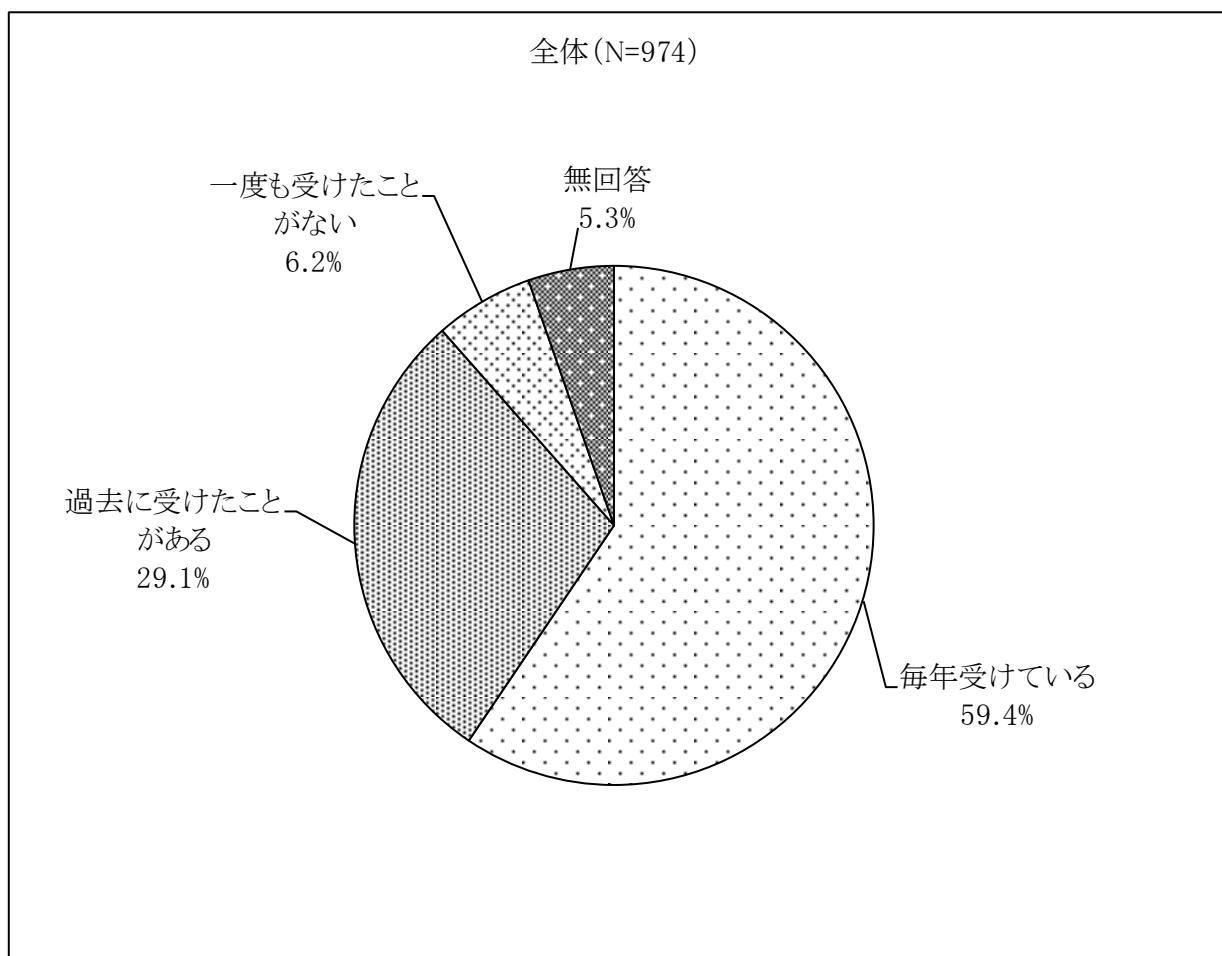
## Ⅱ 市民の健康づくり

### － Ⅲ 健診(検診)の受診 －

#### ■ 健診の受診状況

《40 歳以上の方にお聞きします》

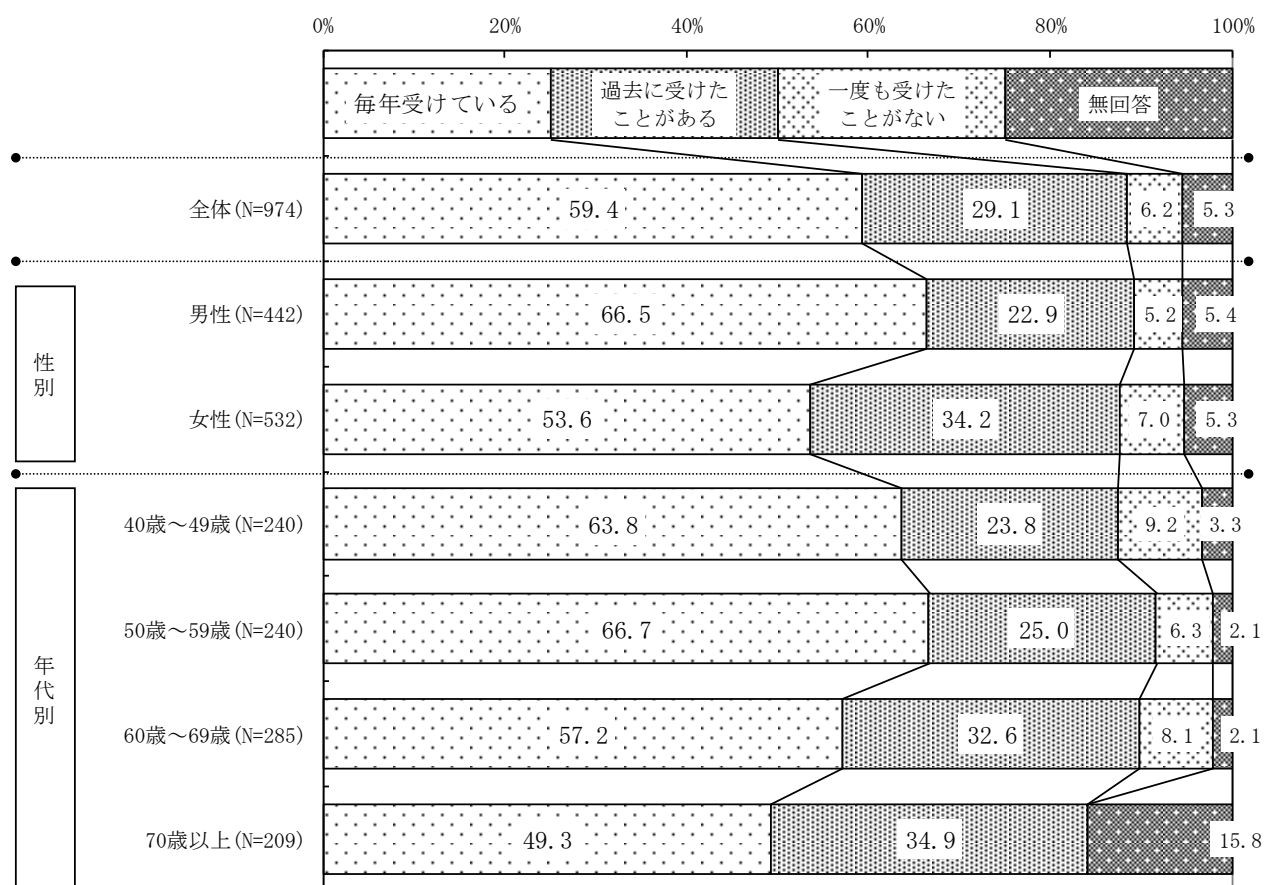
問 5            あなたは「健診」(特定健診・後期高齢者健診、職場で受ける定期健康診断(家族も含む)、人間ドック等)を受診していますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



健診の受診状況について、「毎年受けている」が 59.4%と最も高く、次いで「過去に受けたことがある」が 29.1%となっている。

一方で、「一度も受けたことがない」は 6.2%となっている。

健診の受診状況について、「毎年受けている」が 59.4%。



※ 対象者:40歳以上

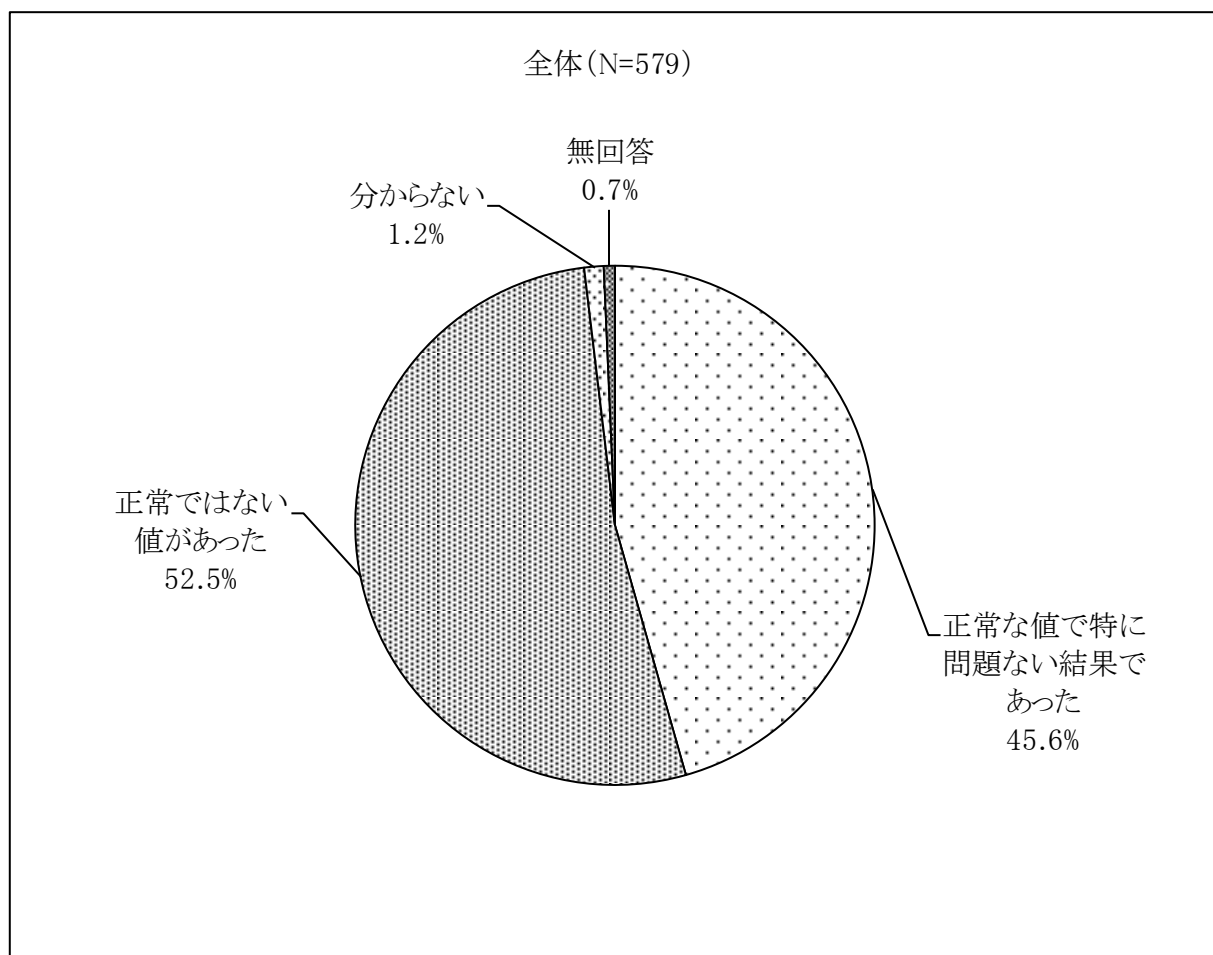
性別でみると、男女ともに全体と同様「毎年受けている」が最も高くなっており、男性が66.5%で、女性の53.6%より12.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、40歳代～60歳代で「毎年受けている」は全体と同様に約6割となっているが、70歳以上は49.3%と全体の傾向より若干低くなっている。

## ■ 健診を受診した結果

《問5で「1 毎年受けている」と答えた方にお聞きます》

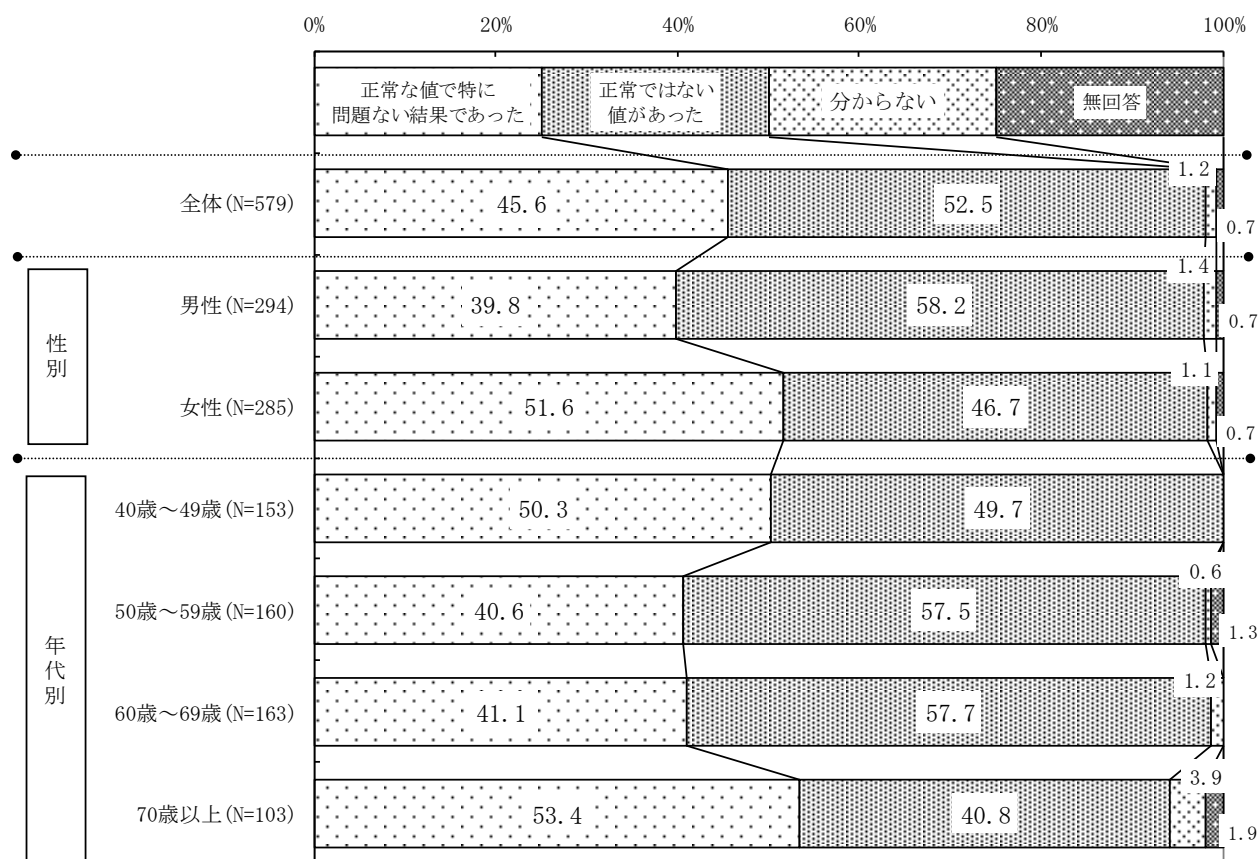
問5の1 健診を受診した結果について、次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



健診を受診した結果について、「正常ではない値があった」は **52.5%** となっており、5 割を超えている。

一方、「正常な値で特に問題ない結果であった」は **45.6%** となっている。

健診を受診した結果について、「正常ではない値があった」は **52.5%**。



※ 対象者:40歳以上

性別でみると、男性は全体と同様「正常ではない値があった」が最も高くなっており、男性が 58.2%で女性の 46.7%より 11.5 ポイント高くなっている。

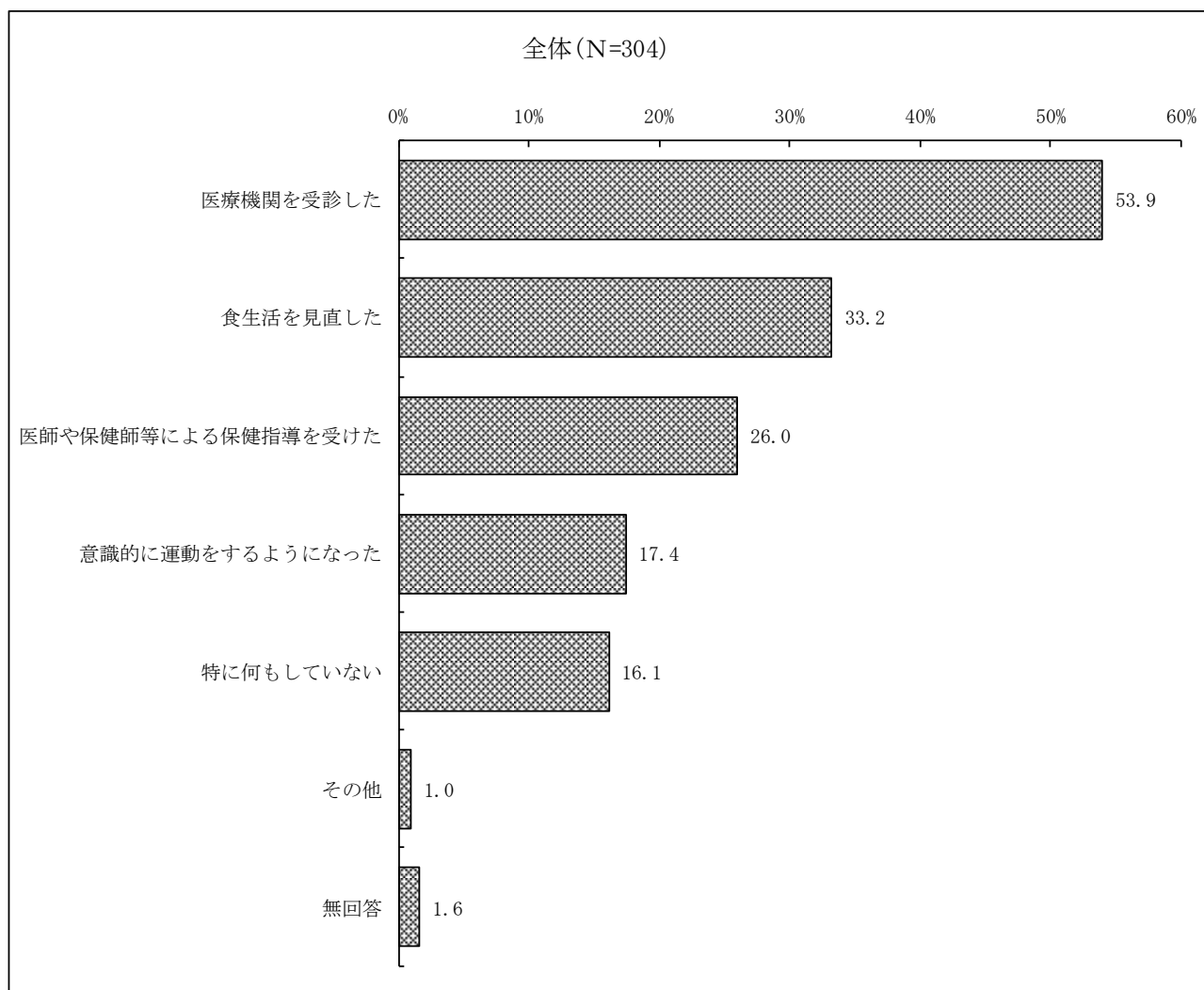
年代別でみると、50 歳代、60 歳代で「正常ではない値があった」は全体と同様に 5 割を超えているが、40 歳代、70 歳以上は、全体の傾向より低くなっている。



## ■ 健診の結果に対する取り組み

《問5の1で「2 正常ではない値があった」と答えた方にお聞きします》

問5の2 あなたが、健診の結果に対し、取り組んだことはありますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



健診の結果に対して取り組んだことについて、「医療機関を受診した」が 53.9%で最も高く、次いで「食生活を見直した」が 33.2%となっている。以下は、「医師や保健師等による保健指導を受けた」が 26.0%、「意識的に運動をするようになった」が 17.4%となっている。

健診の結果に対し取り組んだことは、「医療機関を受診した」が 53.9%。

	サンプル数	医師や保健師等による保健指導を受けた	医療機関を受診した	意識的に運動をするようになった	食生活を見直した	特に何もしていない	その他	無回答
全体	304	26.0	53.9	17.4	33.2	16.1	1.0	1.6
《性別》								
男性	171	29.2	54.4	15.2	31.0	20.5	－	1.2
女性	133	21.8	53.4	20.3	36.1	10.5	2.3	2.3
《年代別》								
40歳～49歳	76	23.7	47.4	10.5	28.9	23.7	2.6	2.6
50歳～59歳	92	26.1	50.0	8.7	34.8	16.3	1.1	1.1
60歳～69歳	94	24.5	56.4	27.7	38.3	12.8	－	1.1
70歳以上	42	33.3	69.0	26.2	26.2	9.5	－	2.4

は各属性で最も高い数値

※ 対象者：40歳以上

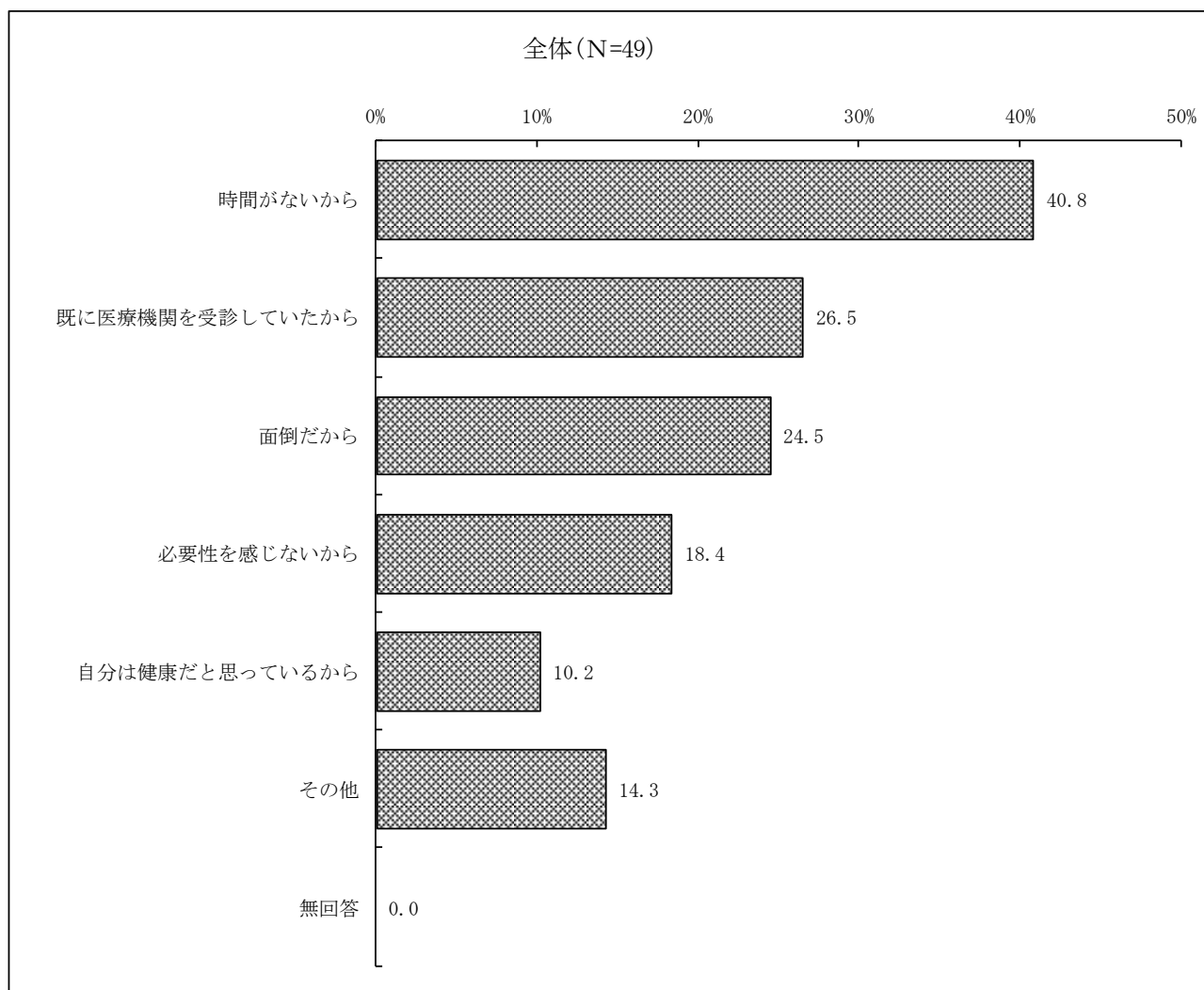
性別でみると、男女ともに全体と同様「医療機関を受診した」が最も高くなっており、男性が54.4%、女性が53.4%となっている。

年代別でみると、40歳代～70歳以上の各年代とも、全体と同様「医療機関を受診した」が最も高くなっている。

■ 健診の結果に対して何もしていない理由

《問5の2で「5 特に何もしていない」と答えた方にお聞きします》

問5の3 あなたが、健診の結果に対し、特に何もしていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



健診の結果に対し、特に何もしていない理由として、「時間がないから」が 40.8%と最も高く、次いで、「既に医療機関を受診していたから」が 26.5%、「面倒だから」が 24.5%、「必要性を感じないから」が 18.4%となっている。

健診の結果に対し、特に何もしていない理由として、「時間がないから」が 40.8%。

	サンプル数	既に医療機関を受診していたから	必要性を感じないから	時間がないから	面倒だから	自分は健康だと思っているから	その他	無回答
全体	49	26.5	18.4	40.8	24.5	10.2	14.3	0.0
《性別》								
男性	35	22.9	17.1	45.7	25.7	14.3	11.4	－
女性	14	35.7	21.4	28.6	21.4	－	21.4	－
《年代別》								
40歳～49歳	18	5.6	11.1	55.6	22.2	5.6	27.8	－
50歳～59歳	15	20.0	20.0	60.0	26.7	－	－	－
60歳～69歳	12	58.3	16.7	－	33.3	16.7	8.3	－
70歳以上	4	50.0	50.0	25.0	－	50.0	25.0	－

は各属性で最も高い数値

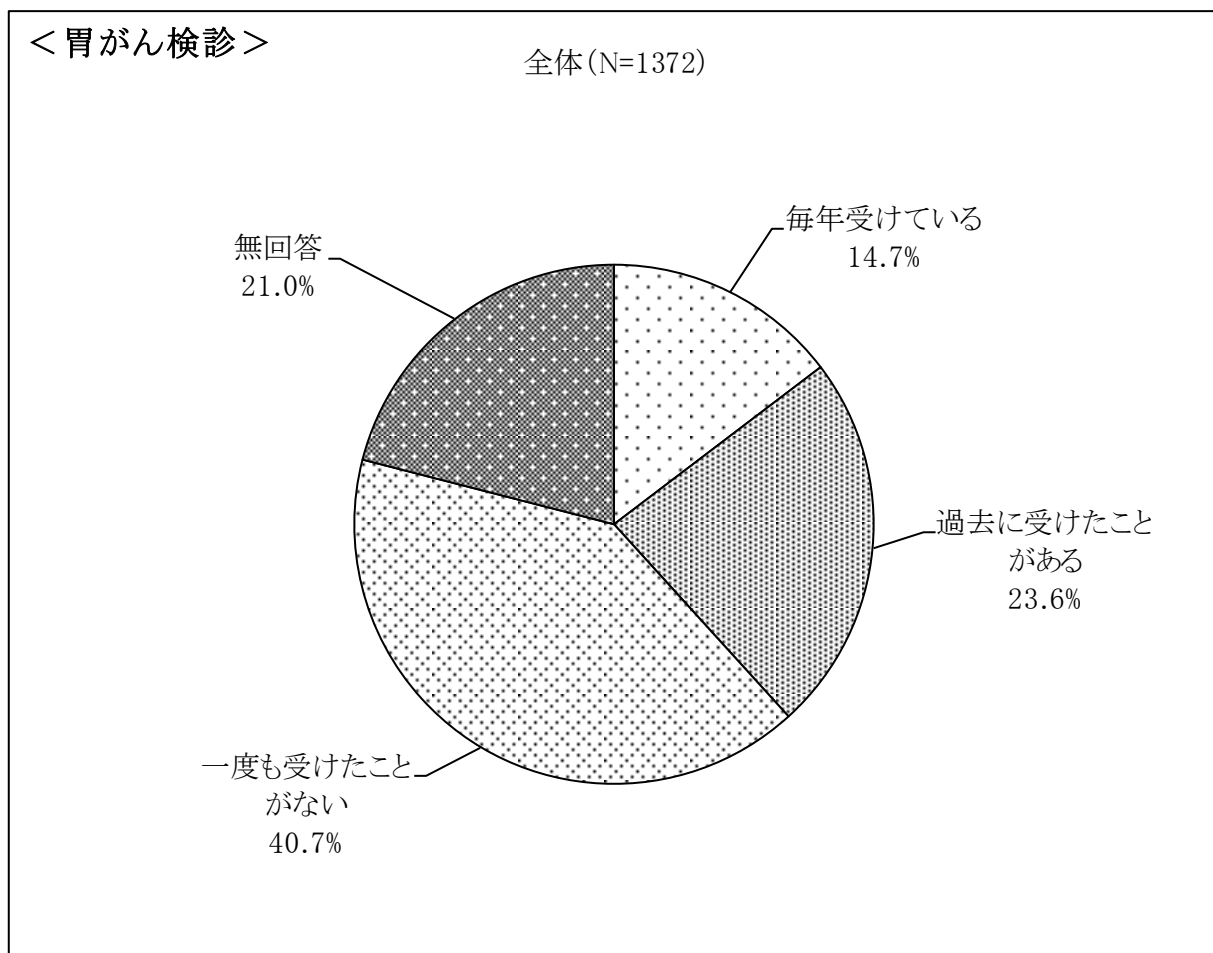
※ 対象者：40歳以上

性別でみると、男性は全体と同様に「時間がないから」が45.7%と最も高くなっている。女性は「既に医療機関を受診していたから」が35.7%と最も高くなっている。

年代別でみると、40歳代、50歳代は、全体と同様に「時間がないから」が最も高くなっており、60歳代は「既に医療機関を受診していたから」が最も高くなっている。

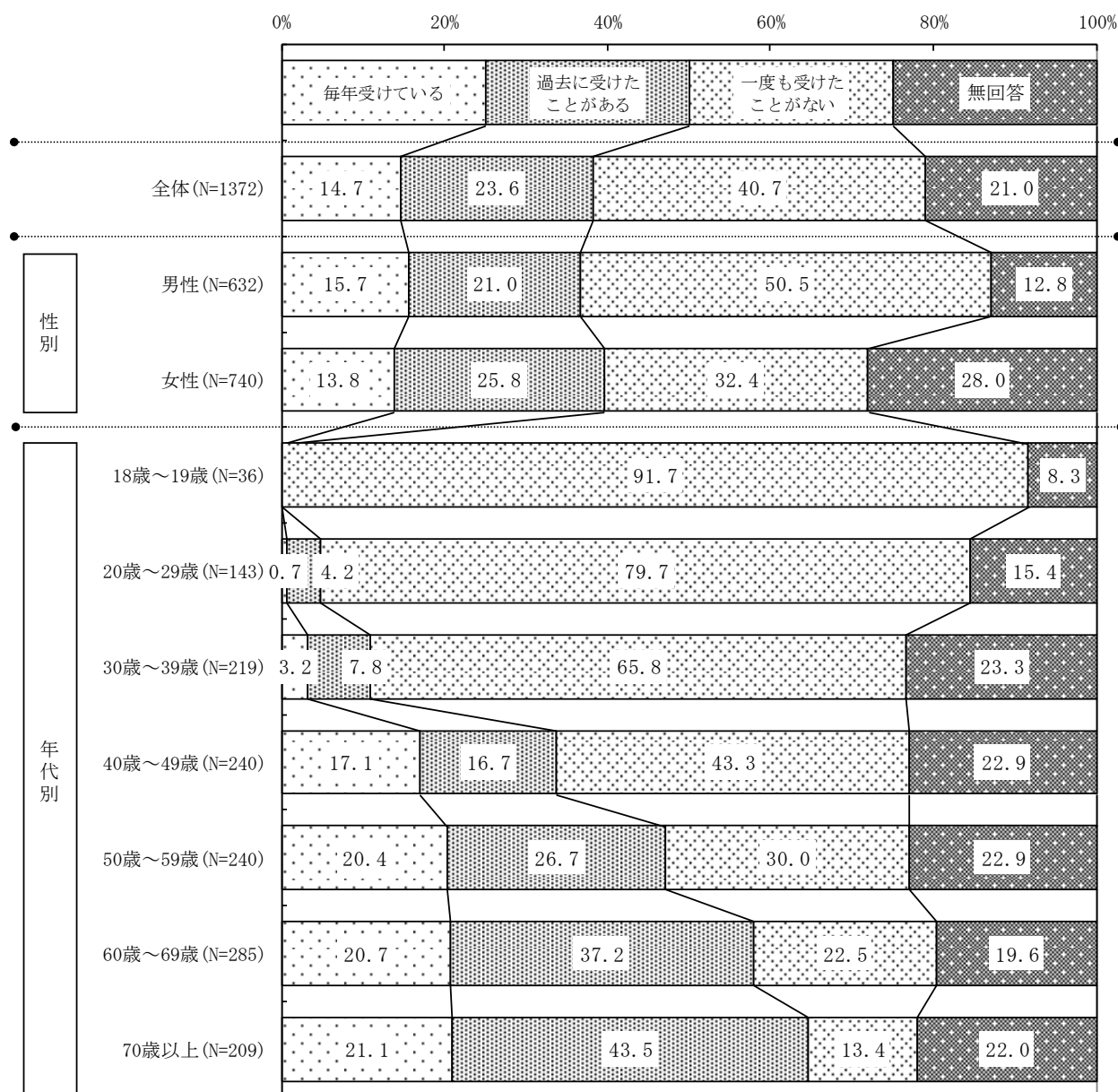
■がん検診の受診状況

問6（1） あなたはがん検診（胃がん）を受診したことがありますか。下表の1から5までの項目の中から、あてはまるものに○をつけてください。



胃がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 40.7%と最も高く、次いで、「過去に受けたことがある」が 23.6%、「毎年受けている」が 14.7%となっている。

胃がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 40.7%。

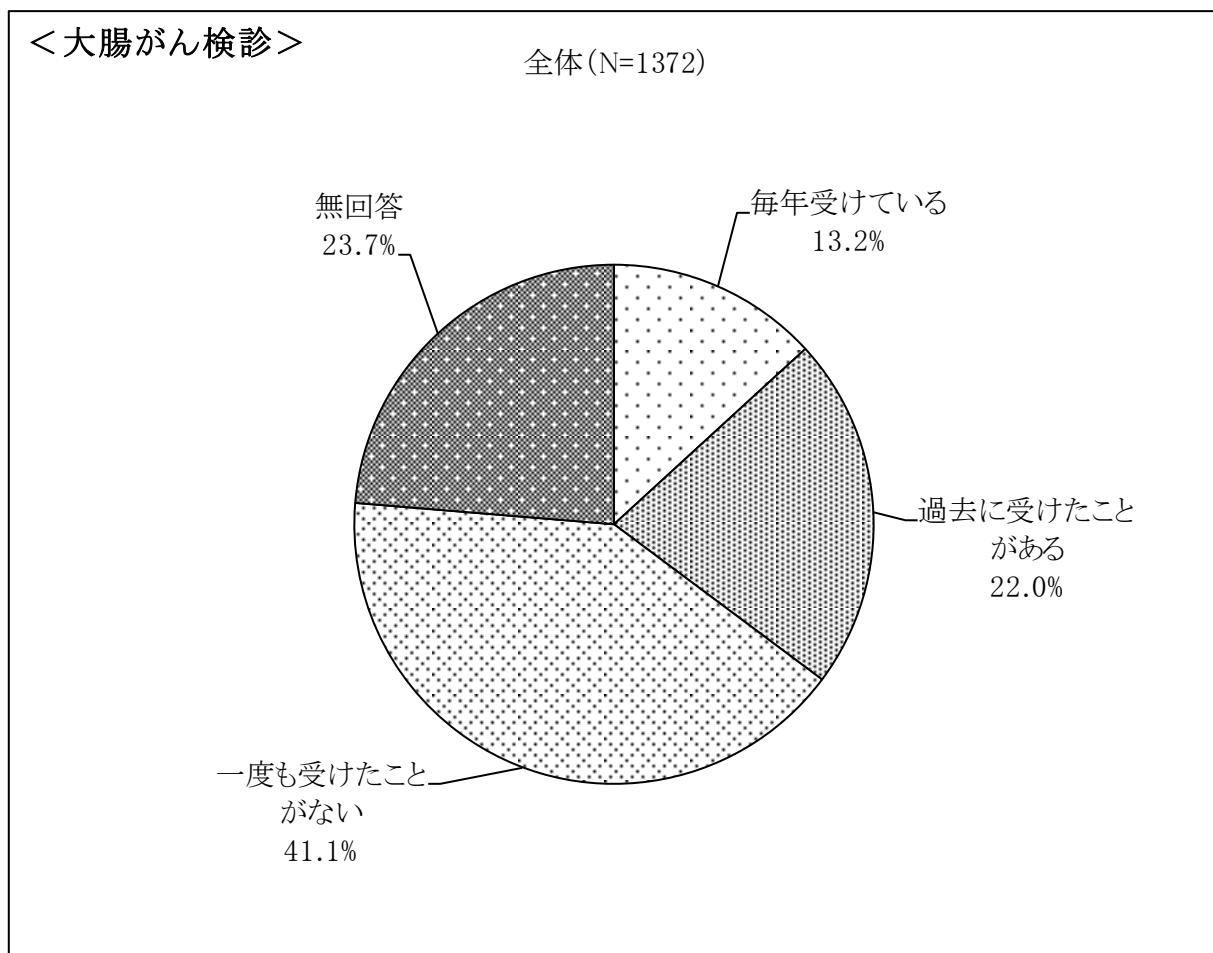


性別でみると、男女ともに「一度も受けたことがない」が最も高くなっており、男性が50.5%で、女性の32.4%より18.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～50歳代は、全体と同様に「一度も受けたことがない」が最も高くなっている。一方、60歳代～70歳以上は、「過去に受けたことがある」が最も高くなっている。

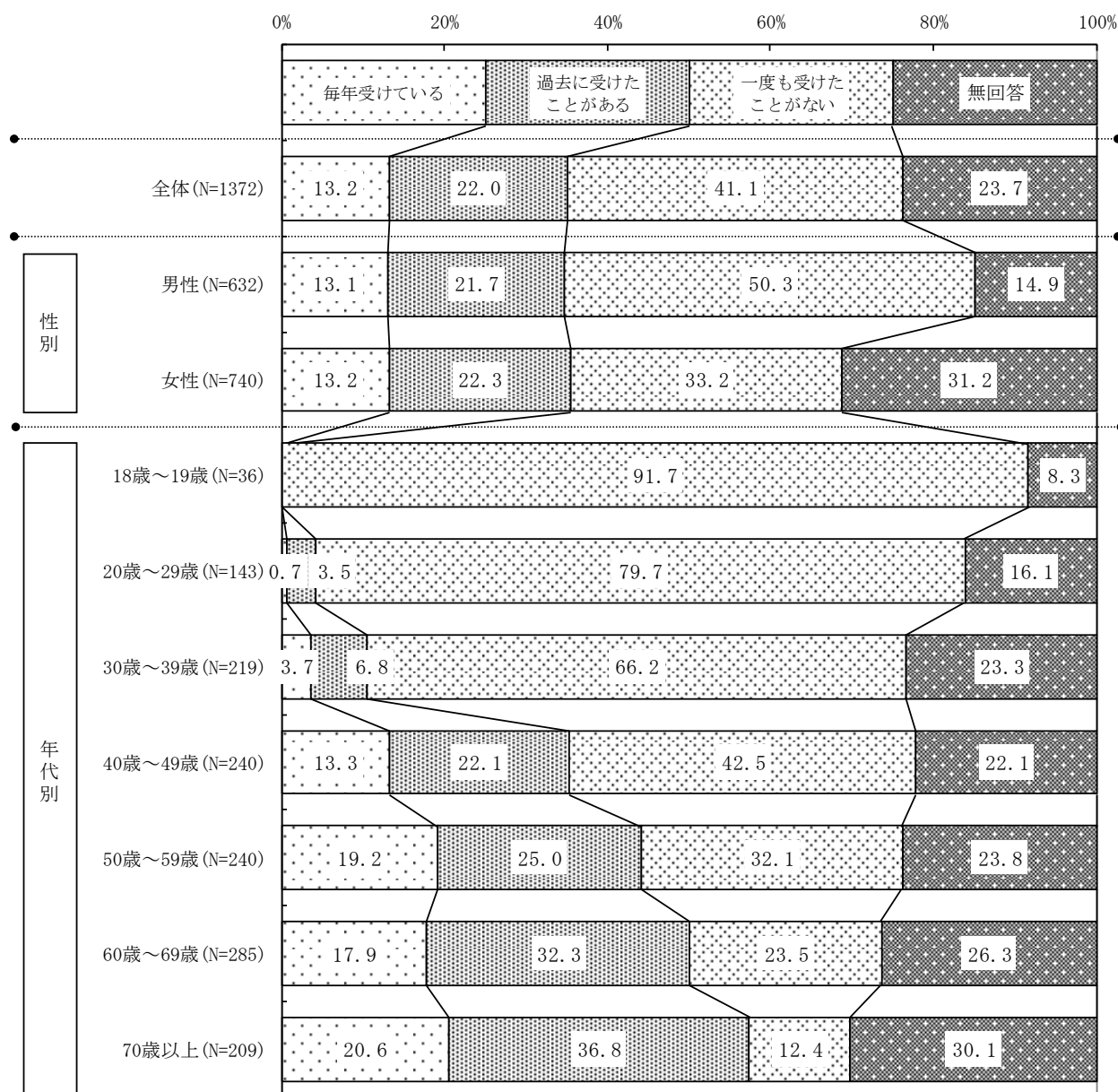
■がん検診の受診状況

問6（2） あなたはがん検診（大腸がん）を受診したことがありますか。下表の1から5までの項目の中から、あてはまるものに○をつけてください。



大腸がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 41.1%と最も高く、次いで、「過去に受けたことがある」が 22.0%、「毎年受けている」が 13.2%となっている。

大腸がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 41.1%。



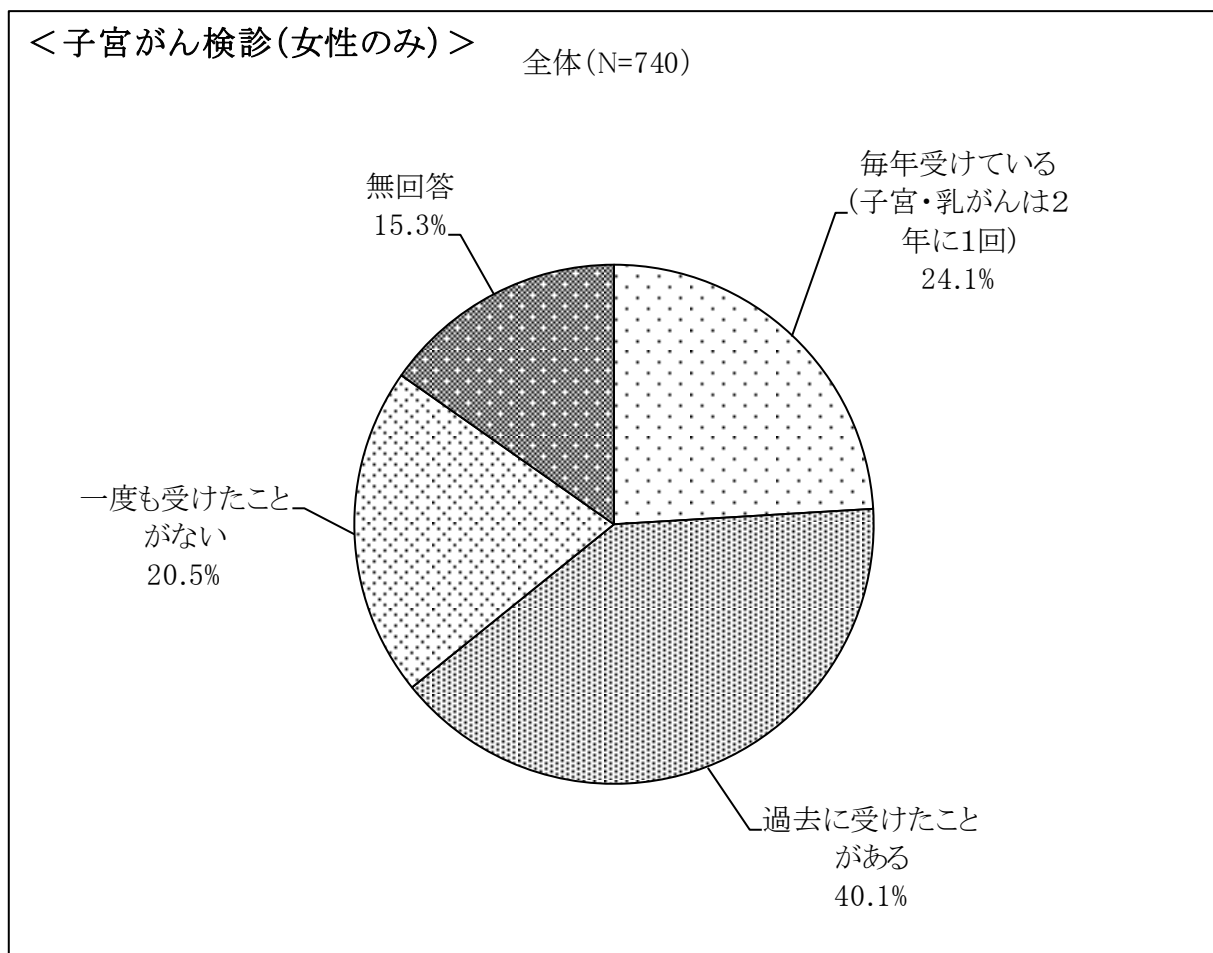
性別でみると、男女ともに「一度も受けたことがない」が最も高くなっており、男性が50.3%で、女性の33.2%より17.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～50歳代は、全体と同様に「一度も受けたことがない」が最も高くなっている。一方、60歳代～70歳以上は、「過去に受けたことがある」が最も高くなっている。



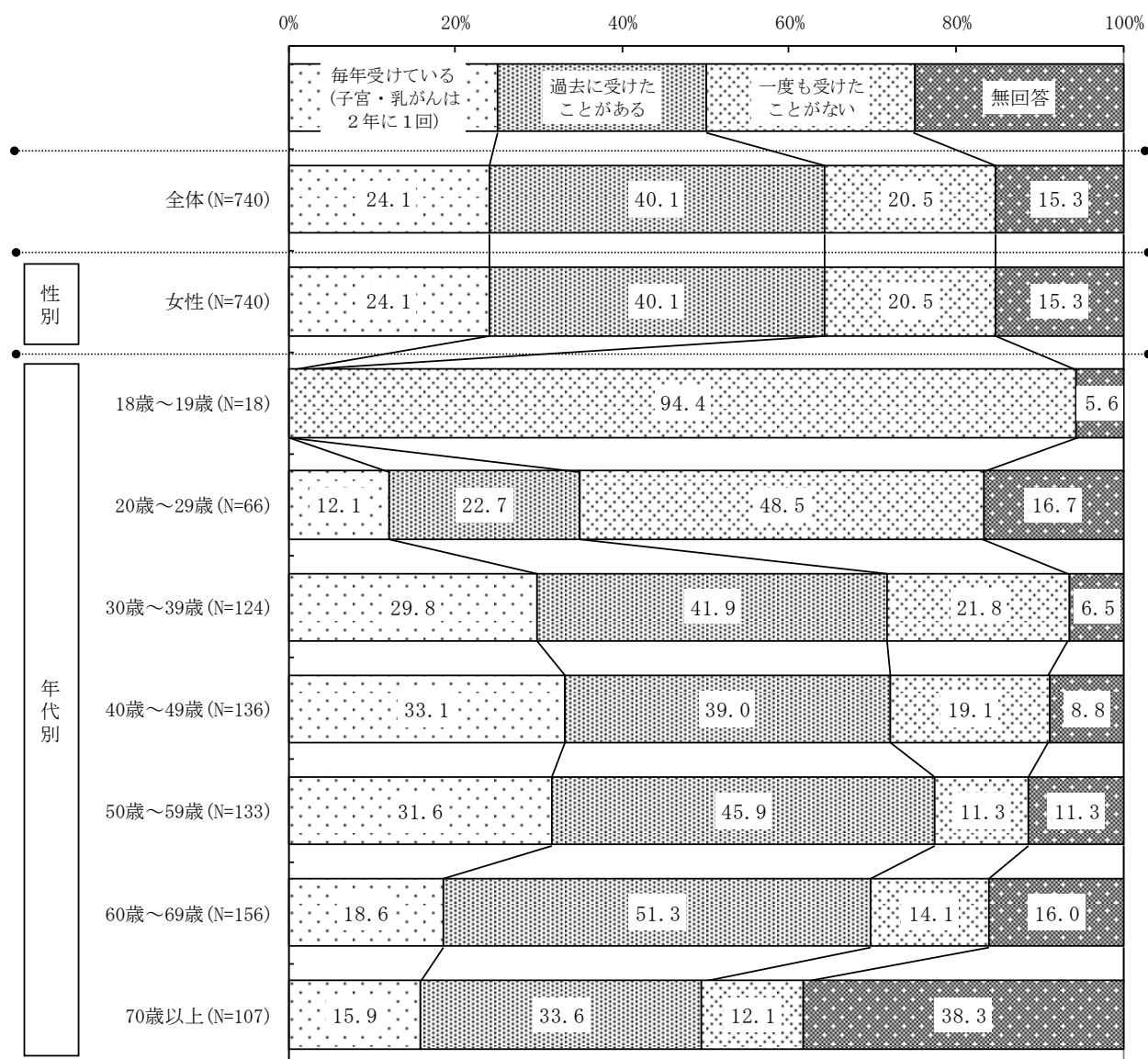
■がん検診の受診状況

問6（3） あなたはがん検診（子宮がん）を受診したことがありますか。下表の1から5までの項目の中から、あてはまるものに○をつけてください。



子宮がん検診の受診状況について、「過去に受けたことがある」が 40.1%と最も高く、次いで、「2年に1回受けている」が 24.1%、「一度も受けたことがない」が 20.5%となっている。

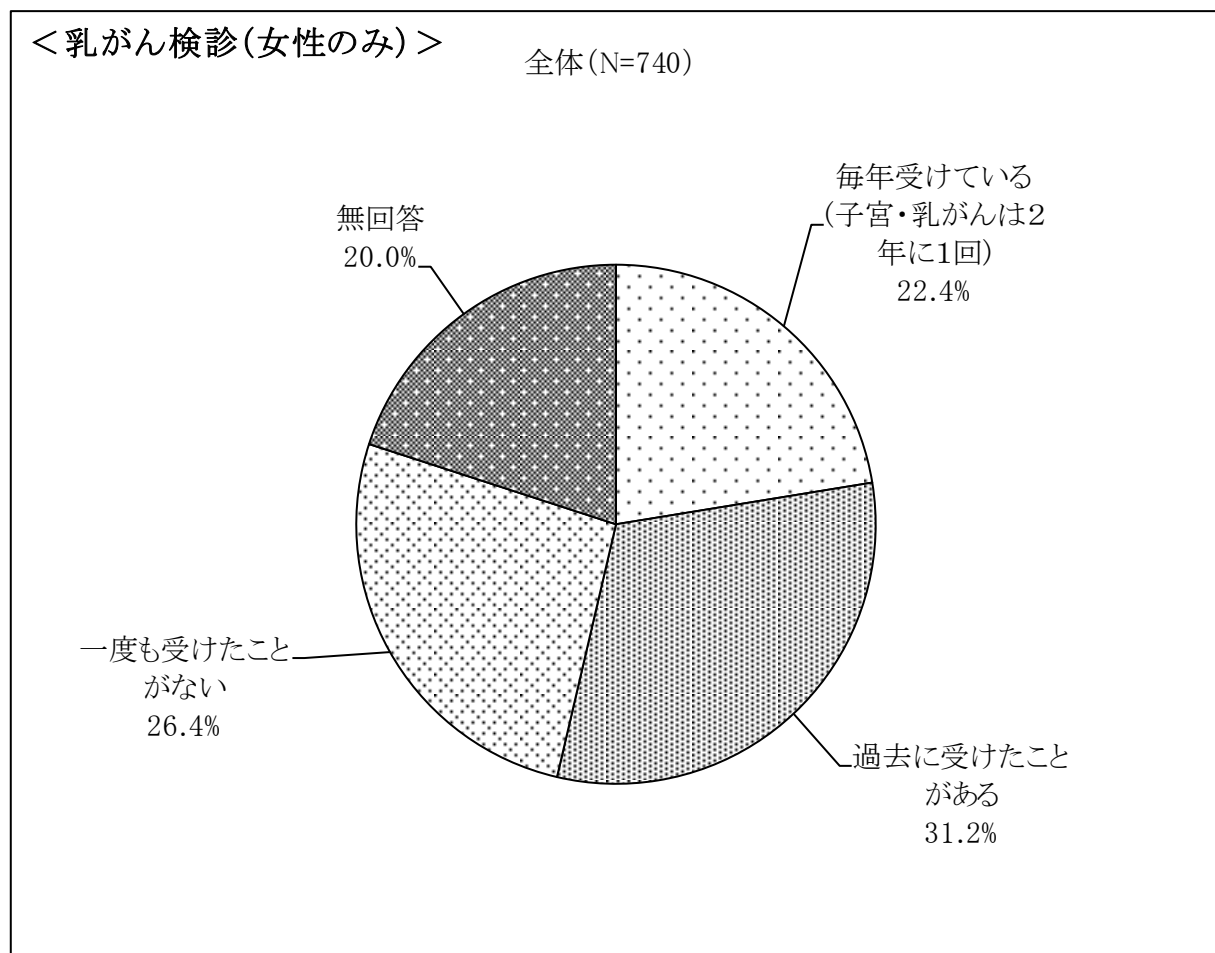
子宮がん検診の受診状況について、「過去に受けたことがある」が 40.1%。



年代別でみると、30 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「過去に受けたことがある」が最も高くなっている。一方、18 歳～19 歳、20 歳代は、「一度も受けたことがない」が最も高くなっている。また、30 歳代～50 歳代は、「2 年に 1 回受けている」が約 3 割で、全体より高くなっている。

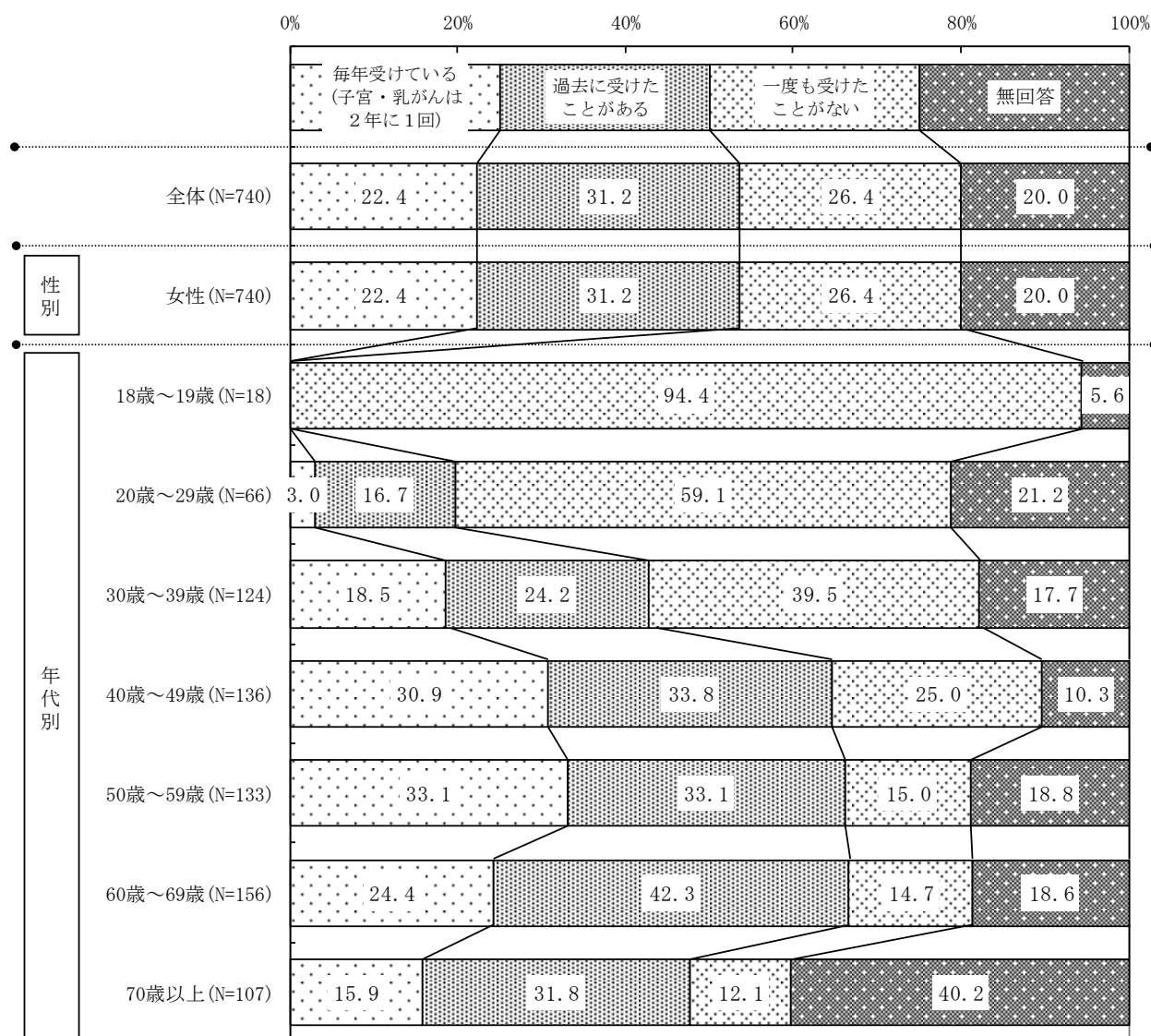
■がん検診の受診状況

問6（4） あなたはがん検診（乳がん）を受診したことがありますか。下表の1から5までの項目の中から、あてはまるものに○をつけてください。



乳がん検診の受診状況について、「過去に受けたことがある」が 31.2%と最も高く、次いで、「一度も受けたことがない」が 26.4%、「2年に1回受けている」が 22.4%となっている。

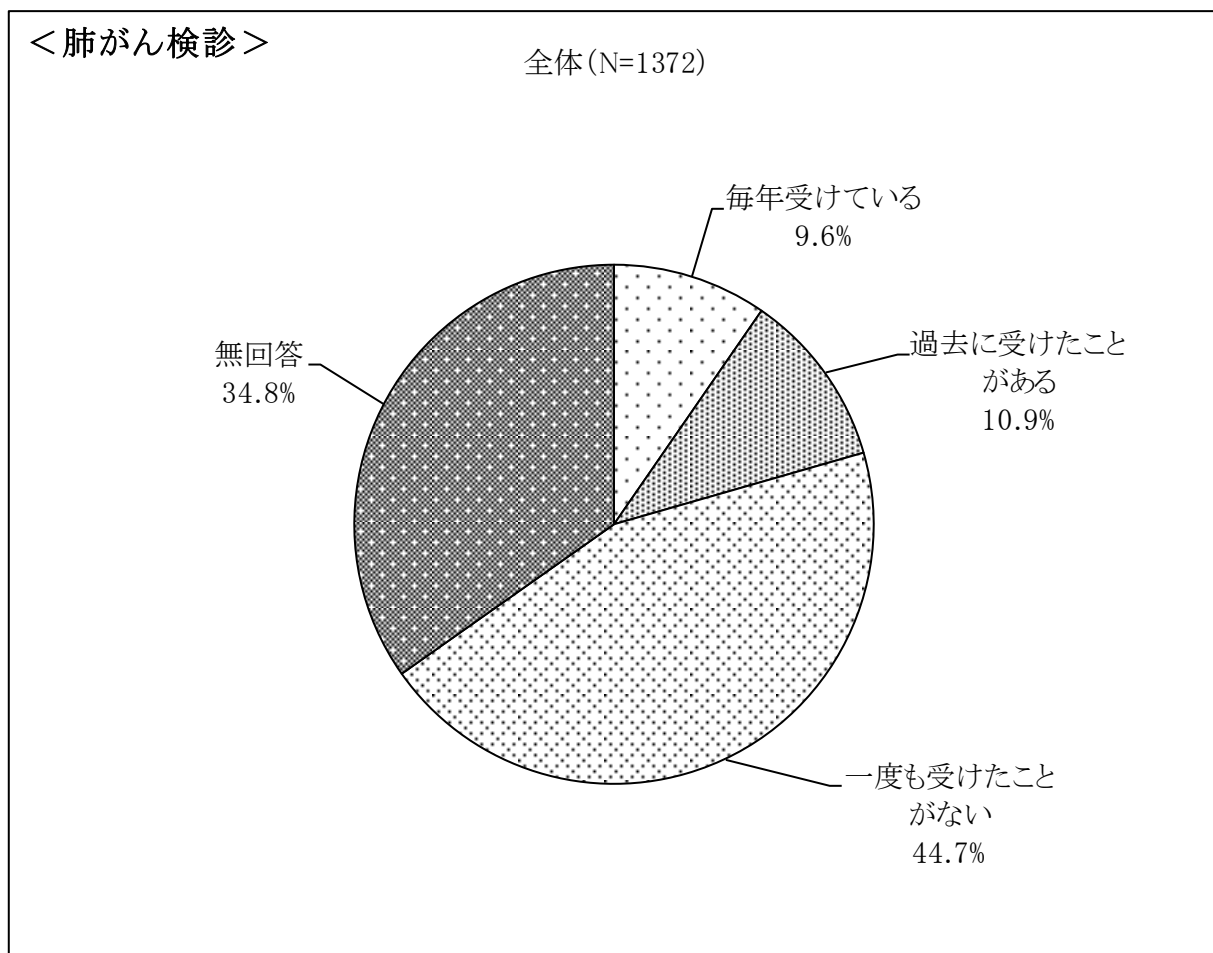
乳がん検診の受診状況について、「過去に受けたことがある」が 31.2%。



年代別でみると、40歳代～70歳以上は、全体と同様に「過去に受けたことがある」が最も高くなっており、50歳代は同率で、「2年に1回受けている」が最も高くなっている。一方、18歳～19歳、20歳代、30歳代は「一度も受けたことがない」が最も高くなっている。

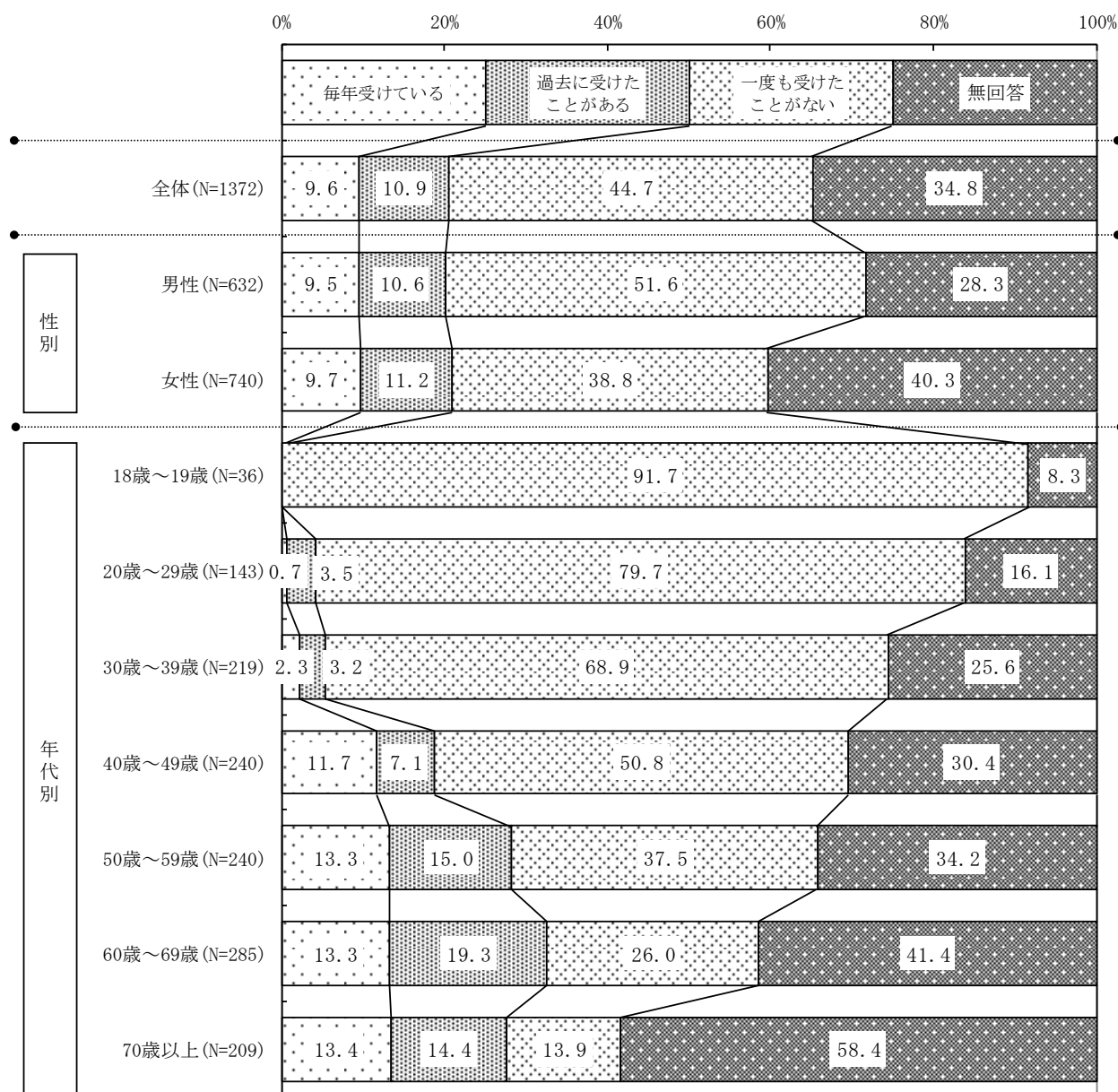
■がん検診の受診状況

問6（5） あなたはがん検診（肺がん）を受診したことがありますか。下表の1から5までの項目の中から、あてはまるものに○をつけてください。



肺がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 44.7%と最も高く、次いで、「過去に受けたことがある」が 10.9%、「毎年受けている」が 9.6%となっている。

肺がん検診の受診状況について、「一度も受けたことがない」が 44.7%。



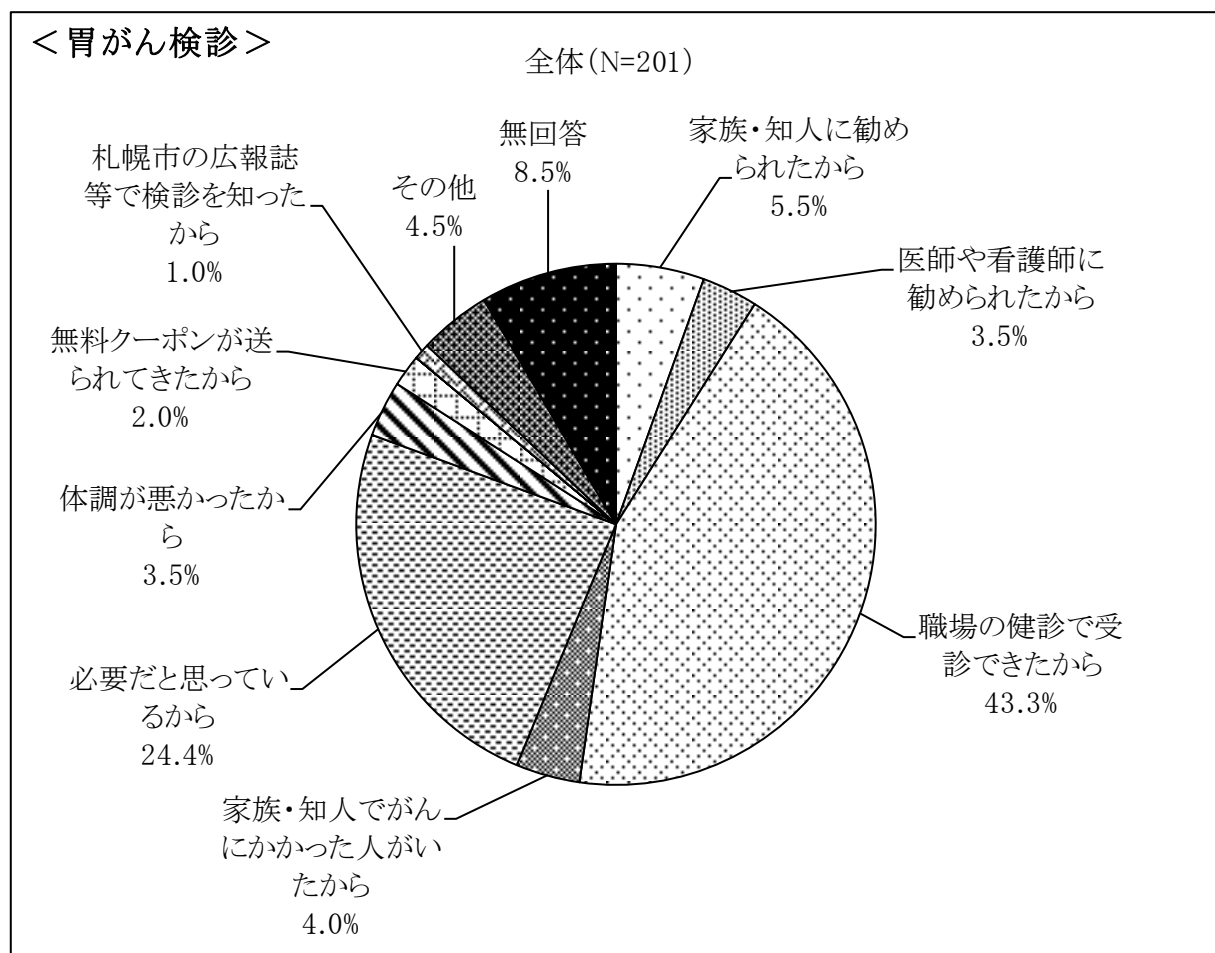
性別でみると、男女ともに「一度も受けたことがない」が最も高くなっており、男性が51.6%で、女性の38.8%より12.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～60歳代は、全体と同様に「一度も受けたことがない」が最も高くなっている。一方、70歳以上は、「過去に受けたことがある」が最も高くなっている。また、40歳代～70歳以上は、「毎年受けている」が全体と比べて高くなっている。

■がん検診を受診したきっかけ

《問6で「1毎年受けている」に○をつけた方にお聞きします》

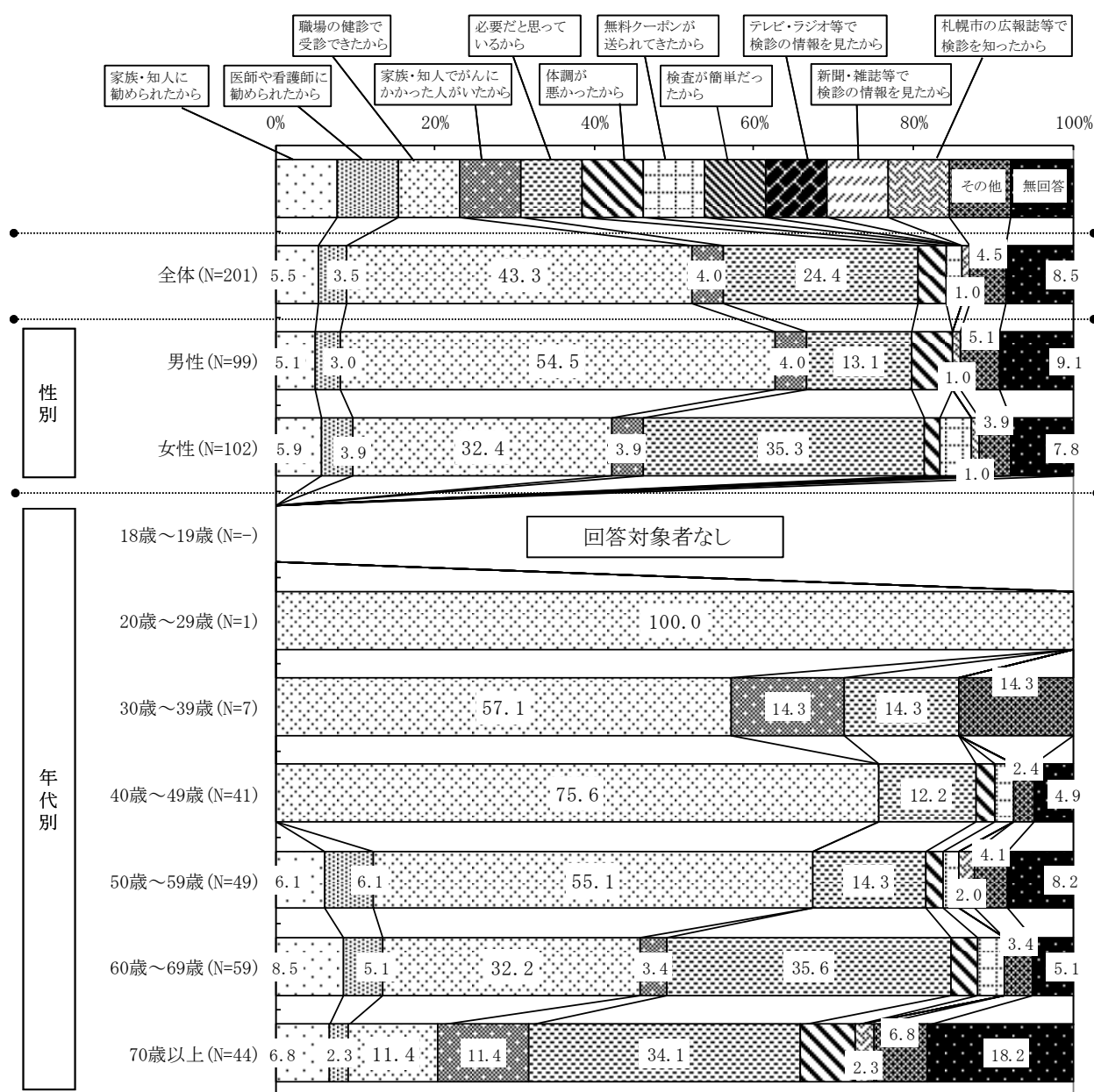
問6の1(1) がん検診（胃がん）を受診したきっかけは何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



胃がん検診を受診したきっかけについて、「職場の健診で受診できたから」が 43.3%と最も高く、次いで、「必要だと思っているから」が 24.4%となっている。以下、「家族・知人に勧められたから」が 5.5%、「家族・知人ががんにかかった人がいたから」が 4.0%となっている。

胃がん検診を受診したきっかけは、「職場の健診で受診できたから」が 43.3%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－



性別でみると、男性は全体と同様に「職場の健診で受診できたから」が54.5%で最も高くなっている。一方、女性は「必要だと思っているから」が35.3%で最も高くなっている。

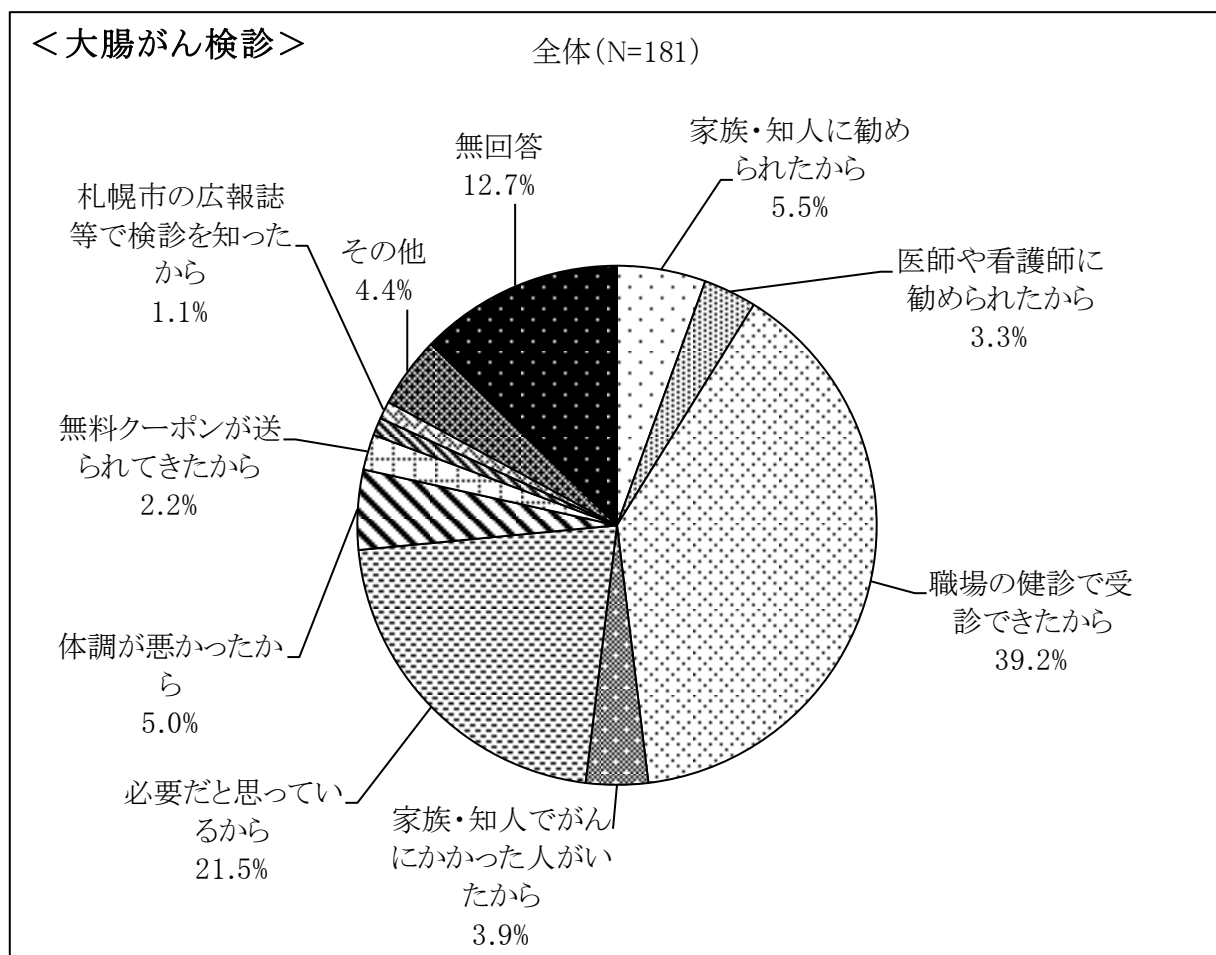
年代別でみると、20歳代～50歳代は、全体と同様に「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっており、60歳代、70歳以上は「必要だと思っているから」が最も高くなっている。



■がん検診を受診したきっかけ

《問6で「1毎年受けている」に○をつけた方にお聞きます》

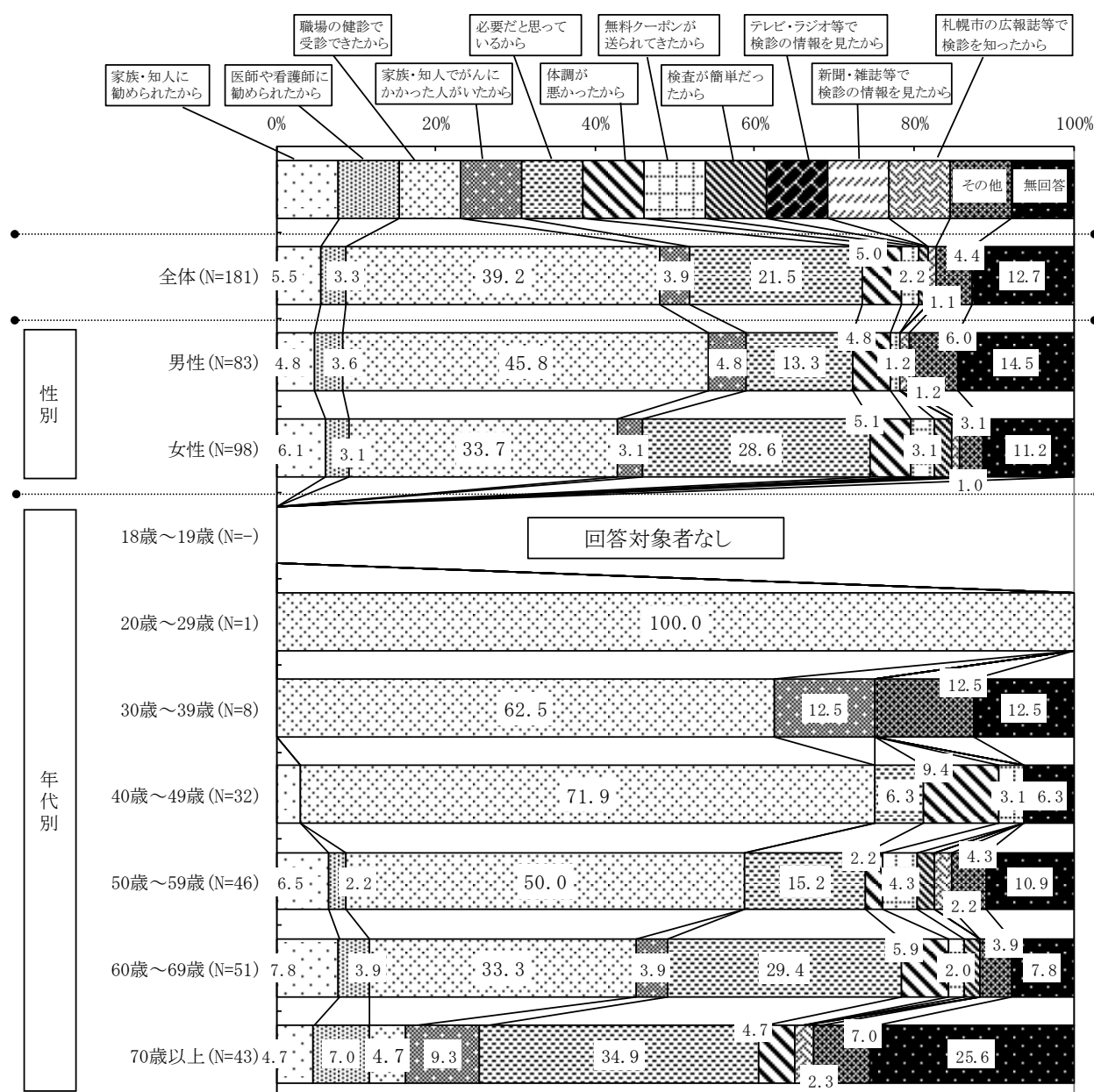
問6の1(2) がん検診（大腸がん）を受診したきっかけは何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



大腸がん検診を受診したきっかけについて、「職場の健診で受診できたから」が39.2%と最も高く、次いで、「必要だと思っているから」が21.5%となっている。以下、「家族・知人に勧められたから」が5.5%、「体調が悪かったから」が5.0%となっている。

大腸がん検診を受診したきっかけは、「職場の健診で受診できたから」が39.2%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－



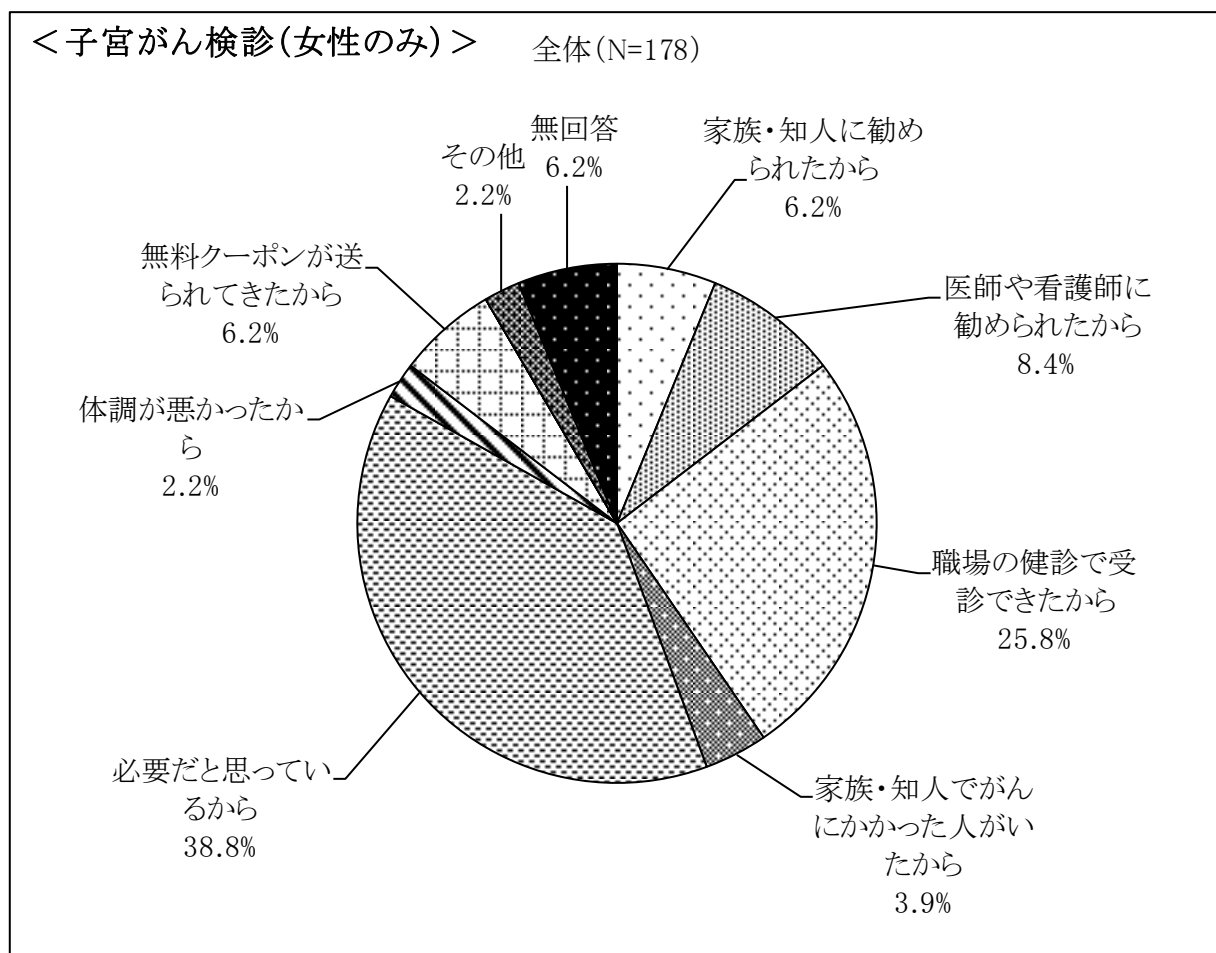
性別でみると、男女ともに「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっており、男性が 45.8%で、女性の 33.7%より 12.1 ポイント高くなっている。

年代別でみると、20 歳代～60 歳代は、全体と同様に「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっており、70 歳以上は「必要だと思っているから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診したきっかけ

《問6で「1毎年受けている」に○をつけた方にお聞きます》

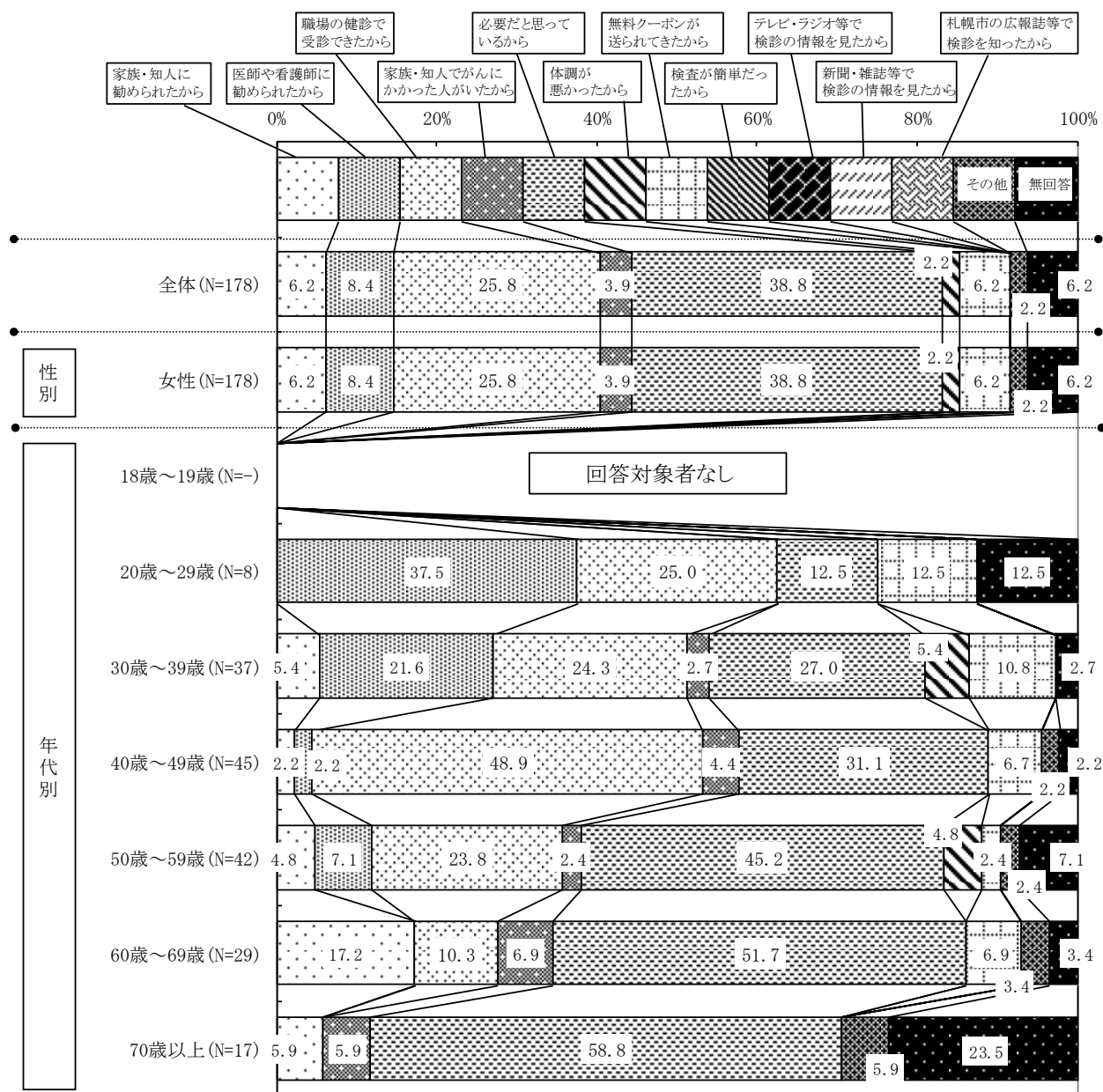
問6の1(3) がん検診（子宮がん）を受診したきっかけは何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



子宮がん検診を受診したきっかけについて、「必要だと思っているから」が38.8%と最も高く、次いで、「職場の健診で受診できたから」が25.8%となっている。以下、「医師や看護師に勧められたから」が8.4%、「家族・知人に勧められたから」と「無料クーポンが送られてきたから」が同率で6.2%となっている。

子宮がん検診を受診したきっかけは、「必要だと思っているから」が38.8%。

## Ⅱ 市民の健康づくり－Ⅲ 健診（検診）の受診－

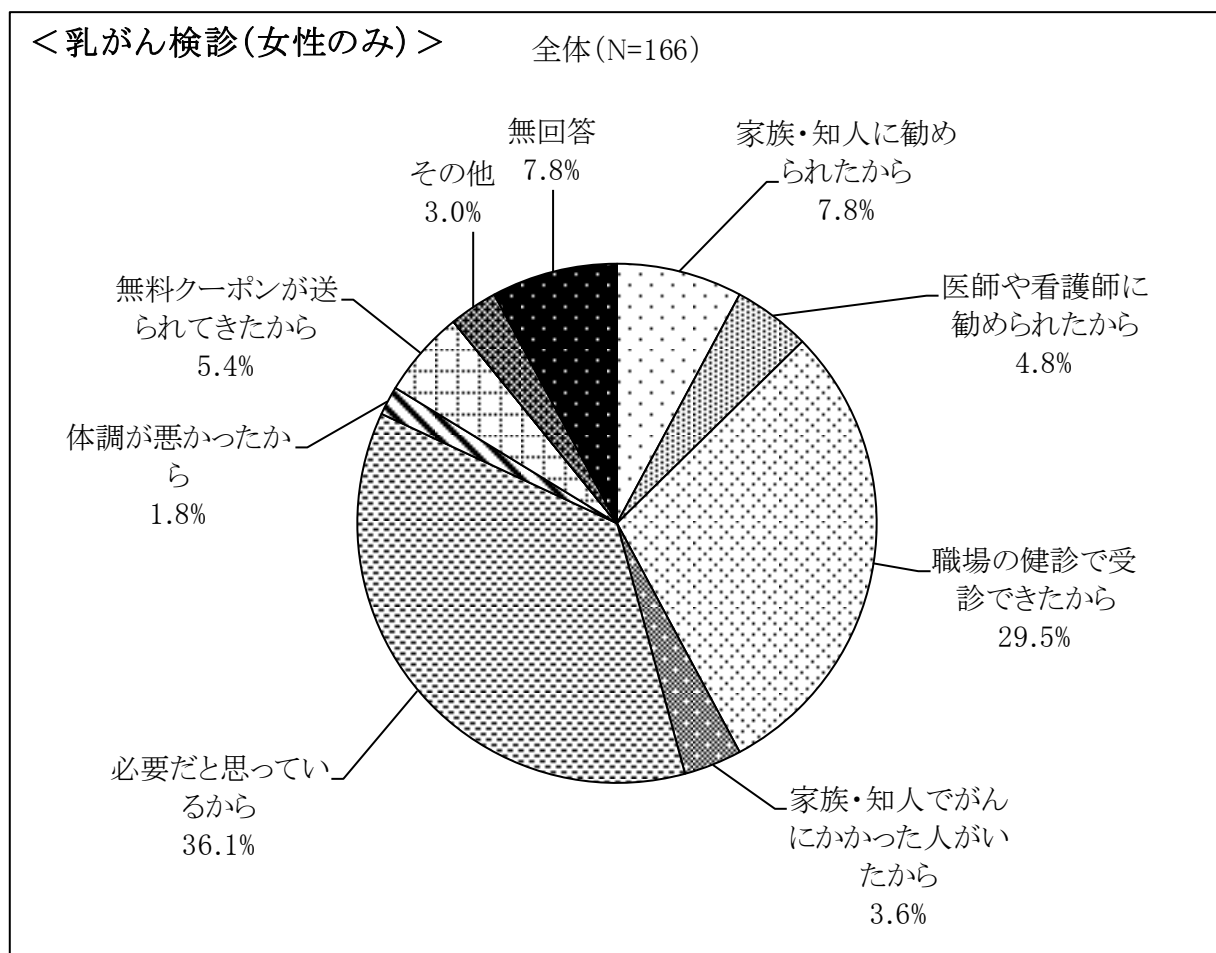


年代別でみると、30歳代、50歳代～70歳以上は、全体と同様に「必要だと思っているから」が最も高くなっており、20歳代は、「医師や看護師に勧められたから」、40歳代は、「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診したきっかけ

《問6で「1毎年受けている」に○をつけた方にお聞きします》

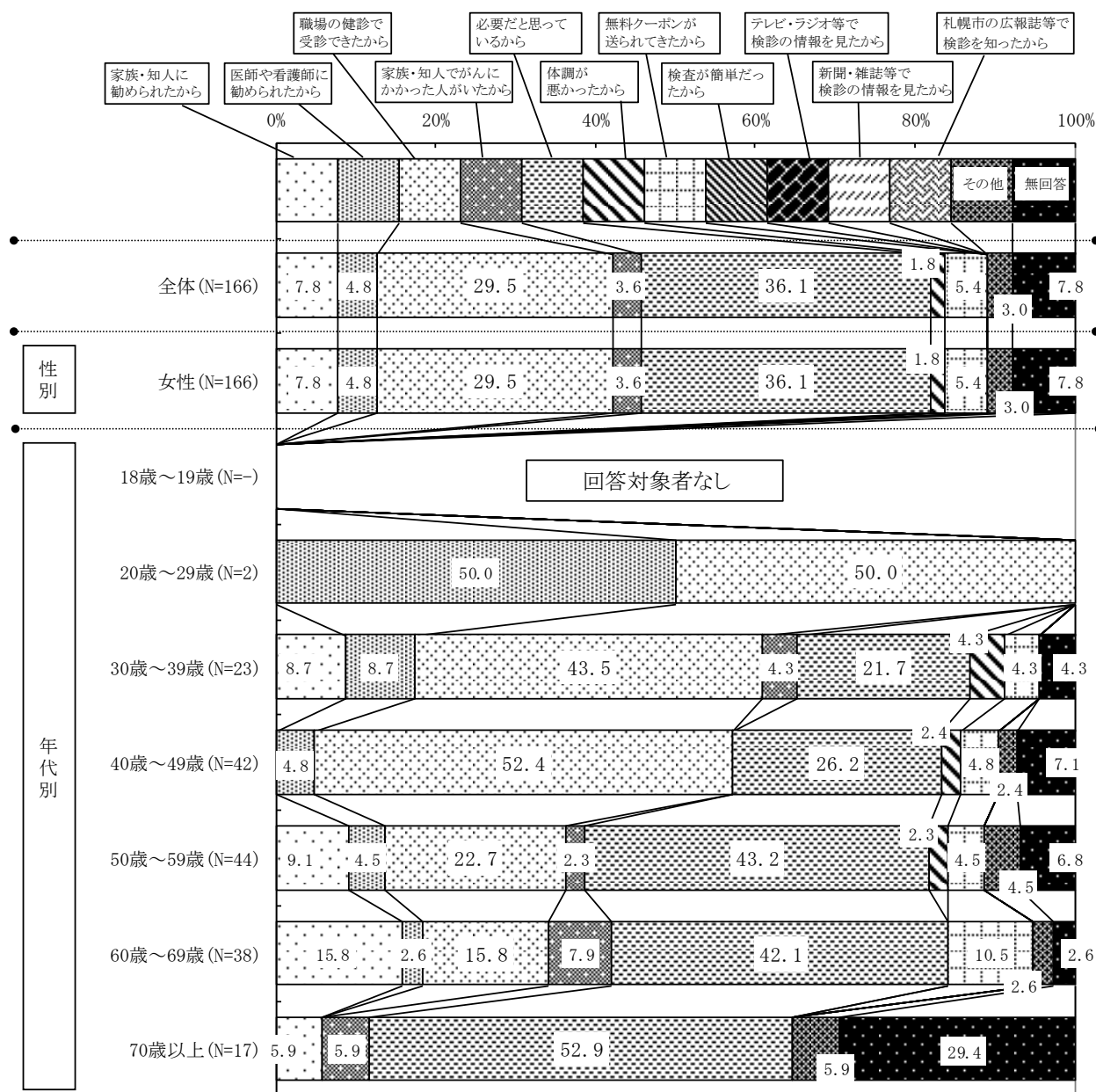
問6の1(4) がん検診（乳がん）を受診したきっかけは何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



乳がん検診を受診したきっかけについて、「必要だと思っているから」が 36.1%と最も高く、次いで、「職場の健診で受診できたから」が 29.5%となっている。以下、「家族・知人に勧められたから」が 7.8%、「無料クーポンが送られてきたから」が 5.4%となっている。

乳がん検診を受診したきっかけは、「必要だと思っているから」が 36.1%。

## Ⅱ 市民の健康づくり－Ⅲ 健診（検診）の受診－

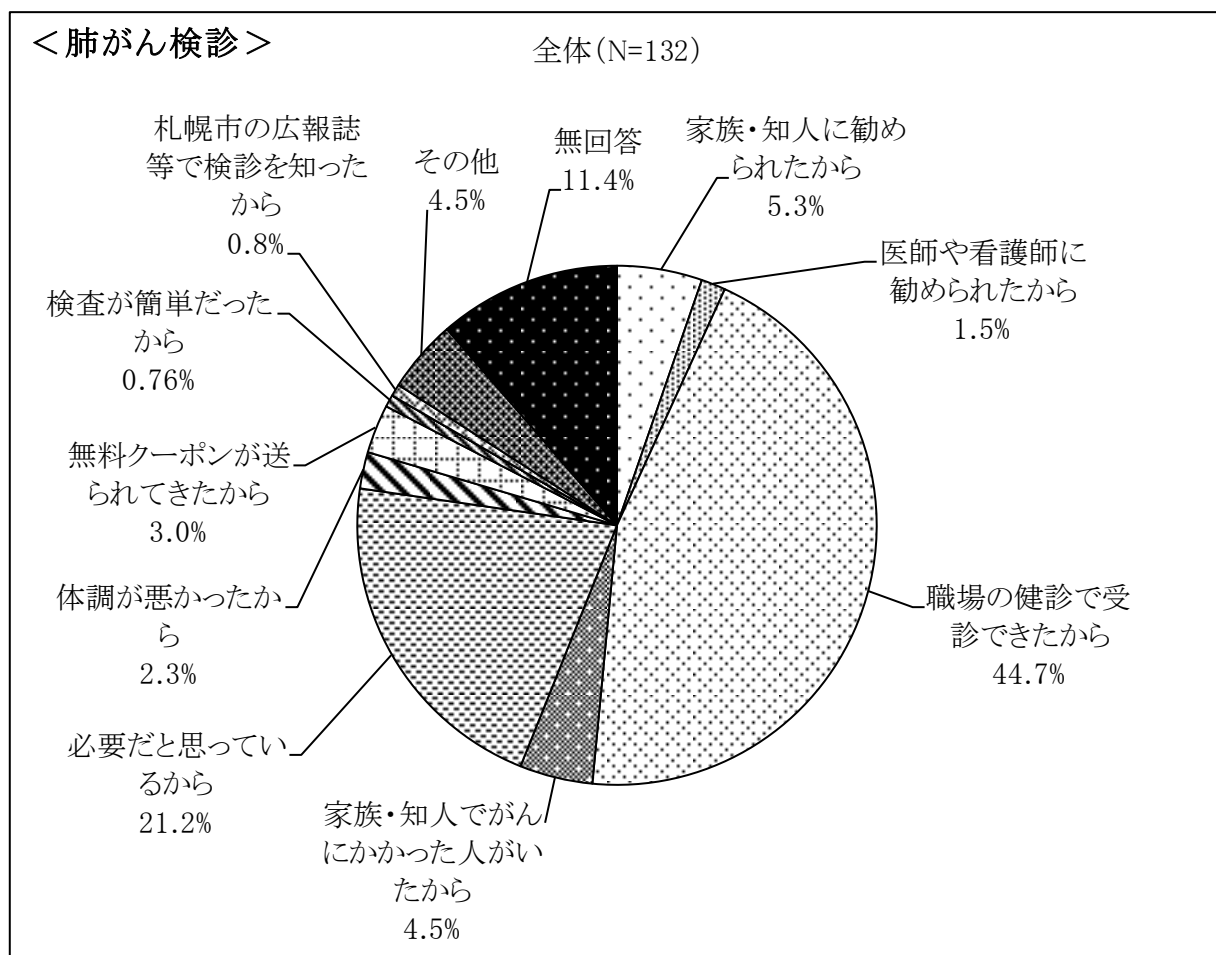


年代別でみると、50歳代～70歳以上は、全体と同様に「必要だと思っているから」が最も高くなっており、30歳代～40歳代は、「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診したきっかけ

《問6で「1毎年受けている」に○をつけた方にお聞きします》

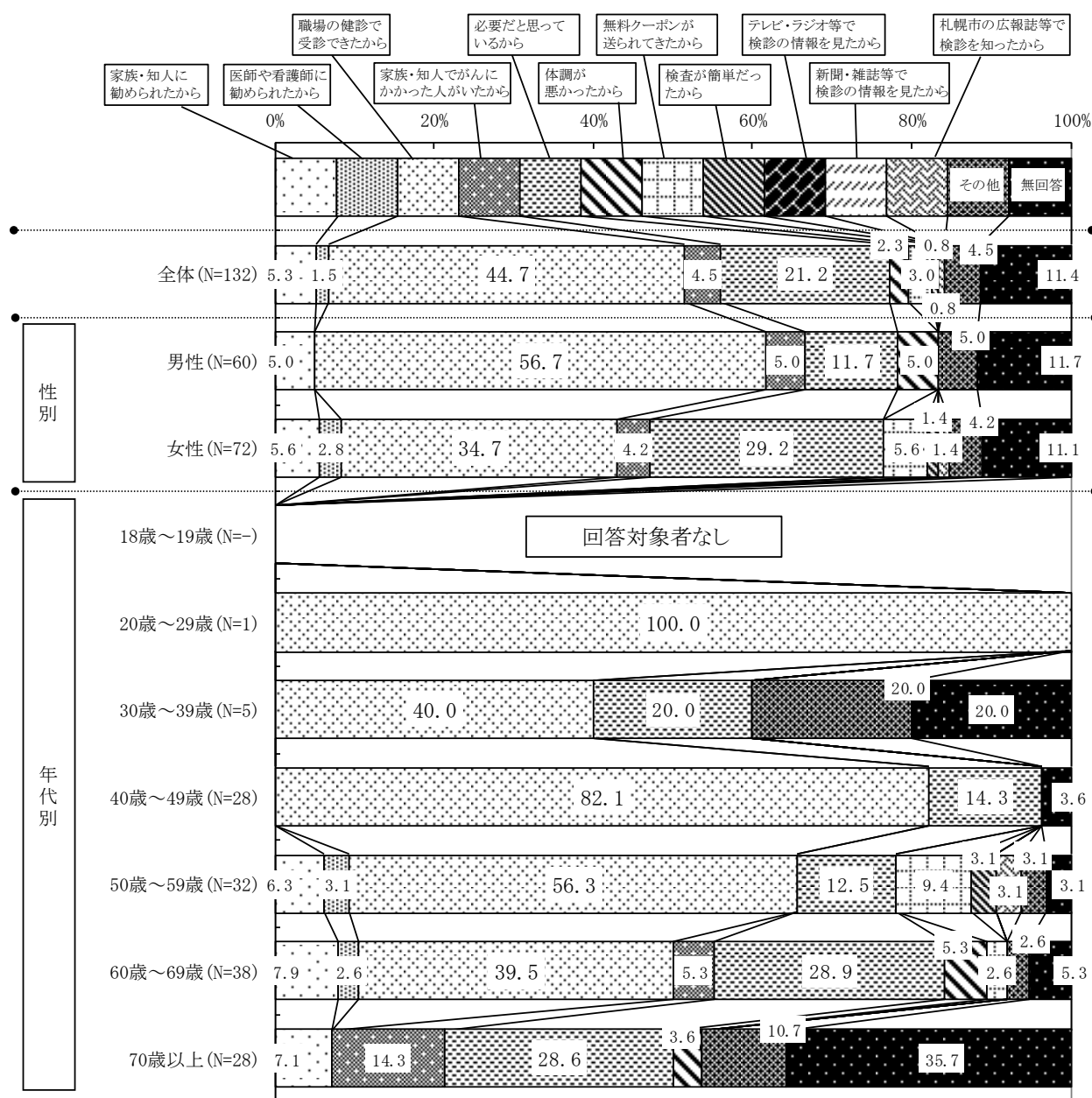
問6の1(5) がん検診（肺がん）を受診したきっかけは何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



肺がん検診を受診したきっかけについて、「職場の健診で受診できたから」が 44.7% と最も高く、次いで、「必要だと思っているから」が 21.2% となっている。以下、「家族・知人に勧められたから」が 5.3%、「家族・知人ががんにかかった人がいたから」が 4.5% となっている。

肺がん検診を受診したきっかけは、「職場の健診で受診できたから」が 44.7%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－



性別でみると、男女ともに「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっており、男性が 56.7%で、女性の 34.7%より 22.0 ポイント高くなっている。

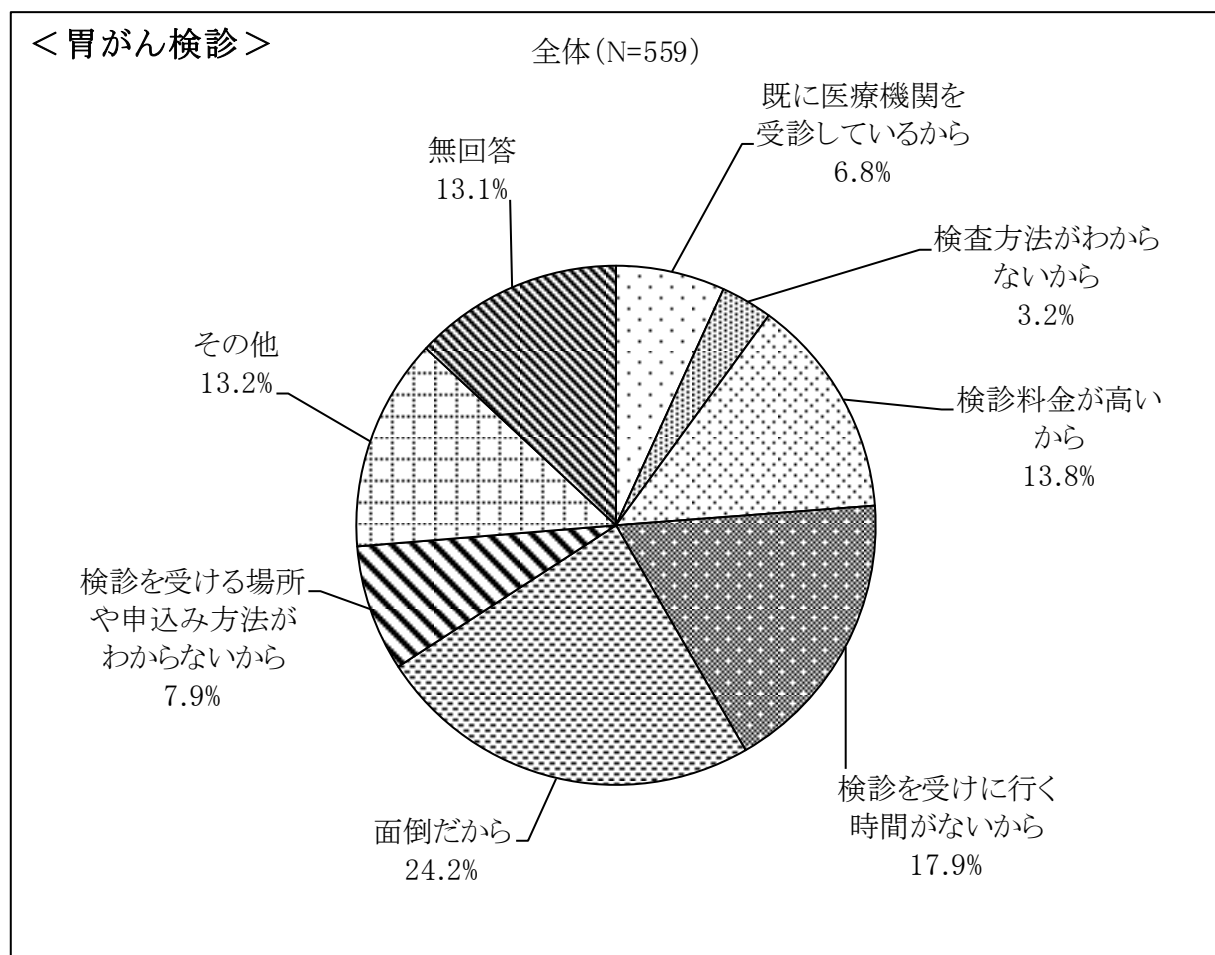
年代別でみると、20 歳代～60 歳代は、全体と同様に「職場の健診で受診できたから」が最も高くなっており、70 歳以上は「必要だと思っているから」が最も高くなっている。



■がん検診を受診していない理由

《問6で「3一度も受けたことがない」に○をつけた方にお聞きします》

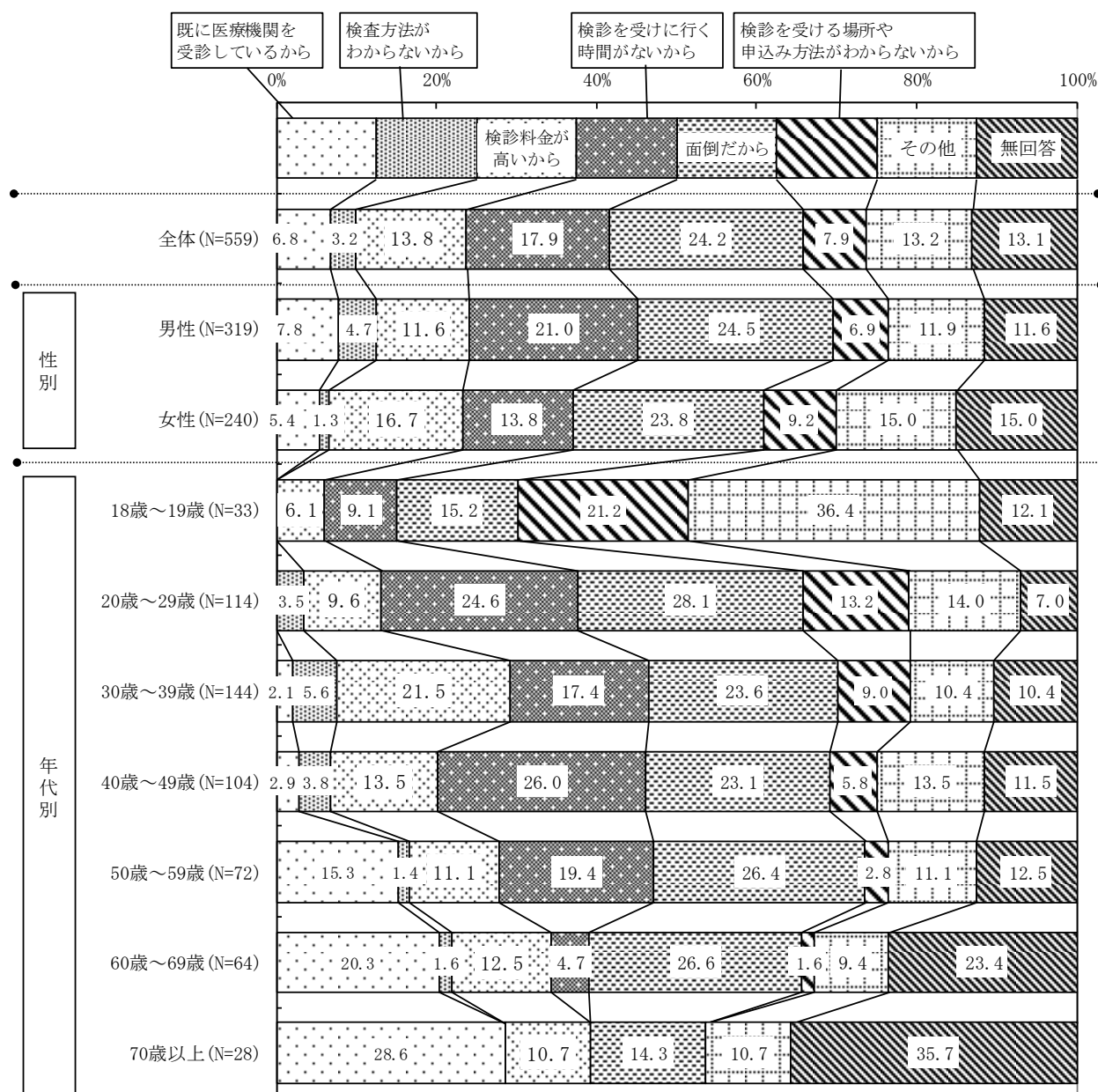
問6の2（1） がん検診（胃がん）を受診していない理由は何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



胃がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 24.2%と最も高く、次いで、「検診を受けに行く時間がないから」が 17.9%となっている。以下、「検診料金が安いから」が 13.8%、「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」が 7.9%となっている。

胃がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 24.2%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－



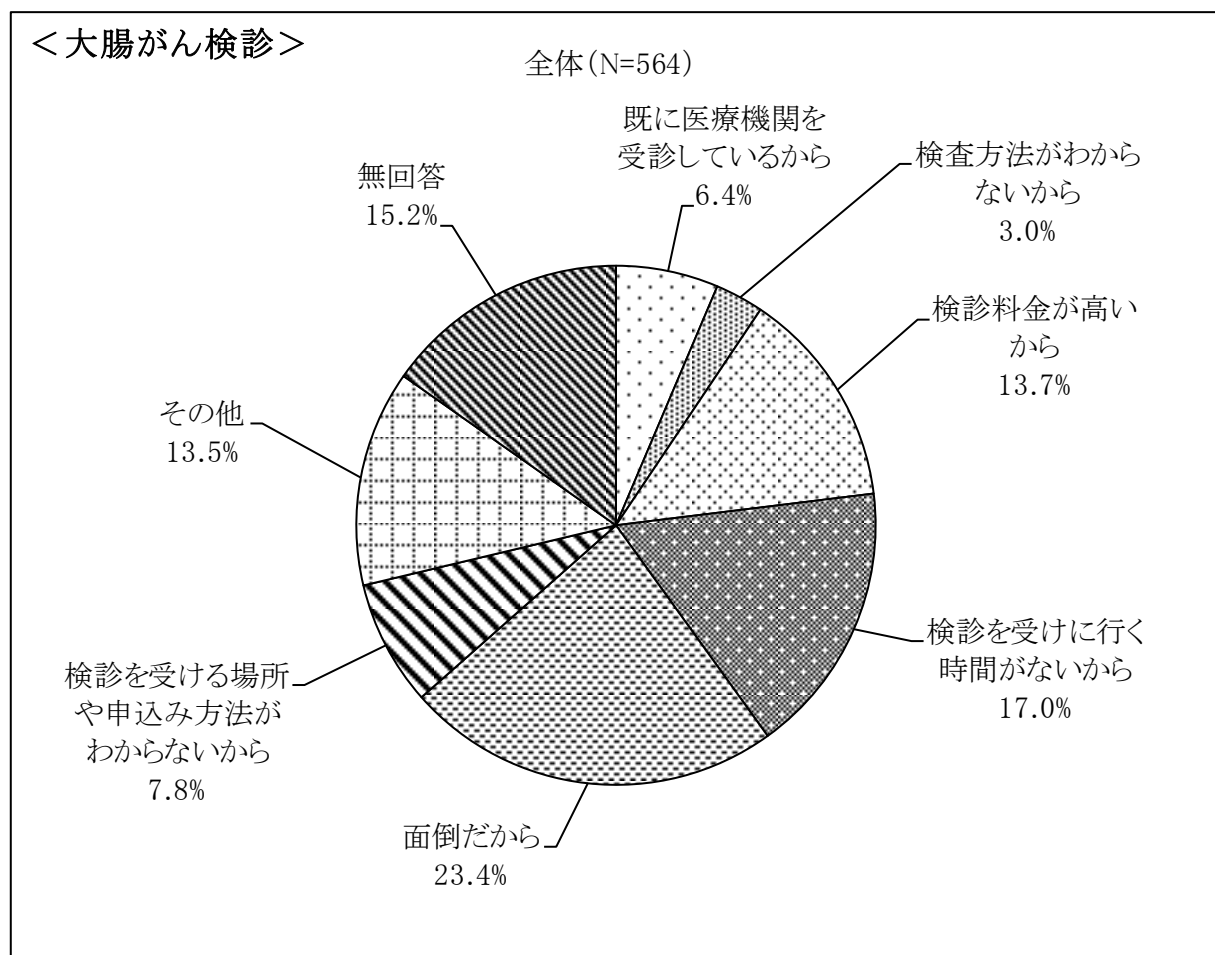
性別でみると、男女ともに差はみられず、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっている。

年代別でみると、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代は、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっており、18歳～19歳は「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」、40歳代は、「検診を受けに行く時間がないから」、70歳以上は、「既に医療機関を受診しているから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診していない理由

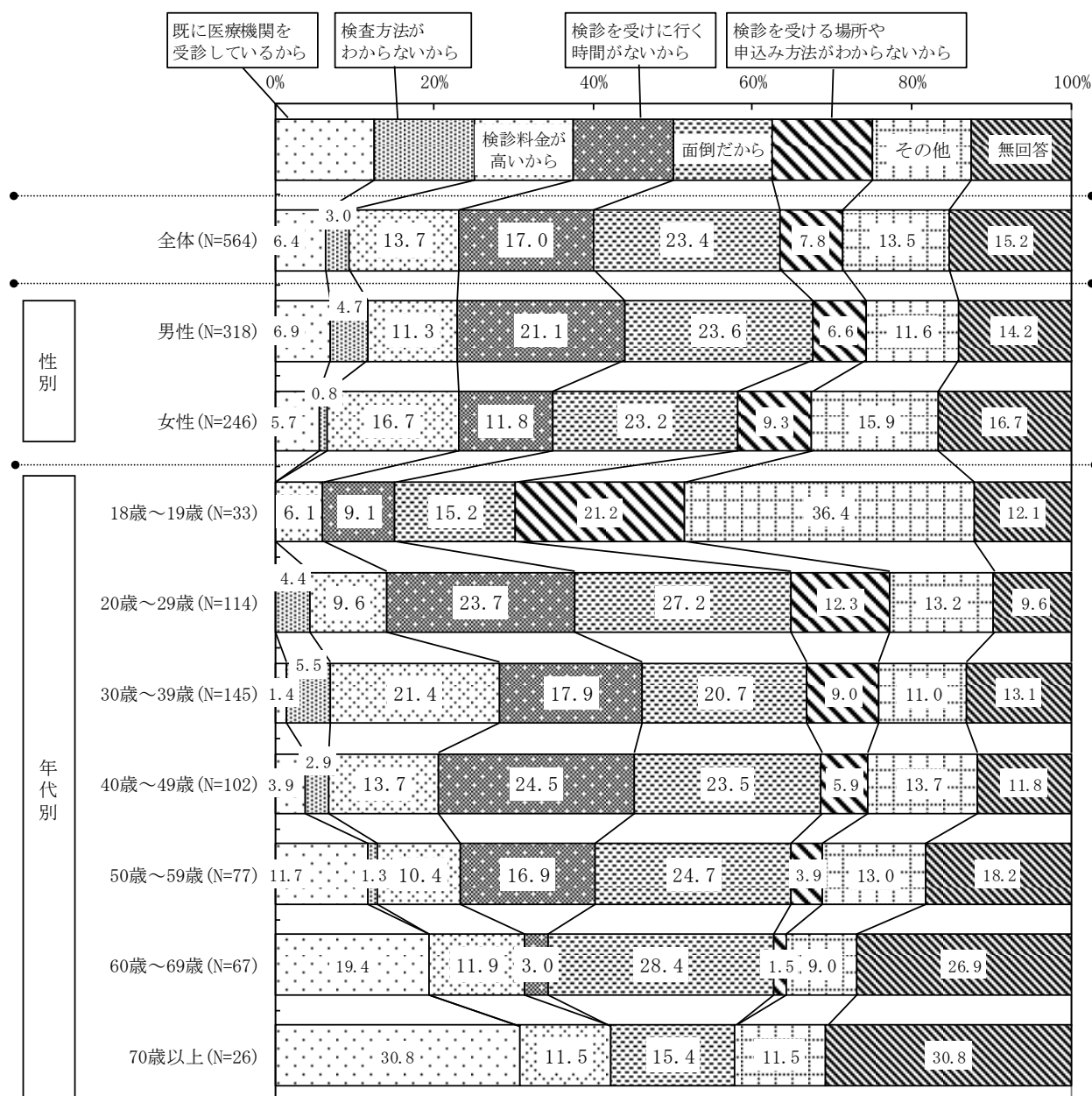
《問6で「3一度も受けたことがない」に○をつけた方にお聞きます》

問6の2(2) がん検診（大腸がん）を受診していない理由は何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



大腸がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 23.4%と最も高く、次いで、「検診を受けに行く時間がないから」が 17.0%となっている。以下、「検診料金が低いから」が 13.7%、「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」が 7.8%となっている。

大腸がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 23.4%。



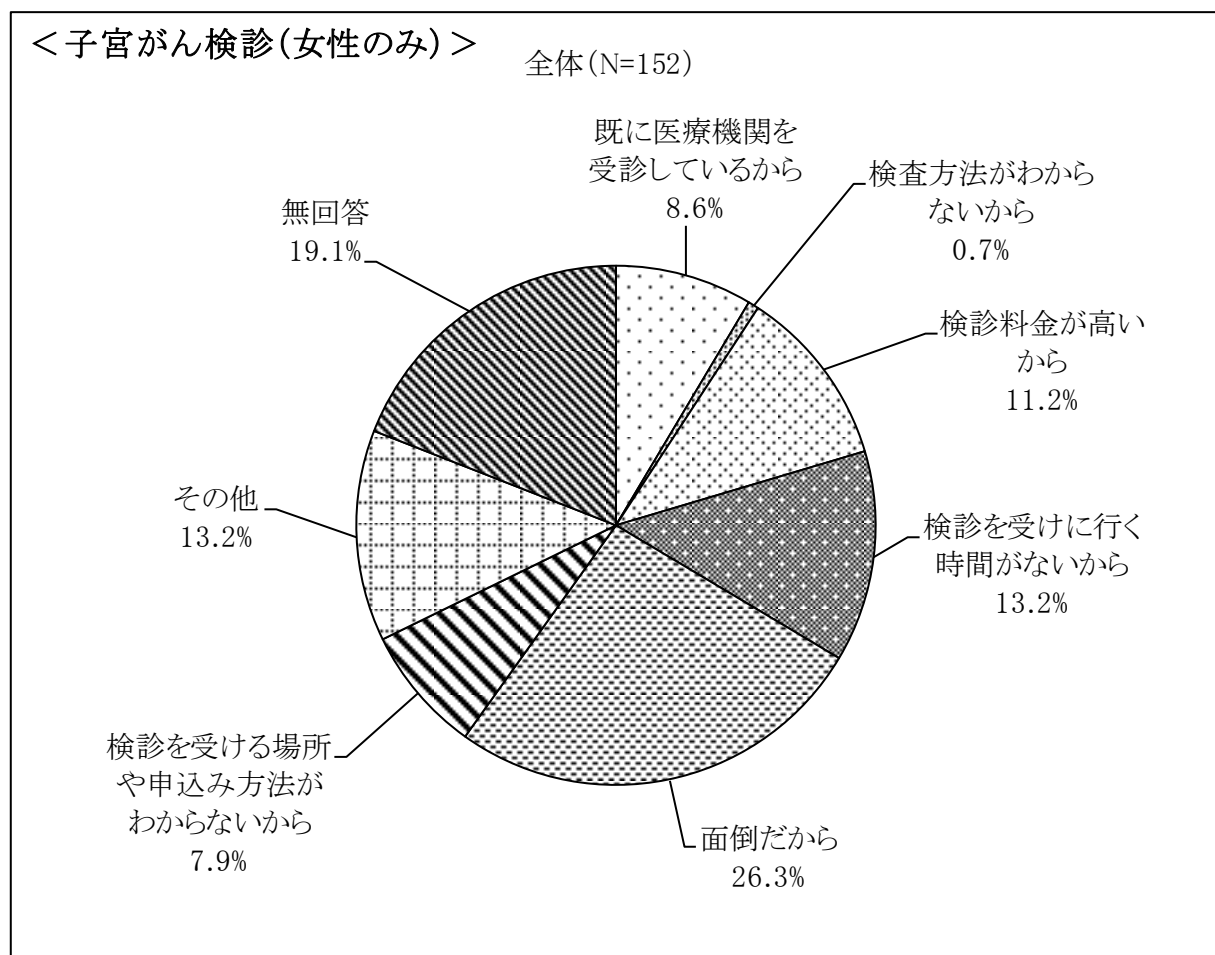
性別でみると、男女ともに差はみられず、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっている。

年代別でみると、20歳代、50歳代、60歳代は、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっており、18歳～19歳は「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」、30歳代は、「検診料金が高いから」、40歳代は、「検診を受けに行く時間がないから」、70歳以上は、「既に医療機関を受診しているから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診していない理由

《問6で「3一度も受けたことがない」に○をつけた方にお聞きます》

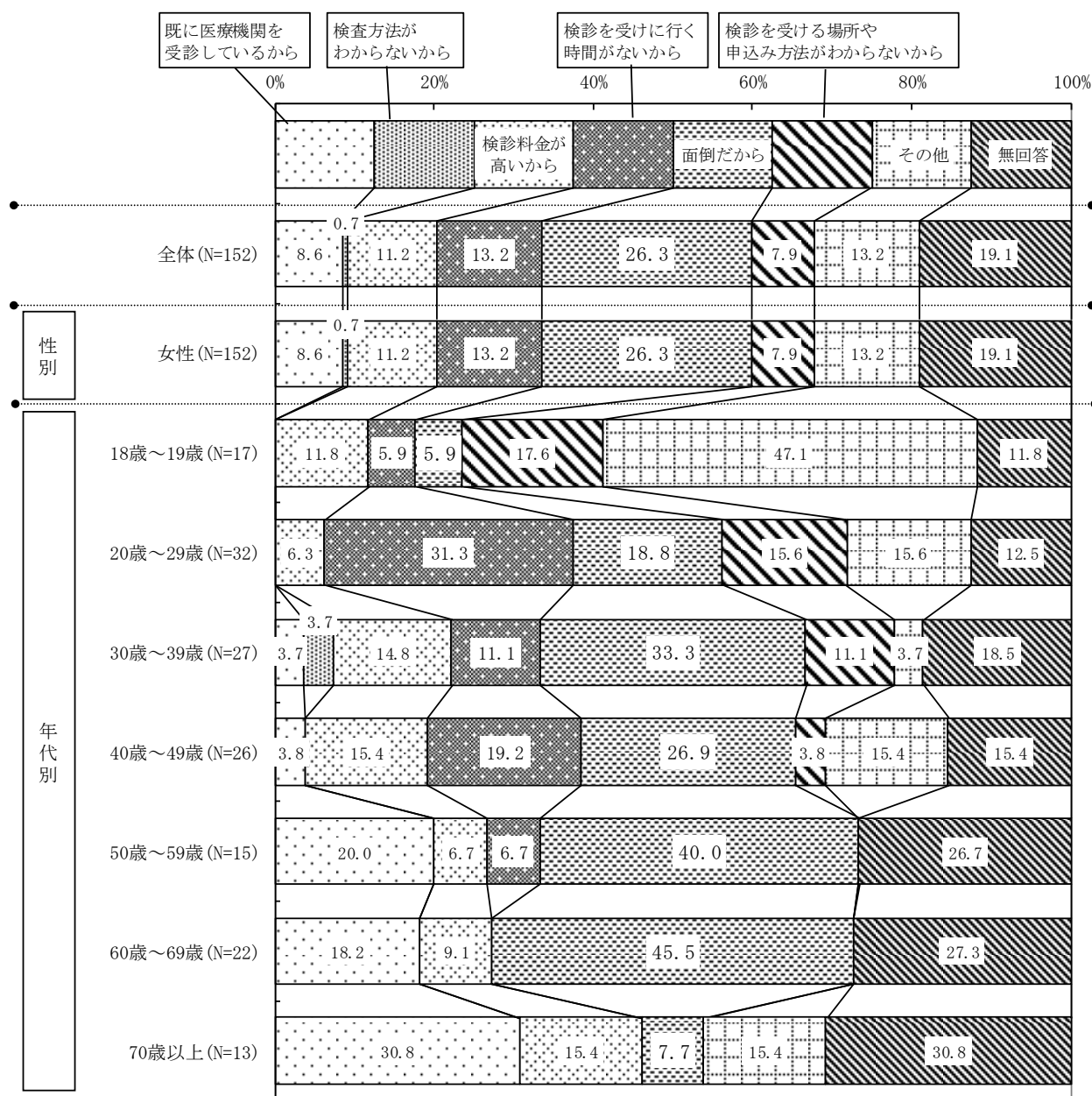
問6の2(3) がん検診（子宮がん）を受診していない理由は何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



子宮がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 26.3%と最も高く、次いで、「検診を受けに行く時間がないから」が 13.2%となっている。以下、「検診料金が安いから」が 11.2%、「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」が 7.9%となっている。

子宮がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 26.3%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－

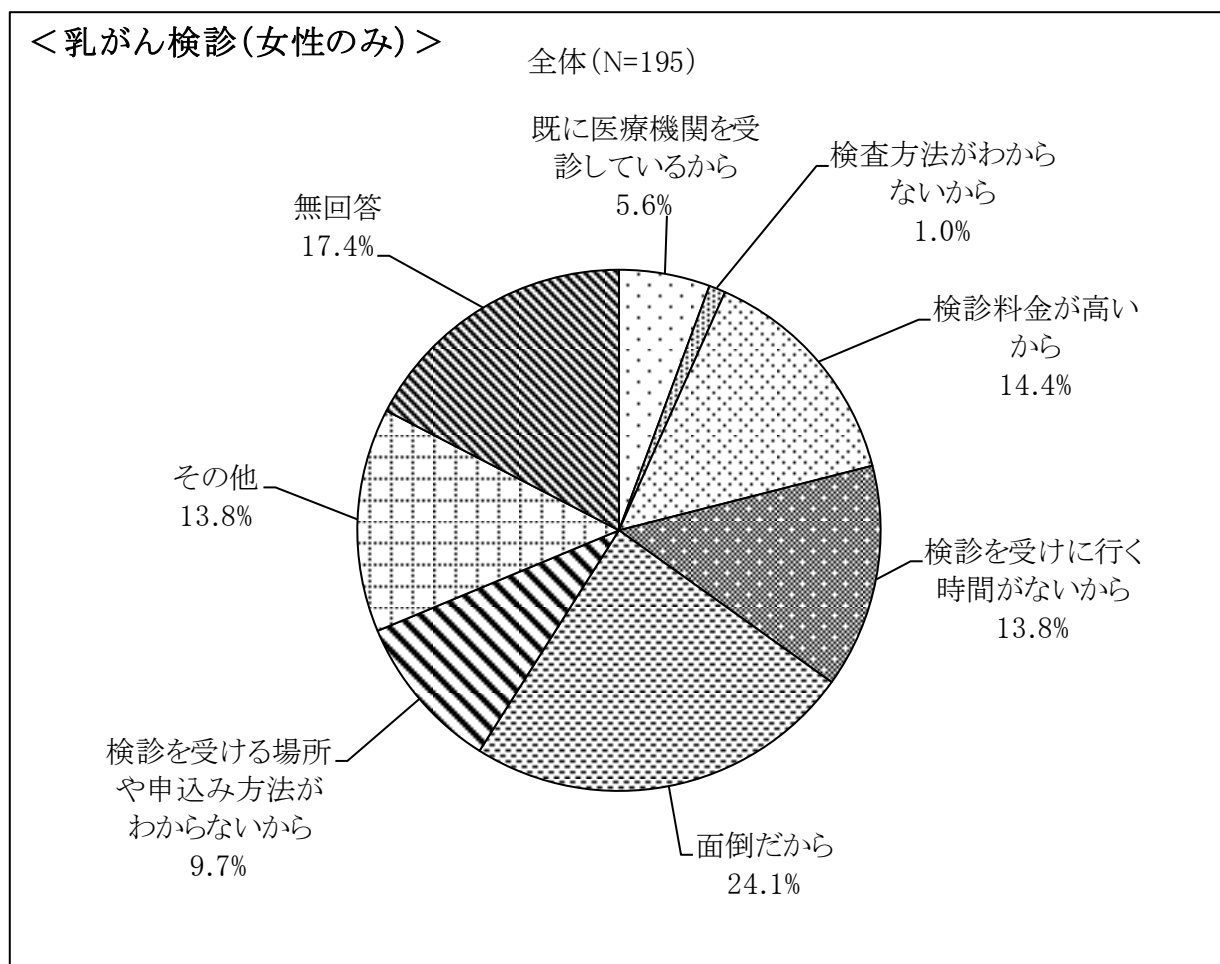


年代別でみると、30歳代～60歳代は、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっており、18歳～19歳は「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」、20歳代は、「検診を受けに行く時間がないから」、70歳以上は、「既に医療機関を受診しているから」が最も高くなっている。

■がん検診を受診していない理由

《問6で「3一度も受けたことがない」に○をつけた方にお聞きます》

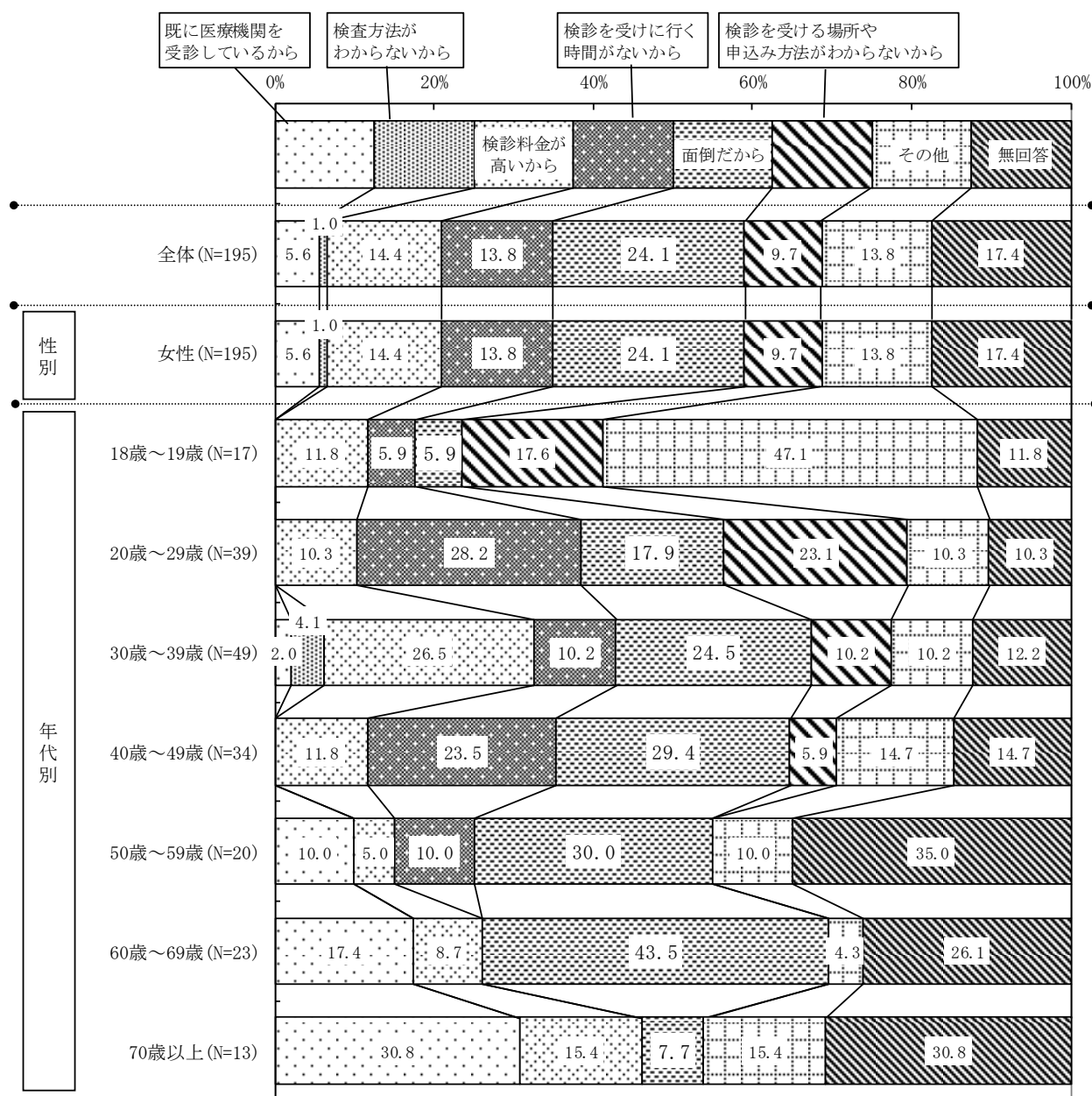
問6の2(4) がん検診（乳がん）を受診していない理由は何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



乳がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 24.1%と最も高く、次いで、「検診料金が安いから」が 14.4%となっている。以下、「検診を受けに行く時間がないから」が 13.8%、「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」が 9.7%となっている。

乳がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 24.1%。

## Ⅱ市民の健康づくり－Ⅲ健診（検診）の受診－



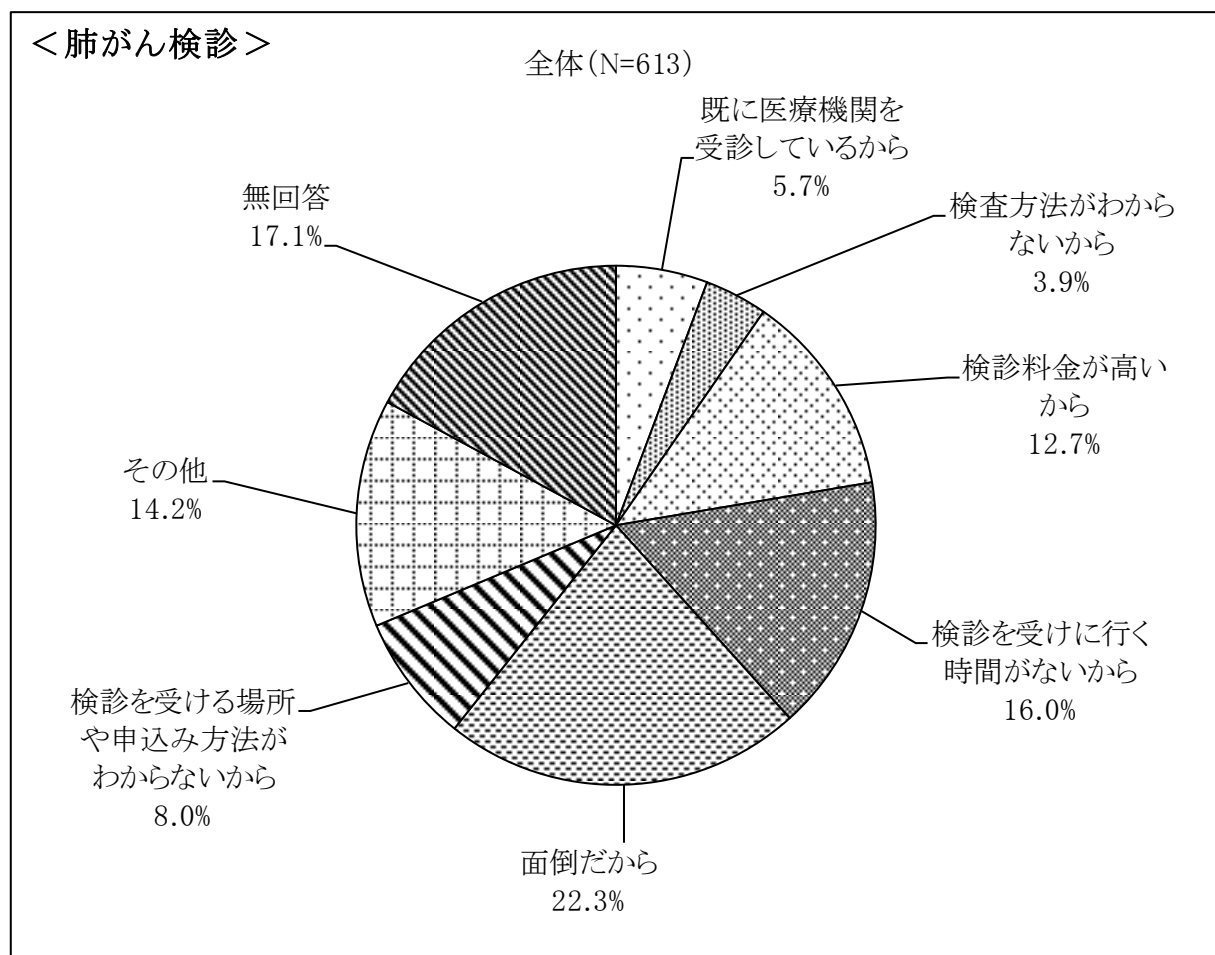
年代別でみると、40歳代～60歳代は、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっており、18歳～19歳は「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」、20歳代は、「検診を受けに行く時間がないから」、30歳代は、「検診料金が安いから」、70歳以上は、「既に医療機関を受診しているから」が最も高くなっている。



■がん検診を受診していない理由

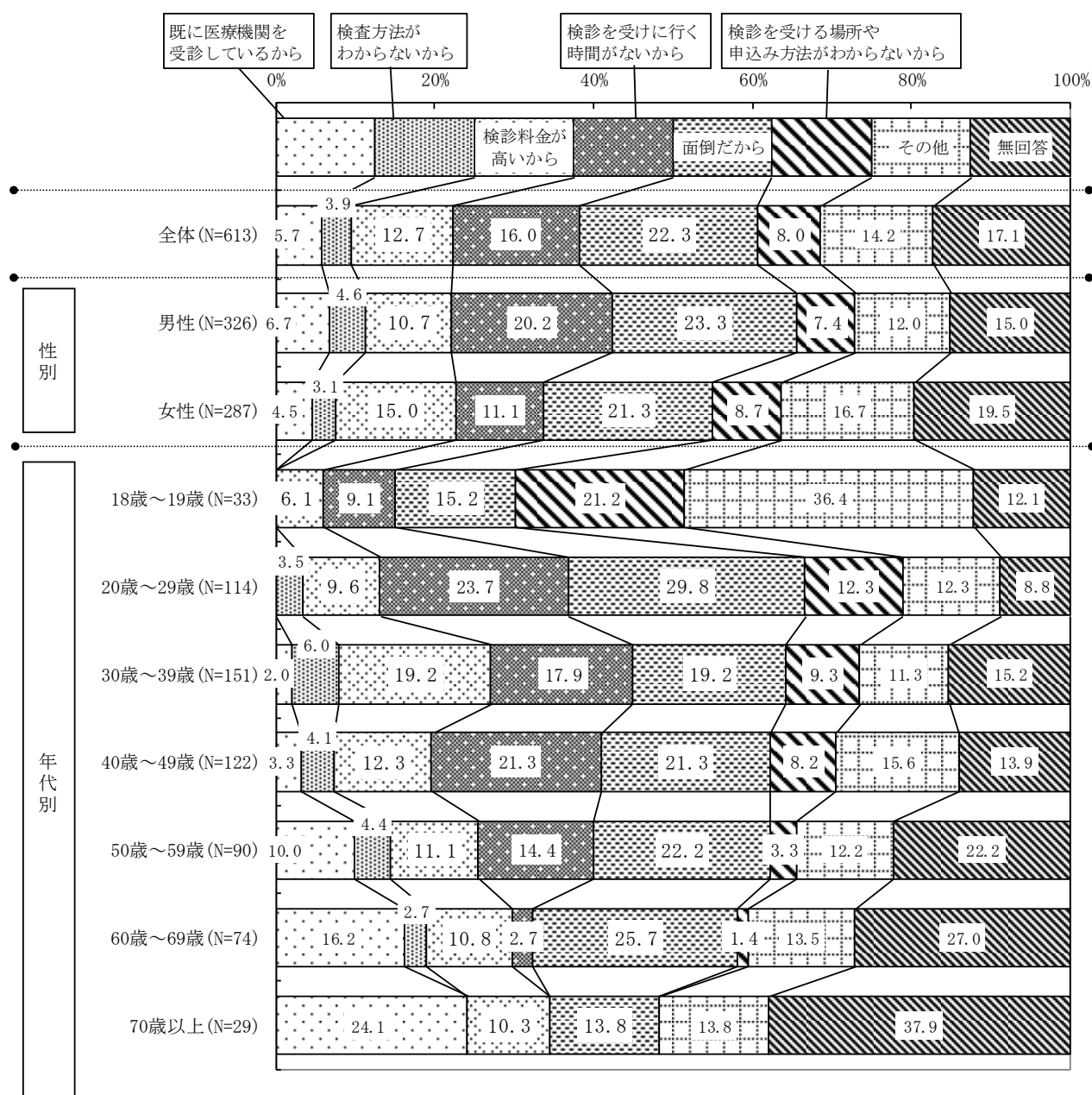
《問6で「3一度も受けたことがない」に○をつけた方にお聞きます》

問6の2(5) がん検診（肺がん）を受診していない理由は何ですか。右の表からあてはまる番号を選び、それぞれご記入ください。



肺がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 22.3%と最も高く、次いで、「検診を受けに行く時間がないから」が 16.0%となっている。以下、「検診料金が安いから」が 12.7%、「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」が 8.0%となっている。

肺がん検診を受診していない理由について、「面倒だから」が 22.3%。



性別でみると、男女ともにほとんど差はみられず、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっている。また、男性の第2位「検診を受けに行く時間がないから」は20.2%で、女性の11.1%より9.1ポイント高くなっている。

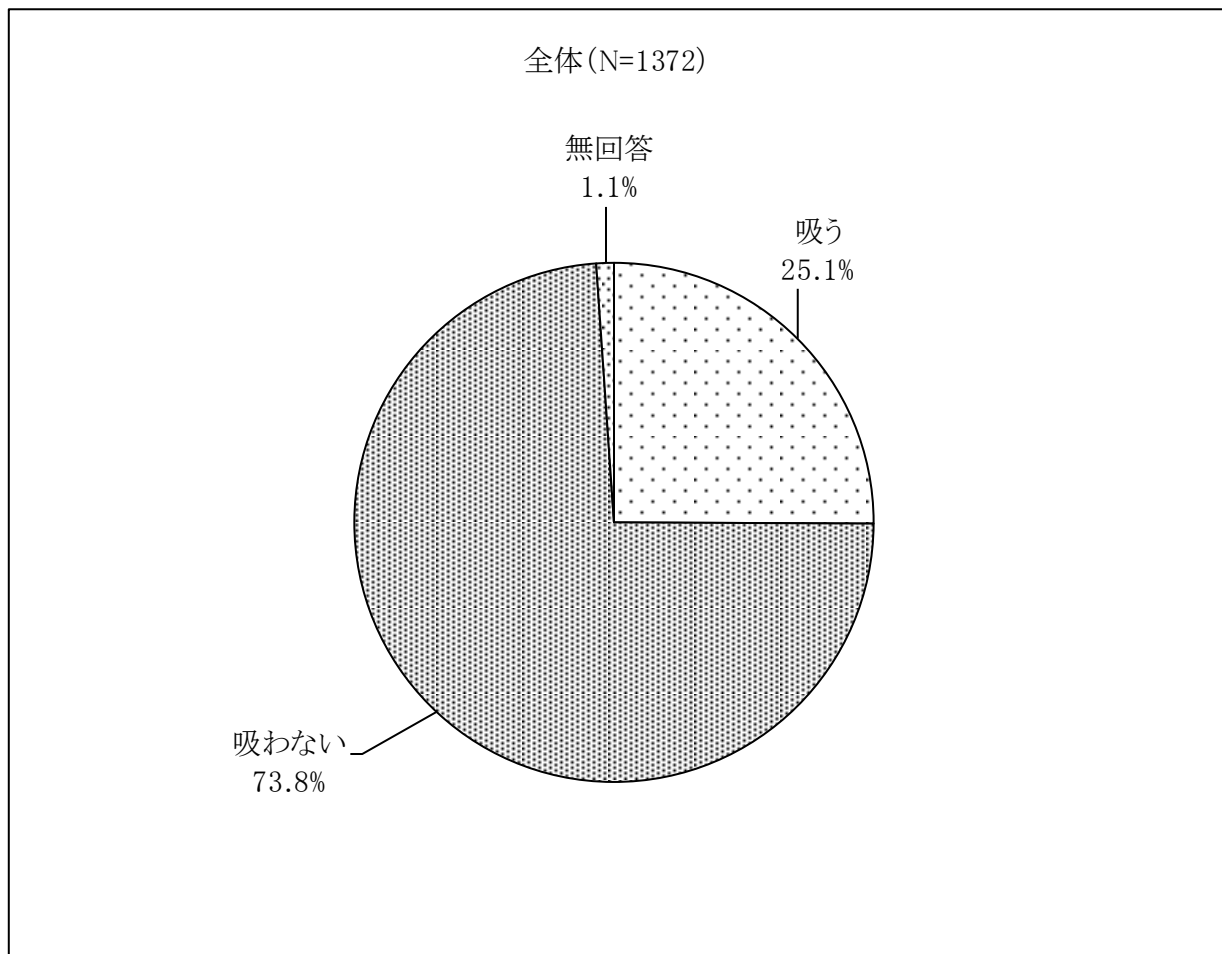
年代別でみると、20歳代～60歳代は、全体と同様に「面倒だから」が最も高くなっており、30歳代は同率で「検診料金が安いから」、40歳代は同率で「検診を受けに行く時間がないから」が第1位となっている。18歳～19歳は「検診を受ける場所や申し込み方法がわからないから」、70歳以上は、「既に医療機関を受診しているから」が最も高くなっている。

## Ⅱ 市民の健康づくり

### － iv 受動喫煙 －

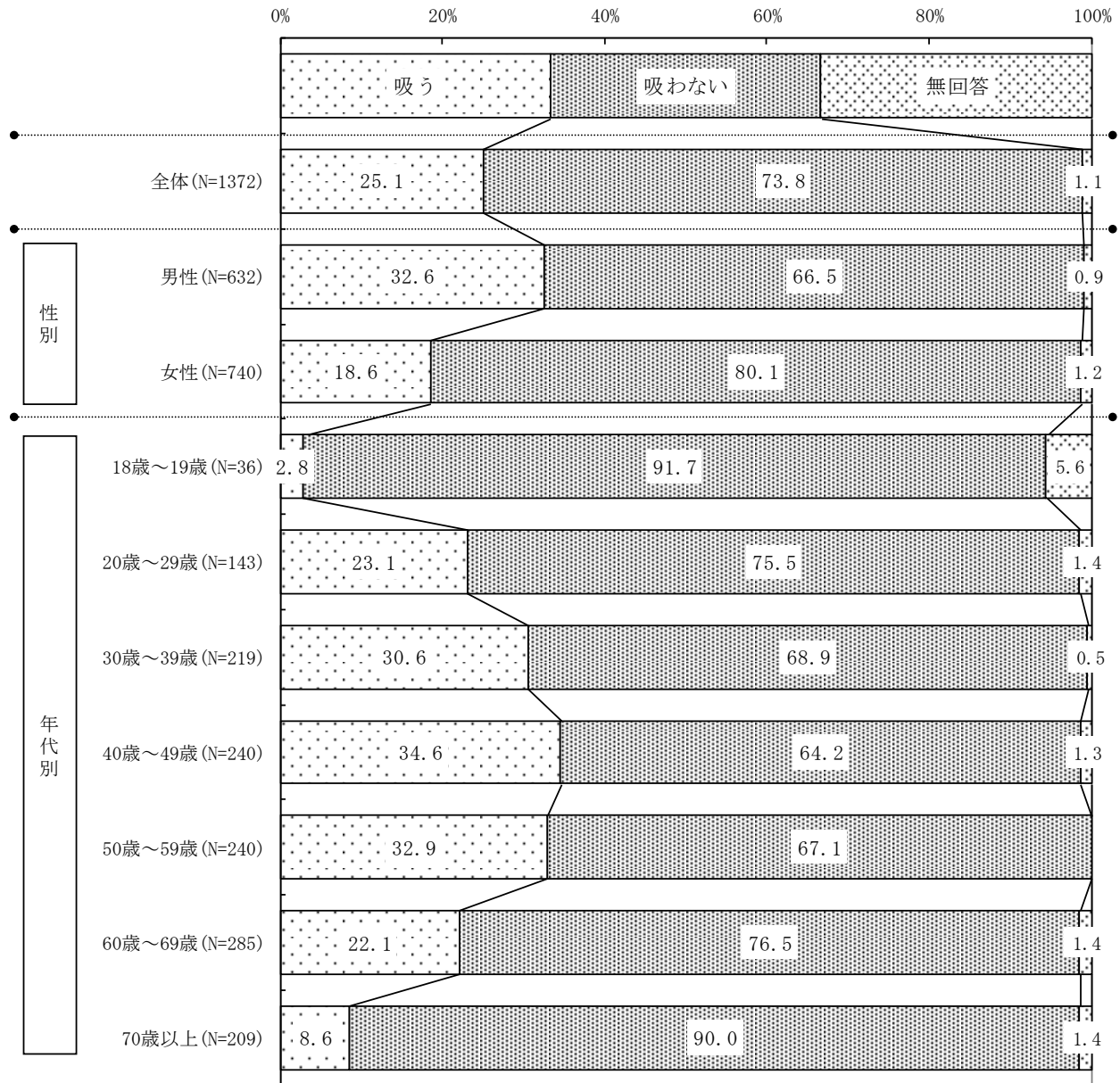
#### ■ 喫煙・禁煙の状況

問 7            あなたはたばこを吸いますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ ○ をつけてください。



喫煙・禁煙の状況について、「たばこを吸わない」と回答した人が、全体の 73.8% となっており、7 割を超えている。

喫煙・禁煙の状況について、「たばこを吸わない」が 73.8%。

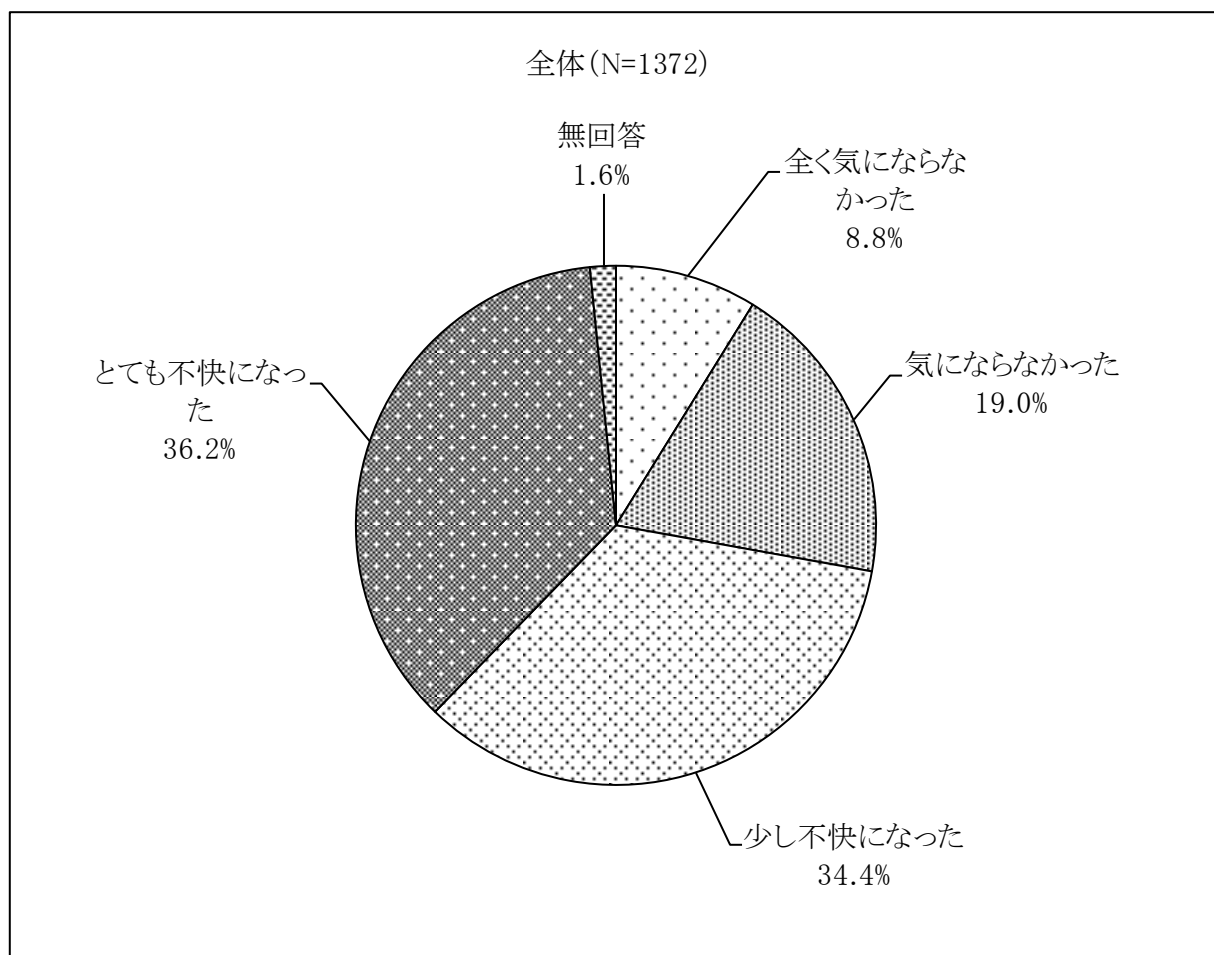


性別でみると、男女ともに「たばこを吸わない」が高くなっており、女性が 80.1%で、男性の 66.5%より 13.6 ポイント高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「たばこを吸わない」が高くなっており、18 歳～19 歳、20 歳代、60 歳代～70 歳以上は、全体の傾向より高くなっている。

## ■ 受動喫煙に対する感想

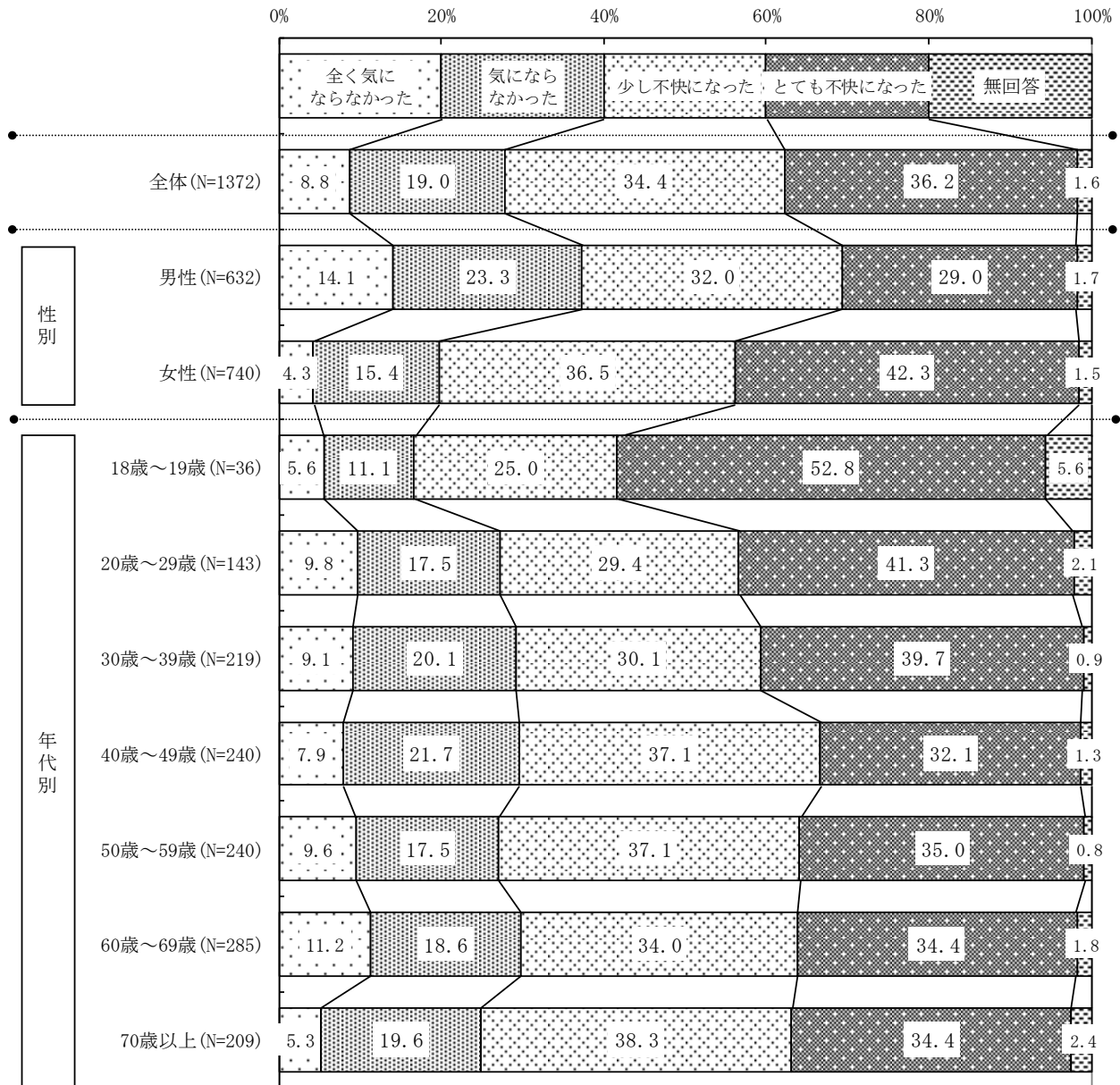
問 7 の 1    他人のたばこの煙を吸わされることを「受動喫煙」と言います。あなたは、受動喫煙にあったとき、どのように感じましたか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



受動喫煙に対する感想について、「とても不快になった」の 36.2%と、「少し不快になった」の 34.4%を合わせた“不快になった”が 70.6%と 7 割を超えている。

これに対して、「全く気にならなかった」の 8.8%と、「気にならなかった」の 19.0%を合わせた“気にならなかった”が 27.8%となっている。

受動喫煙に対する感想について、“不快になった”（「とても不快になった」＋「少し不快になった」）と回答している人が 70.6%。

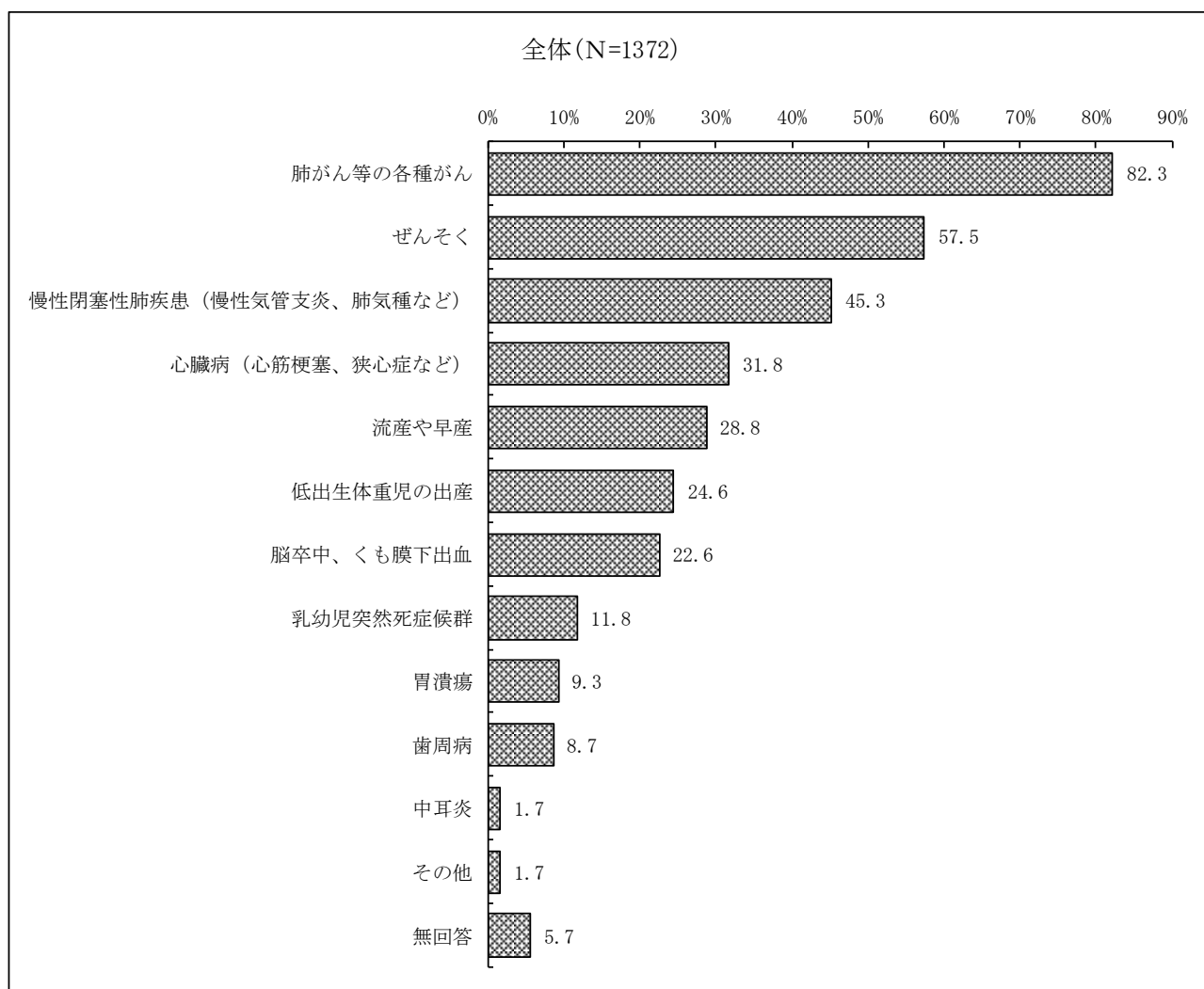


性別でみると、女性は全体と同様に「とても不快になった」が42.3%で最も高くなっており、男性は「少し不快になった」が32.0%で最も高くなっている。また“不快になった”（「とても不快になった」＋「少し不快になった」）は女性が78.8%で、男性の61.0%より17.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代、60歳代は、「とても不快になった」が最も高くなっており、40歳代、50歳代、70歳以上は「少し不快になった」が最も高くなっている。各年代層とも“不快になった”（「とても不快になった」＋「少し不快になった」）は、約7割となっている。

■ 受動喫煙の影響を受ける病気等に関する認知度

問 8 受動喫煙で影響をうける病気等について知っているものを、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



受動喫煙の影響を受ける病気等の認知度について、「肺がん等の各種がん」が 82.3% と最も高く、次いで、「ぜんそく」が 57.5% となっている。以下、「慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫など）」が 45.3%、「心臓病（心筋梗塞、狭心症など）」が 31.8% となっている。

受動喫煙の影響を受ける病気等の認知度について、「肺がん等の各種がん」が 82.3%。

	サ ン プ ル 数	胃 潰 瘍	歯 周 病	心 臓 病 (心 筋 梗 塞、 狭 心 症 など)	脳 卒 中、 く も 膜 下 出 血	ぜ ん そ く	慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 (慢 性 気 管 支 炎、 肺 気 腫 など)	肺 が ん 等 の 各 種 が ん	流 産 や 早 産	低 出 生 体 重 児 の 出 産	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	中 耳 炎	そ の 他	無 回 答
全体	1372	9.3	8.7	31.8	22.6	57.5	45.3	82.3	28.8	24.6	11.8	1.7	1.7	5.7
《性別》														
男性	632	10.4	8.4	34.7	23.9	56.2	41.9	80.4	21.7	15.8	8.7	2.2	1.7	6.5
女性	740	8.4	8.9	29.3	21.5	58.6	48.1	83.9	34.9	32.0	14.5	1.4	1.8	5.0
《年代別》														
18歳～19歳	36	5.6	27.8	27.8	27.8	50.0	25.0	75.0	38.9	27.8	11.1	5.6	2.8	13.9
20歳～29歳	143	9.1	14.7	27.3	23.8	52.4	36.4	83.9	37.1	28.0	18.2	3.5	1.4	4.9
30歳～39歳	219	10.0	12.8	28.3	27.9	57.1	40.6	89.0	45.7	36.1	25.6	2.7	2.3	3.2
40歳～49歳	240	9.6	9.2	24.6	19.2	52.1	44.2	78.8	36.3	30.4	15.0	1.3	3.8	6.3
50歳～59歳	240	8.8	5.4	30.8	24.2	53.3	45.8	82.5	22.9	24.6	7.9	0.4	0.8	5.4
60歳～69歳	285	8.8	5.3	38.9	19.6	67.0	56.1	82.5	22.8	20.7	5.3	1.4	1.4	6.0
70歳以上	209	10.5	4.8	38.8	21.5	60.8	45.5	78.9	10.0	8.1	2.9	1.4	0.5	6.7

は各属性で最も高い数値

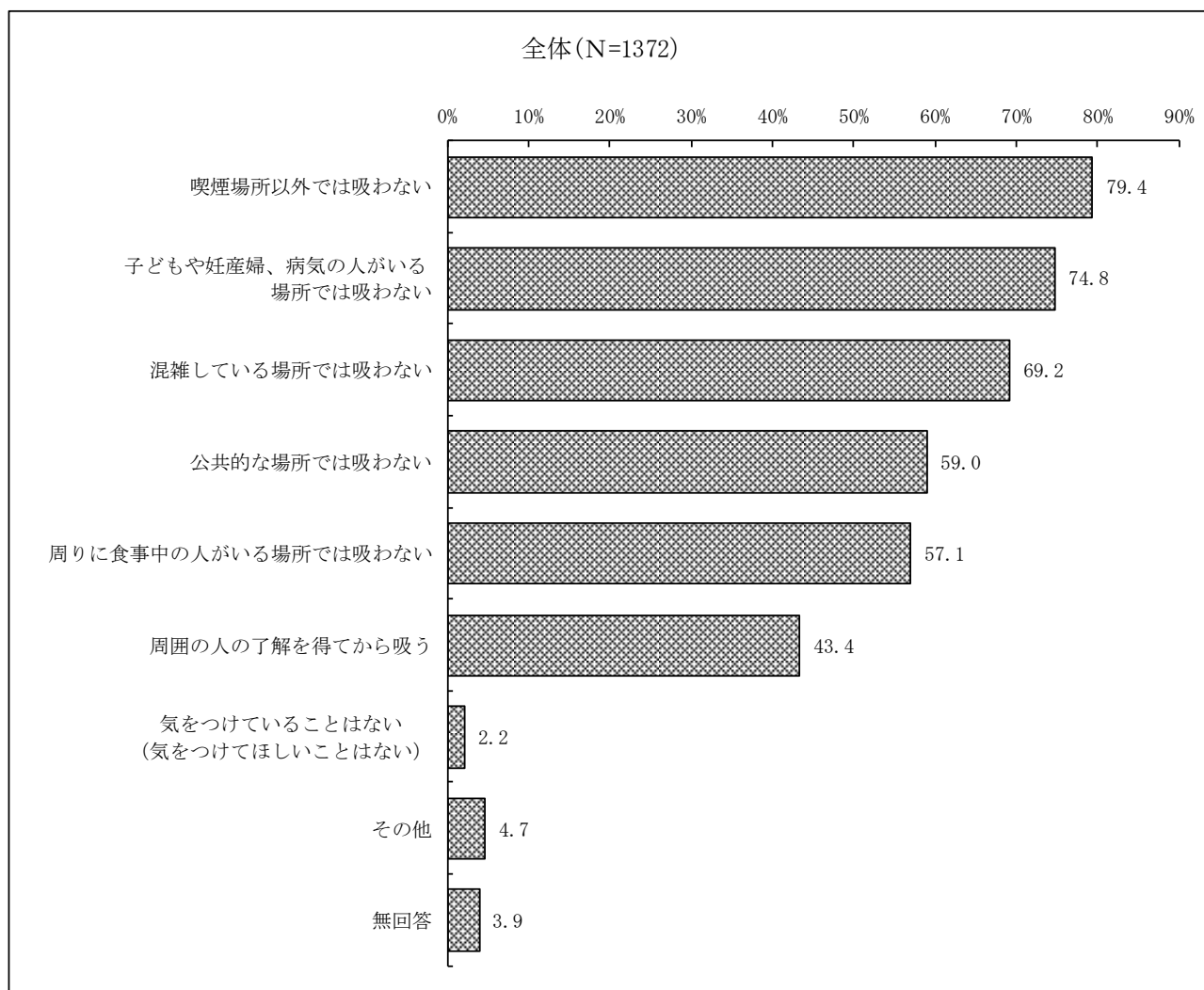
性別でみると、男女ともに、全体と同様に「肺がん等の各種がん」が最も高くなっている。

また年代別でみても、各年代層とも全体と同様に、「肺がん等の各種がん」が最も高くなっている。



■喫煙者が留意していること・喫煙者に対する要望

問 9 たばこを吸うときに気をつけていること、または、たばこを吸う人に気をつけて欲しいことはありますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



たばこを吸うときに気をつけていること、または、たばこを吸う人に気をつけて欲しいことについて、「喫煙場所以外では吸わない」が 79.4%と最も高く、次いで、「子どもや妊産婦、病気の人がいる場所では吸わない」が 74.8%となっている。以下、「混雑している場所では吸わない」が 69.2%、「公共的な場所では吸わない」が 59.0%となっている。

たばこを吸うときに気をつけていること、または、たばこを吸う人に気をつけて欲しいことについて、「喫煙場所以外では吸わない」が 79.4%。

	サンプル数	公共的な場所では吸わない	喫煙場所以外では吸わない	混雑している場所では吸わない	子どもや妊産婦、病気の人がいる場所では吸わない	周囲に食事中の人がいる場所では吸わない	周囲の人の了解を得てから吸う	気をつけてほしいことはない（気をつけていることはない）	その他	無回答
全体	1372	59.0	79.4	69.2	74.8	57.1	43.4	2.2	4.7	3.9
《性別》										
男性	632	57.0	76.4	68.2	69.9	53.6	38.8	3.0	4.7	3.3
女性	740	60.8	82.0	70.1	78.9	60.0	47.4	1.5	4.7	4.5
《年代別》										
18歳～19歳	36	47.2	55.6	50.0	55.6	36.1	30.6	5.6	5.6	8.3
20歳～29歳	143	47.6	66.4	61.5	80.4	49.0	45.5	2.1	5.6	1.4
30歳～39歳	219	50.2	80.4	67.1	79.9	53.9	46.1	2.3	5.9	3.2
40歳～49歳	240	53.3	82.9	72.1	74.6	61.3	44.6	1.7	5.8	2.9
50歳～59歳	240	67.1	83.8	70.8	71.3	58.8	48.8	1.7	2.9	3.3
60歳～69歳	285	68.1	83.9	75.1	77.9	63.5	44.9	1.8	4.2	3.9
70歳以上	209	63.2	76.6	67.0	68.9	54.1	32.1	3.3	4.3	7.7

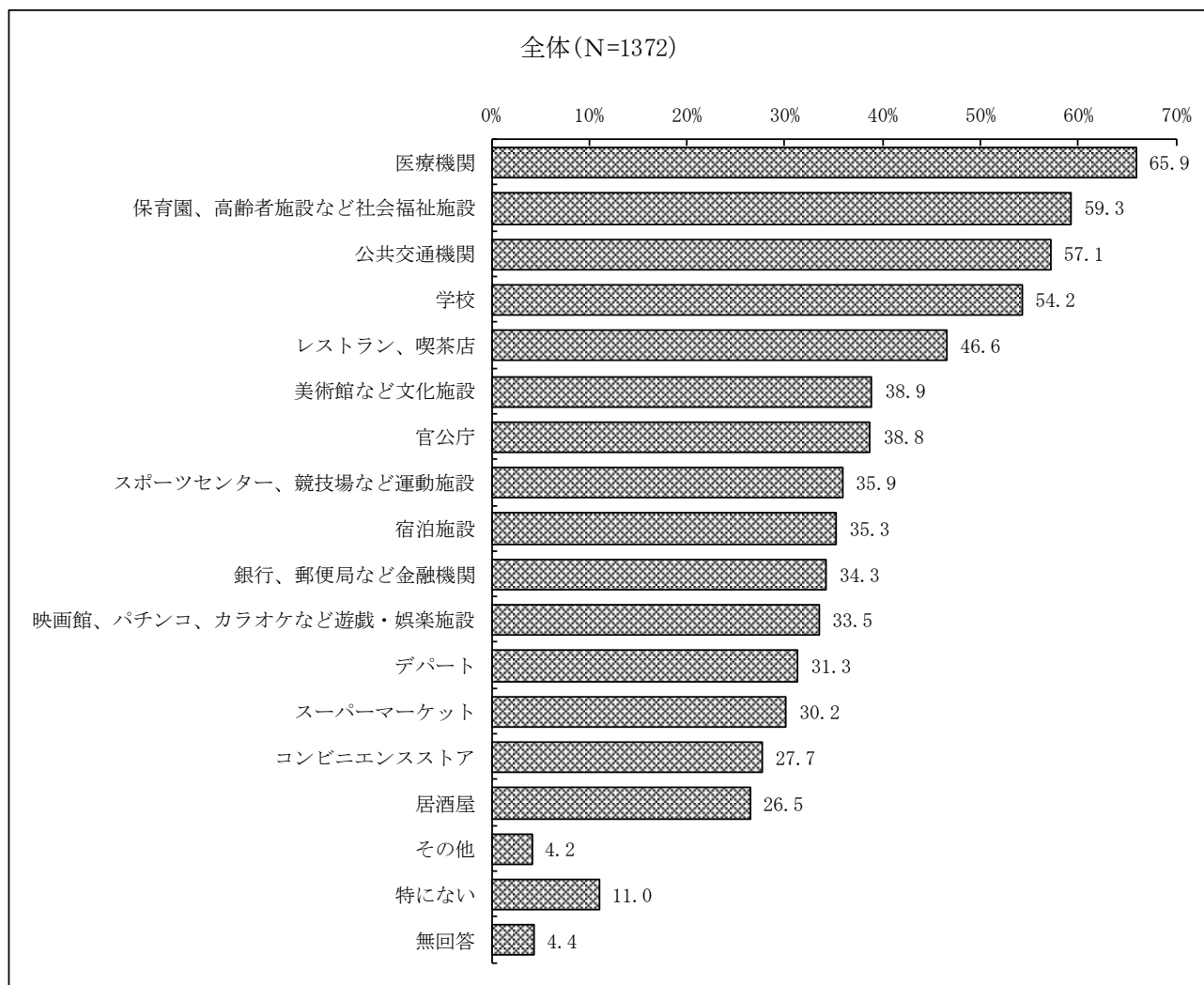
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともに「喫煙場所以外では吸わない」が最も高くなっており、女性が 82.0%で、男性の 76.4%より 5.6 ポイント高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、30 歳～70 歳以上は、全体と同様に「喫煙場所以外では吸わない」が最も高くなっており、18 歳～19 歳は同率で「子どもや妊産婦、病気の人がいる場所では吸わない」が第 1 位となっている。20 歳代は、「子どもや妊産婦、病気の人がいる場所では吸わない」が最も高くなっている。

■ 受動喫煙防止対策の実施希望施設・場所

問 9 の 1 あなたが、受動喫煙防止の対策をすすめてほしい施設・場所はどこですか。  
次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



受動喫煙防止の対策をすすめてほしい施設・場所について「医療機関」が 65.9%と最も高く、次いで、「保育園、高齢者施設など社会福祉施設」が 59.3%となっている。以下、「公共交通機関」が 57.1%、「学校」が 54.2%となっている。

受動喫煙防止の対策をすすめてほしい施設・場所について「医療機関」が 65.9%。

	サンプル数	医療機関	学校	官公庁	保育園、高齢者施設など社会福祉施設	公共交通機関	銀行、郵便局など金融機関	美術館など文化施設	スポーツセンター、競技場など運動施設	宿泊施設	デパート	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	映画館、パチンコ、カラオケなど遊戯・娯楽施設	レストラン、喫茶店	居酒屋	その他	特にない	無回答
全体	1372	65.9	54.2	38.8	59.3	57.1	34.3	38.9	35.9	35.3	31.3	30.2	27.7	33.5	46.6	26.5	4.2	11.0	4.4
《性別》																			
男性	632	63.1	51.3	38.9	53.6	55.1	30.2	35.4	34.8	32.0	30.7	28.5	27.4	32.0	40.7	25.6	2.7	13.4	5.4
女性	740	68.2	56.8	38.6	64.1	58.9	37.7	41.9	36.9	38.1	31.9	31.6	28.0	34.9	51.6	27.2	5.4	8.9	3.5
《年代別》																			
18歳～19歳	36	44.4	27.8	8.3	30.6	33.3	13.9	19.4	19.4	19.4	13.9	11.1	16.7	27.8	33.3	19.4	5.6	8.3	5.6
20歳～29歳	143	55.9	37.8	18.2	46.2	44.8	18.9	21.7	22.4	29.4	19.6	14.7	17.5	24.5	39.9	24.5	4.2	14.7	2.8
30歳～39歳	219	57.5	47.0	30.6	53.4	48.4	26.9	26.5	28.3	35.2	26.0	22.8	24.7	29.7	46.6	30.1	6.4	16.4	3.2
40歳～49歳	240	62.1	55.8	36.3	57.1	53.8	31.7	34.6	33.8	32.9	28.8	28.3	26.7	32.1	42.1	26.3	6.3	13.3	3.8
50歳～59歳	240	66.7	55.4	45.8	57.5	57.5	40.4	46.3	42.9	35.0	34.6	30.4	28.3	37.5	49.6	30.4	2.9	12.5	3.3
60歳～69歳	285	74.0	66.0	48.1	68.8	69.1	41.8	51.9	43.5	40.0	40.4	43.5	34.4	38.9	53.0	26.3	3.2	7.0	4.9
70歳以上	209	77.5	58.4	48.8	70.8	66.0	41.6	45.9	40.2	38.8	34.9	35.4	31.1	34.4	46.4	21.1	1.9	4.3	7.7

は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともにほとんど差はみられず、全体と同様に「医療機関」が最も高くなっている。

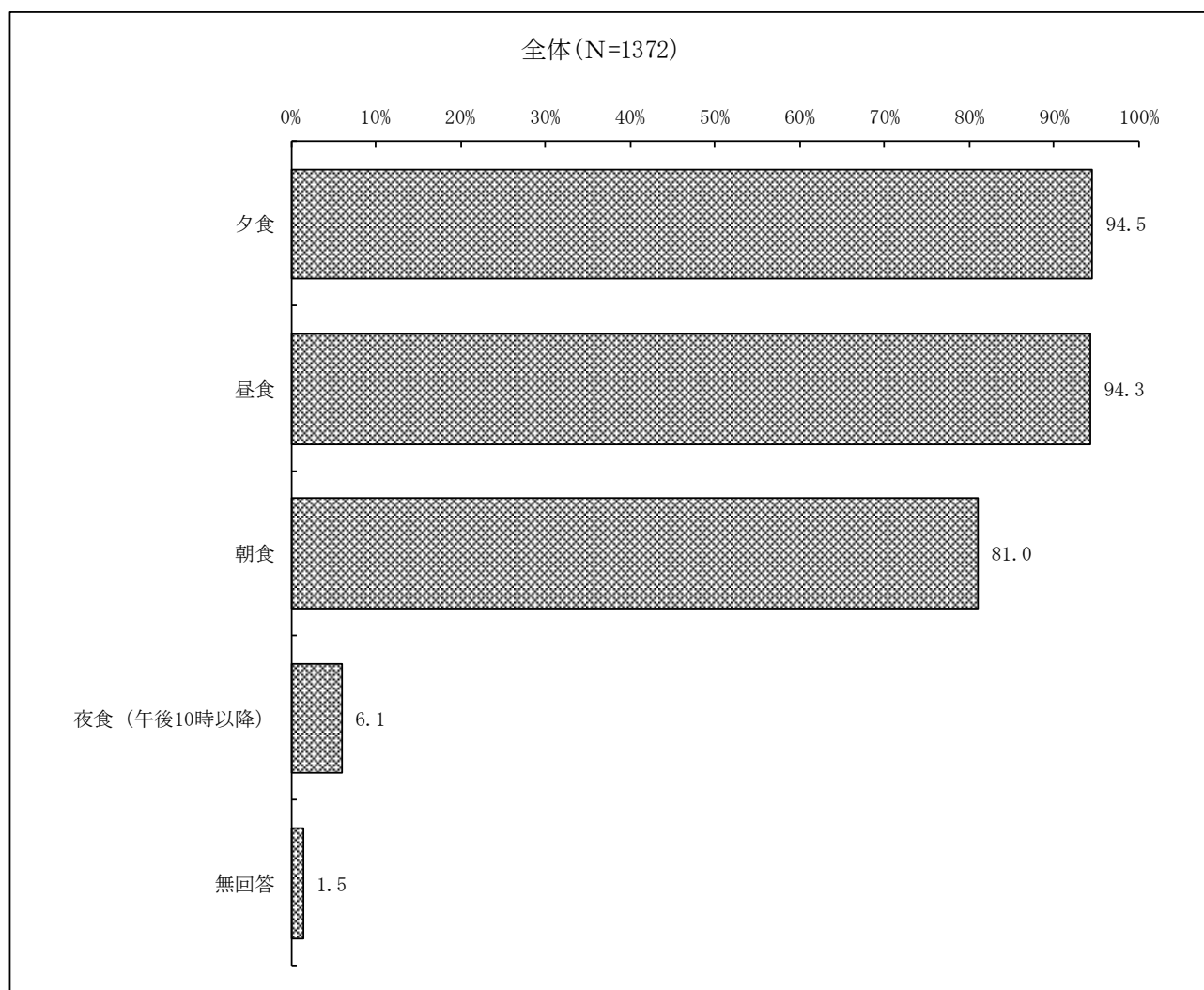
年代別でみても、各年代層とも全体と同様に「医療機関」が最も高くなっており、60歳代～70歳以上では7割を超えている。

## Ⅱ 市民の健康づくり

### － v 栄養・食生活－

#### ■ 食生活の現状

問 10 あなたが食べている食事について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



食べている食事として、「夕食」が 94.5%、「昼食」が 94.3%で、いずれも 9 割を超えている。次いで「朝食」が 81.0%となっている。

食べている食事として「夕食」が 94.5%、「昼食」が 94.3%。

	サ ン プ ル 数	朝 食	昼 食	夕 食	夜 食 (午後 10時 以降)	無 回 答
平成26年度	1372	81.0	94.3	94.5	6.1	1.5
《性別》						
男性	632	77.8	93.0	92.7	10.0	1.9
女性	740	83.8	95.4	96.1	2.8	1.2
《年代別》						
18歳～19歳	36	80.6	94.4	91.7	11.1	2.8
20歳～29歳	143	64.3	95.1	93.0	14.7	2.1
30歳～39歳	219	70.3	96.8	93.6	10.0	0.5
40歳～49歳	240	74.6	94.6	94.2	8.3	0.8
50歳～59歳	240	82.9	94.6	96.3	4.2	0.4
60歳～69歳	285	90.9	94.4	95.8	1.4	2.5
70歳以上	209	95.7	90.4	93.8	1.4	2.9

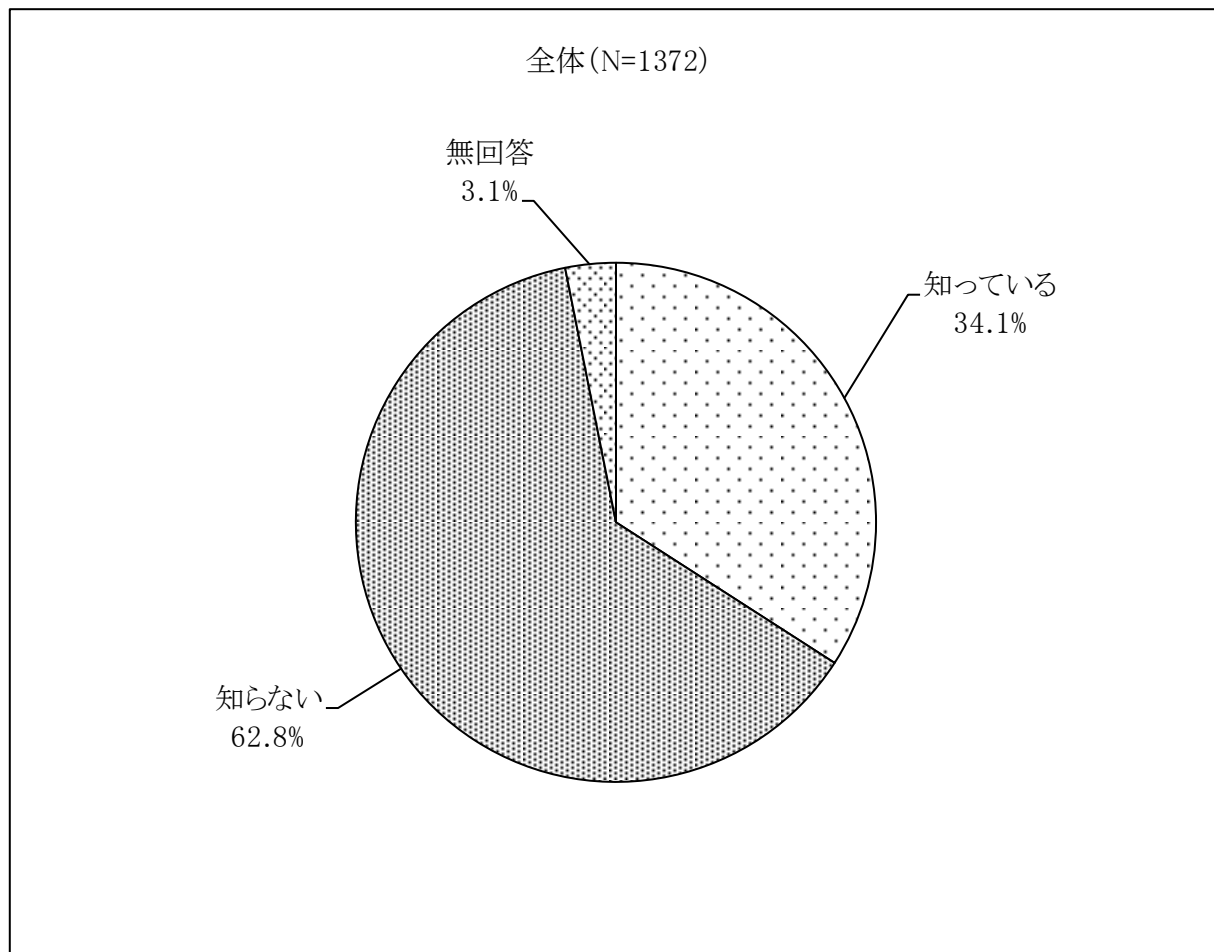
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男性は「昼食」が 93.0%で最も高くなっており、次いで「夕食」が 92.7%。一方、女性は「夕食」が 96.1%で最も高くなっており、次いで、「昼食」が 95.4%となっている。男女で順位は異なるが、いずれも「昼食」「夕食」が共に9割を超えている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳～40歳代は「昼食」が最も高くなっており、50歳代、60歳代は「夕食」、70歳以上は「朝食」が最も高くなっている。

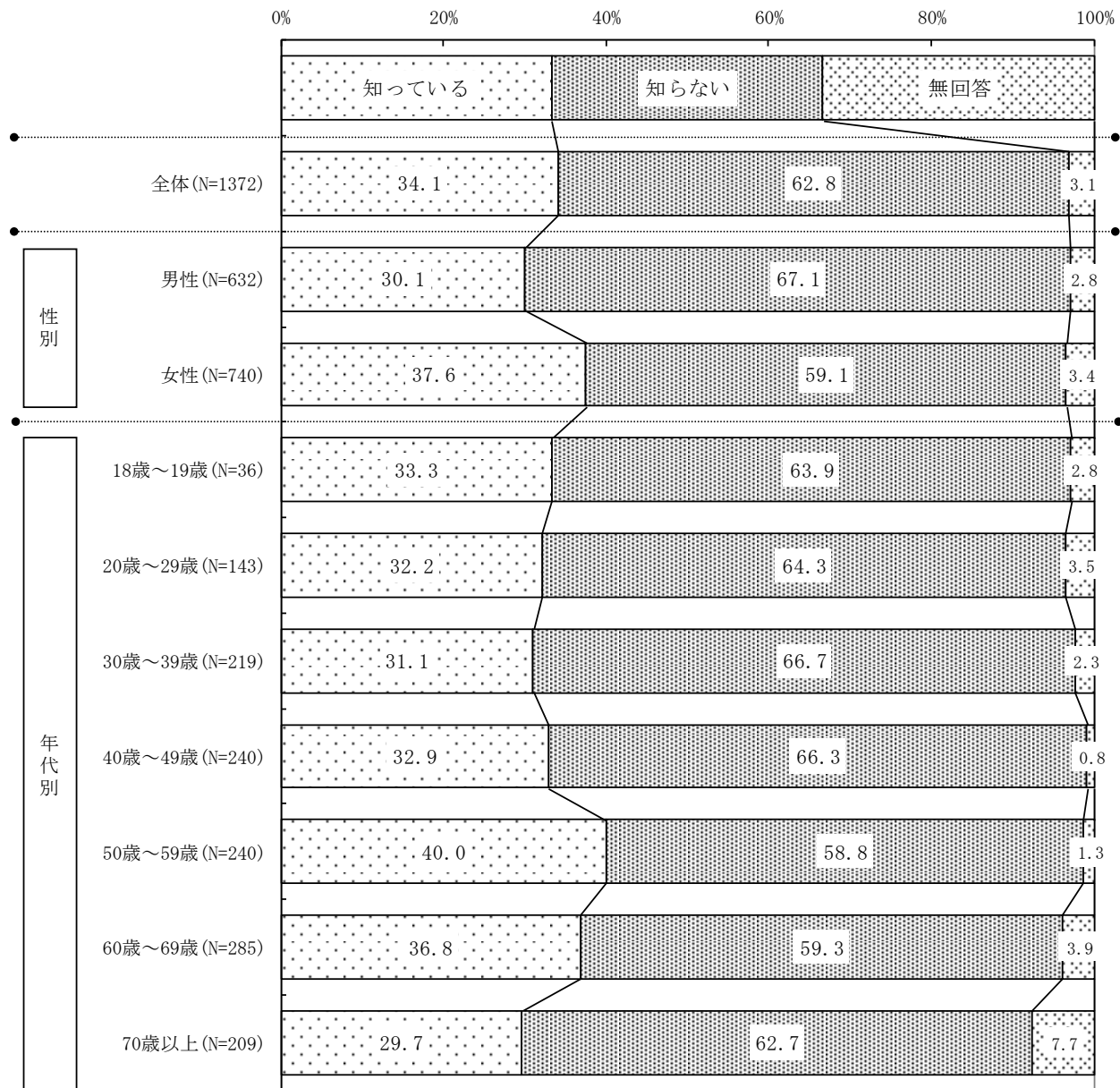
■1日に必要なエネルギー量の認知度

- 問 1 1      あなたは、自分自身の 1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) を知っていますか。 次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。
- ※kcalはキロカロリーと読みます。



自分自身の 1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) の認知度について、「知らない」と回答した人が 62.8%、一方、「知っている」と回答した人が 34.1%となっている。

自分自身の 1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) の認知度について、「知らない」が 62.8%。



性別でみると、男女ともに「知らない」が高くなっており、男性が 67.1% で、女性の 59.1% より 8.0 ポイント高くなっている。

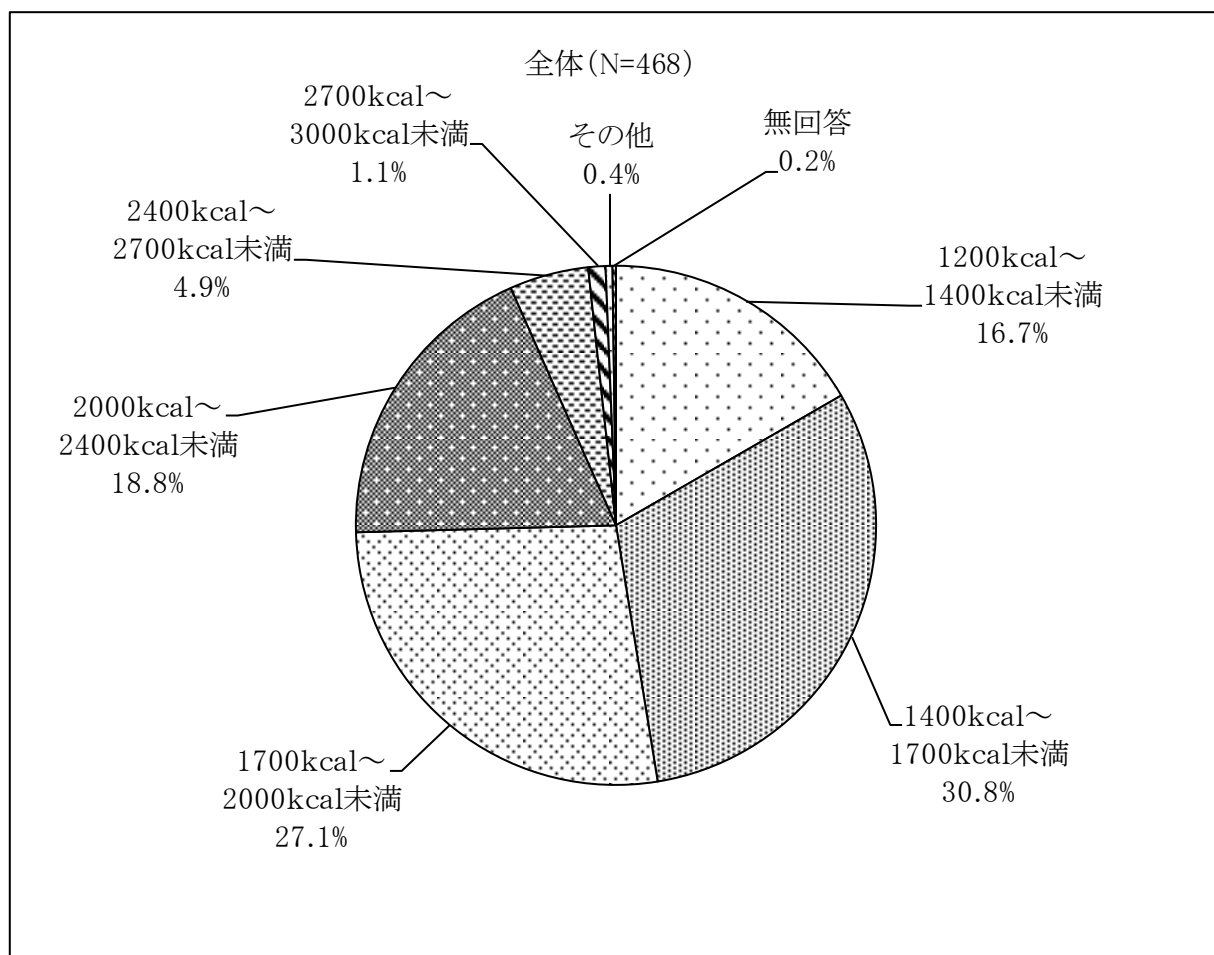
年代別でみると、18 歳～19 歳、20 歳代～40 歳代、70 歳以上で「知らない」は全体と同様に 6 割を超えている。一方、50 歳代、60 歳代は「知っている」が、全体の傾向より若干高くなっている。



■ 認知している1日に必要なエネルギー量

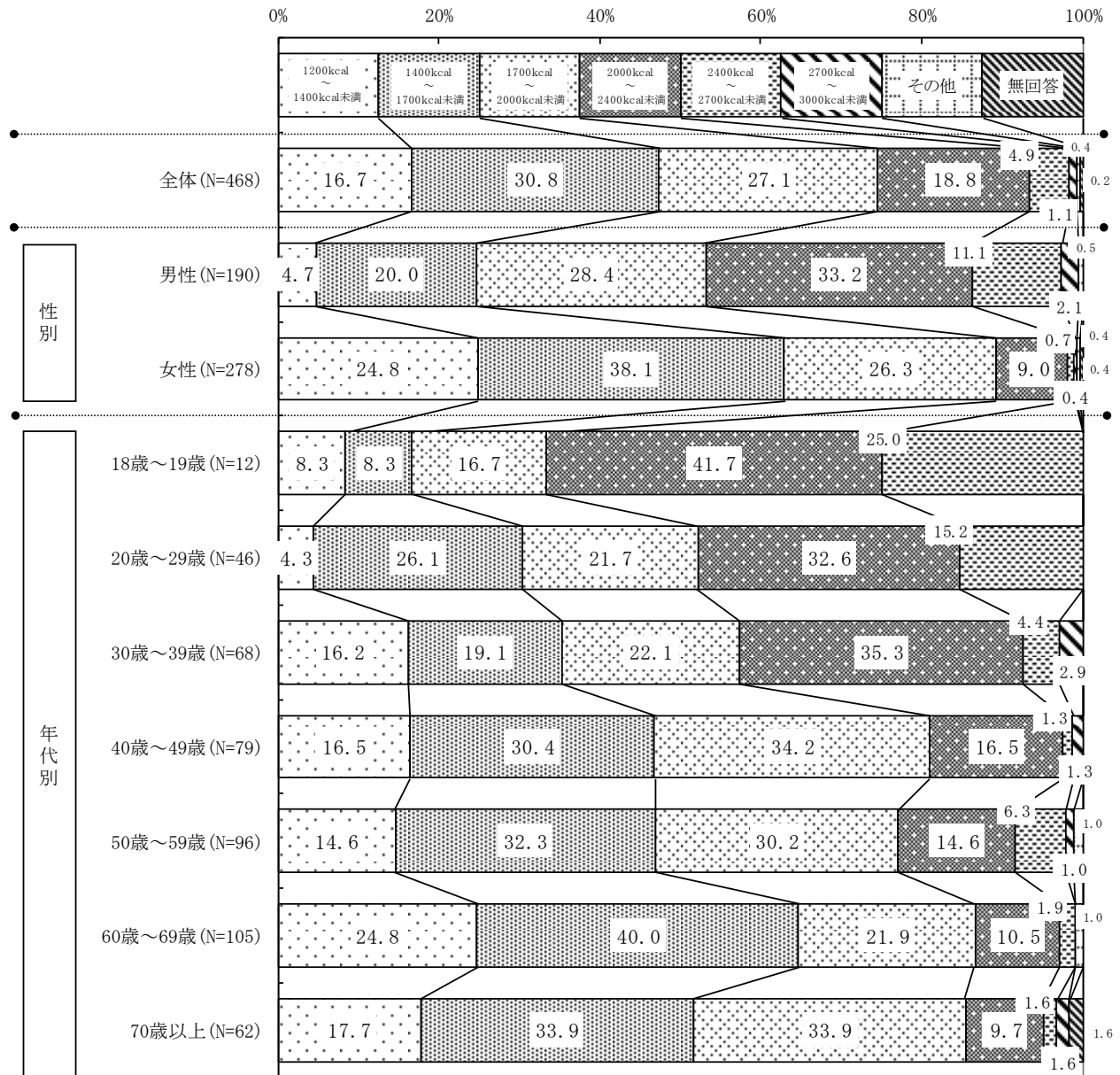
《問11で「1 知っている」と回答した方にお聞きします》

問 1 1 の 1 あなたの 1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) は何kcalだと思いますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) は何kcalだと思うかについて、「1400kcal～1700kcal 未満」が 30.8%と最も高く、次いで、「1700kcal～2000kcal 未満」が 27.1%となっている。以下、「2000kcal～2400kcal 未満」が 18.8%、「1200kcal～1400kcal 未満」が 16.7%となっている。

1 日に必要なエネルギー量 (kcal/日) は何kcalだと思うかについて、「1400kcal～1700kcal 未満」が 30.8%。

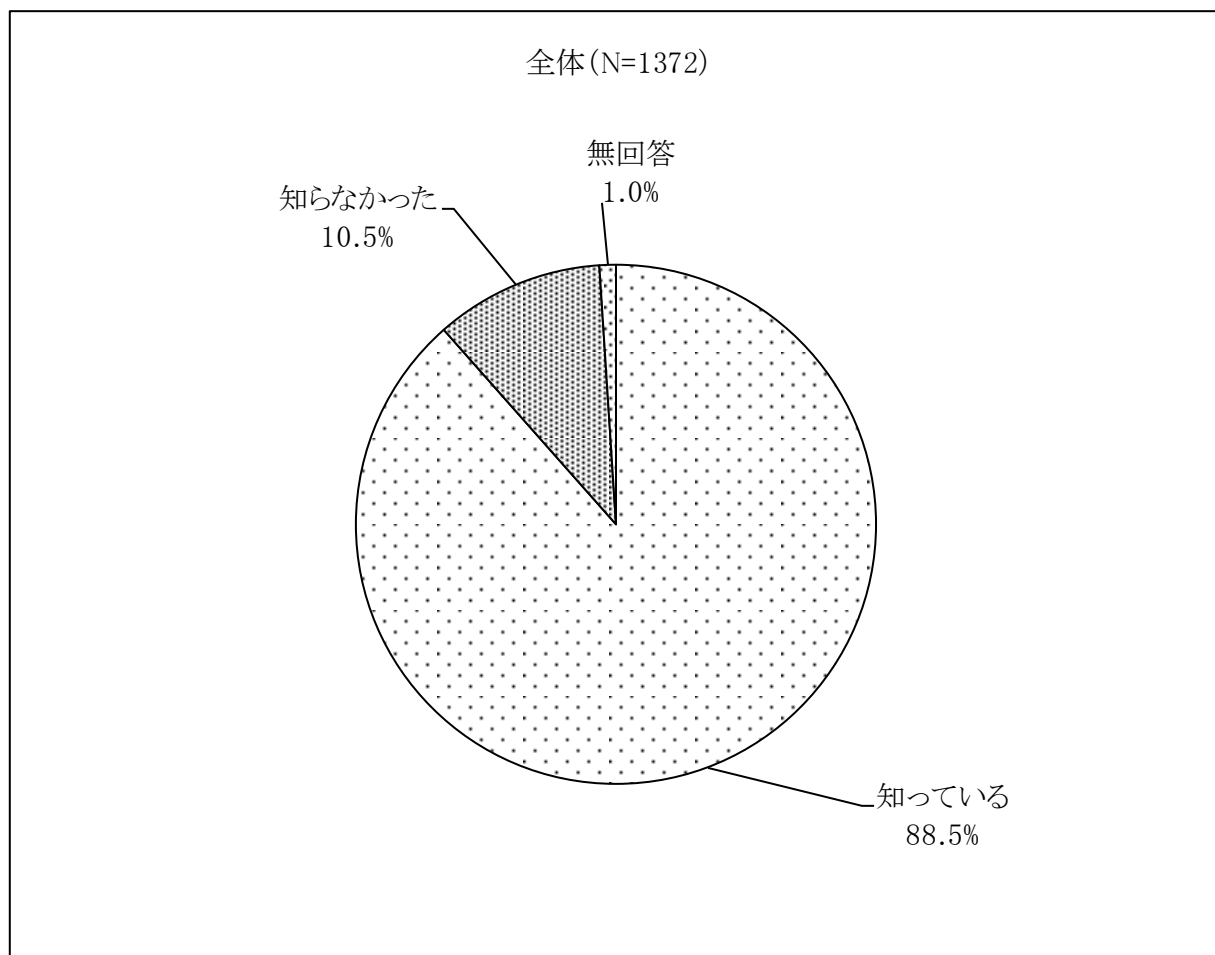


性別でみると、女性は全体と同様に「1400kcal～1700kcal 未満」が 38.1%で最も高くなっており、男性の 20.0%より 18.1 ポイント高くなっている。一方、男性は「2000kcal～2400kcal 未満」が 33.2%で最も高くなっており、女性の 9.0%より 24.2 ポイント高くなっている。

年代別でみると、50 歳代、60 歳代、70 歳以上は、全体と同様に「1400kcal～1700kcal 未満」が最も高くなっており、70 歳以上は同率で、「1700kcal～2000kcal 未満」が第 1 位となっている。40 歳代は、「1700kcal～2000kcal 未満」、18 歳～19 歳、20 歳代は、「2000kcal～2400kcal 未満」が最も高くなっている。

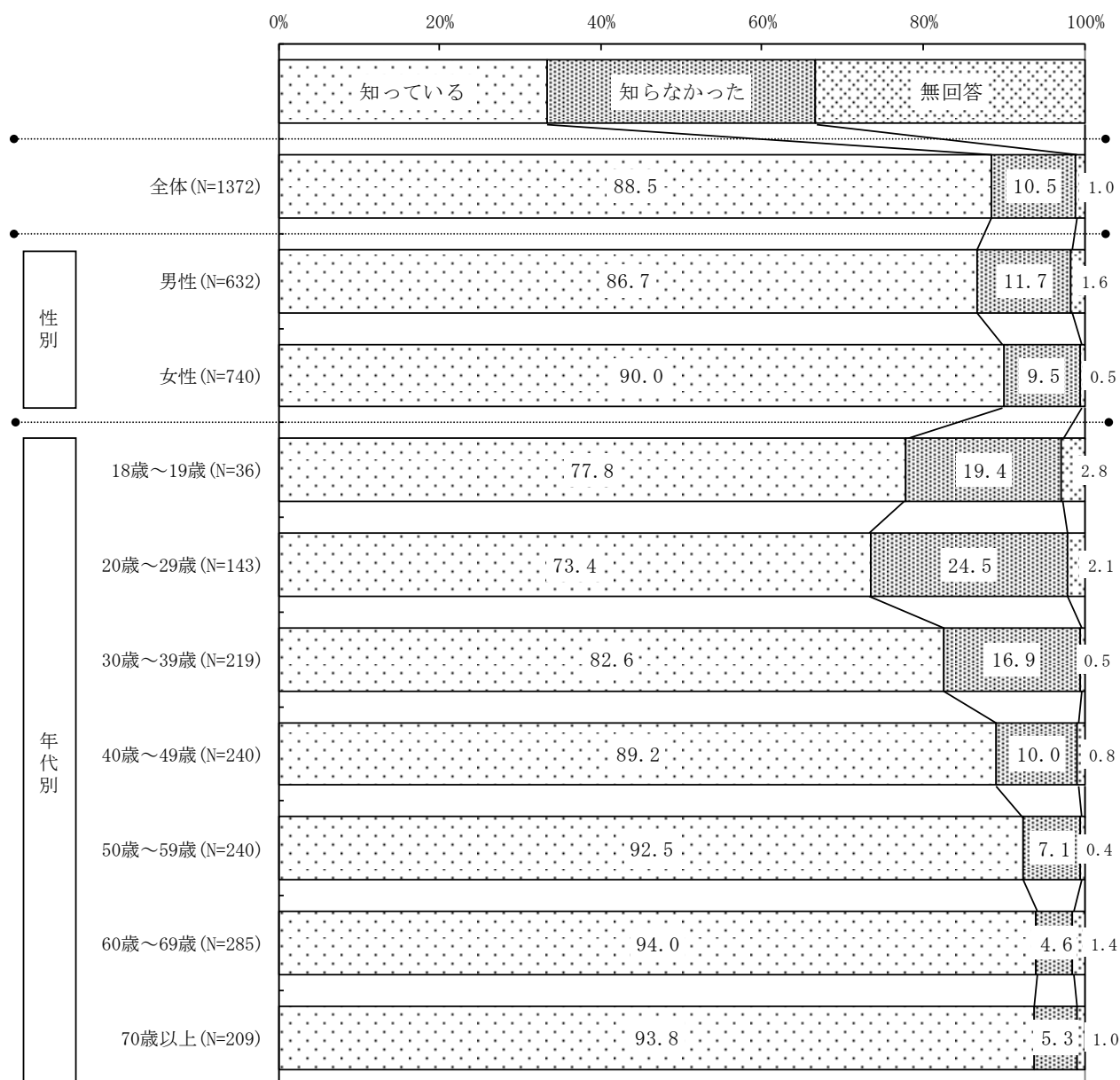
■塩分が胃がんや高血圧の原因となることの認知度

問 1 2 塩分が胃がんや高血圧の原因となることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



塩分が胃がんや高血圧の原因となることについて、「知っている」と回答した人が 88.5%、一方、「知らなかった」と回答した人が 10.5%となっている。

塩分が胃がんや高血圧の原因となることについて、「知っている」が 88.5%。

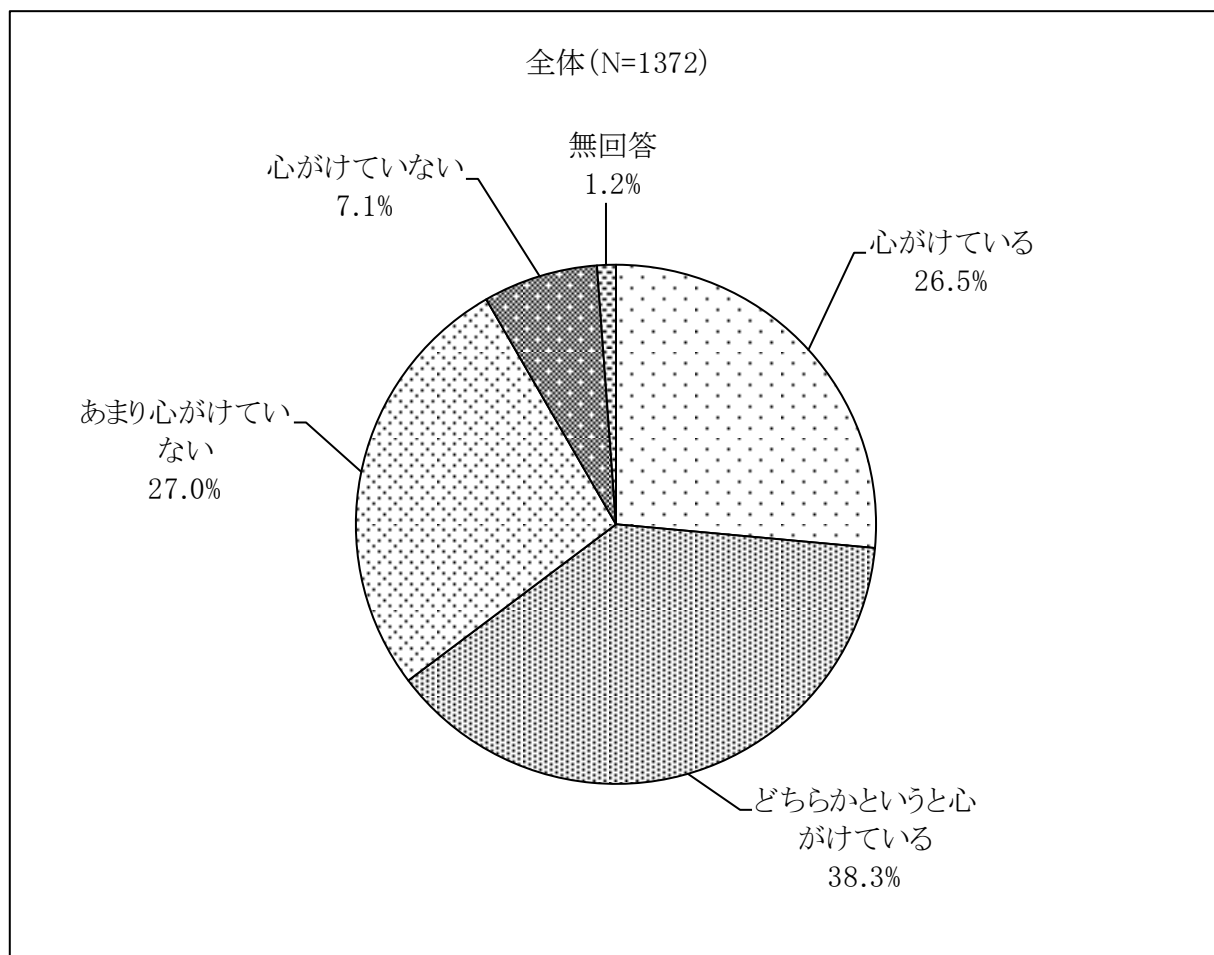


性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「知っている」が高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「知っている」が高くなっているが、18歳～19歳、20歳代は、全体の傾向より低くなっている。

■減塩の心がけ度合い

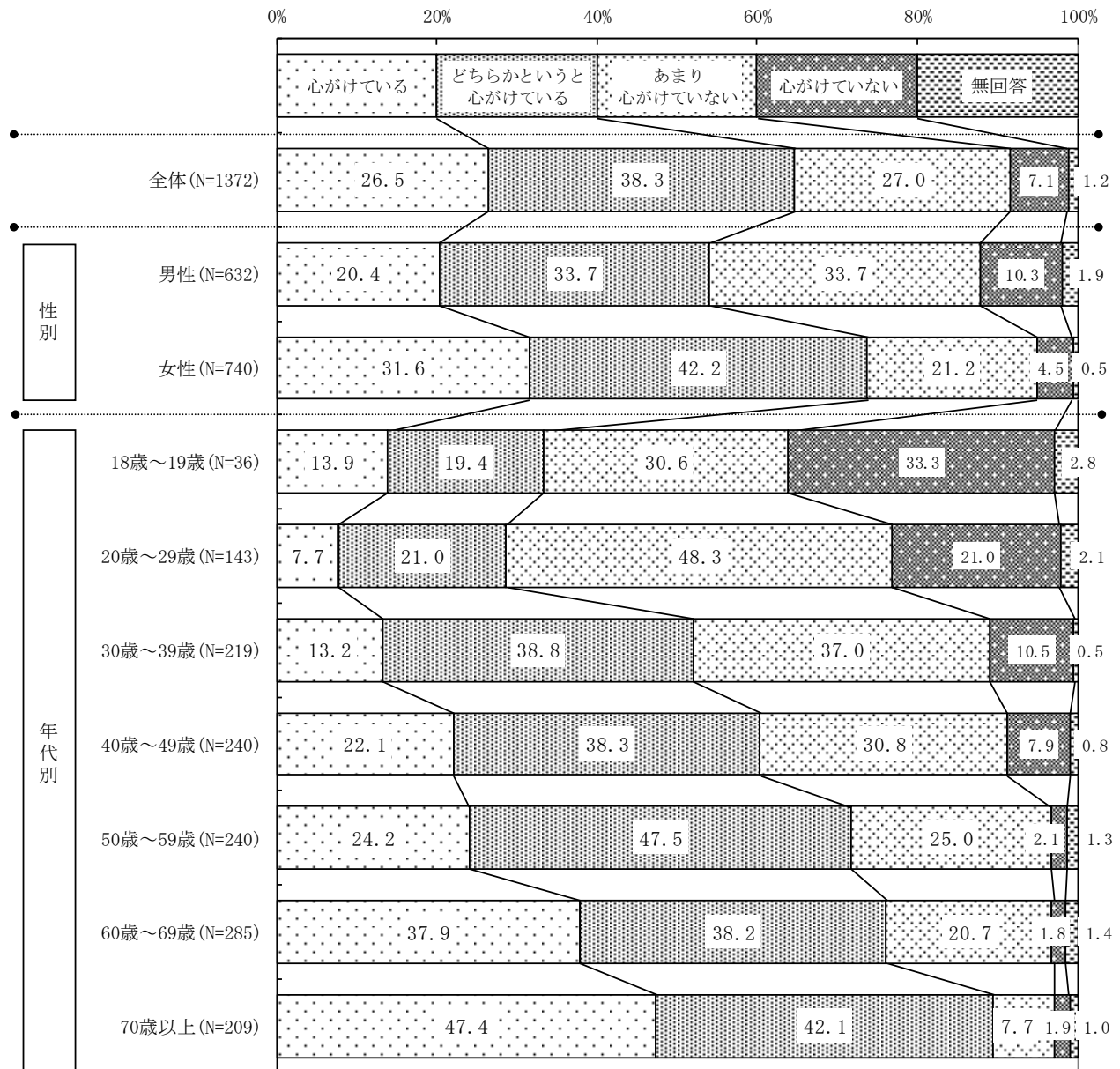
問 1 3 減塩を心がけていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



減塩を心がけているかどうかについて、「心がけている」の 26.5%と「どちらかという心がけている」の 38.3%を合わせた“心がけている”は 64.8%となっている。

これに対して、「心がけていない」の 7.1%と「あまり心がけていない」の 27.0%を合わせた“心がけていない”は 34.1%となっている。

減塩を“心がけている”（「心がけている」＋「どちらかという心がけている」）が 64.8%。

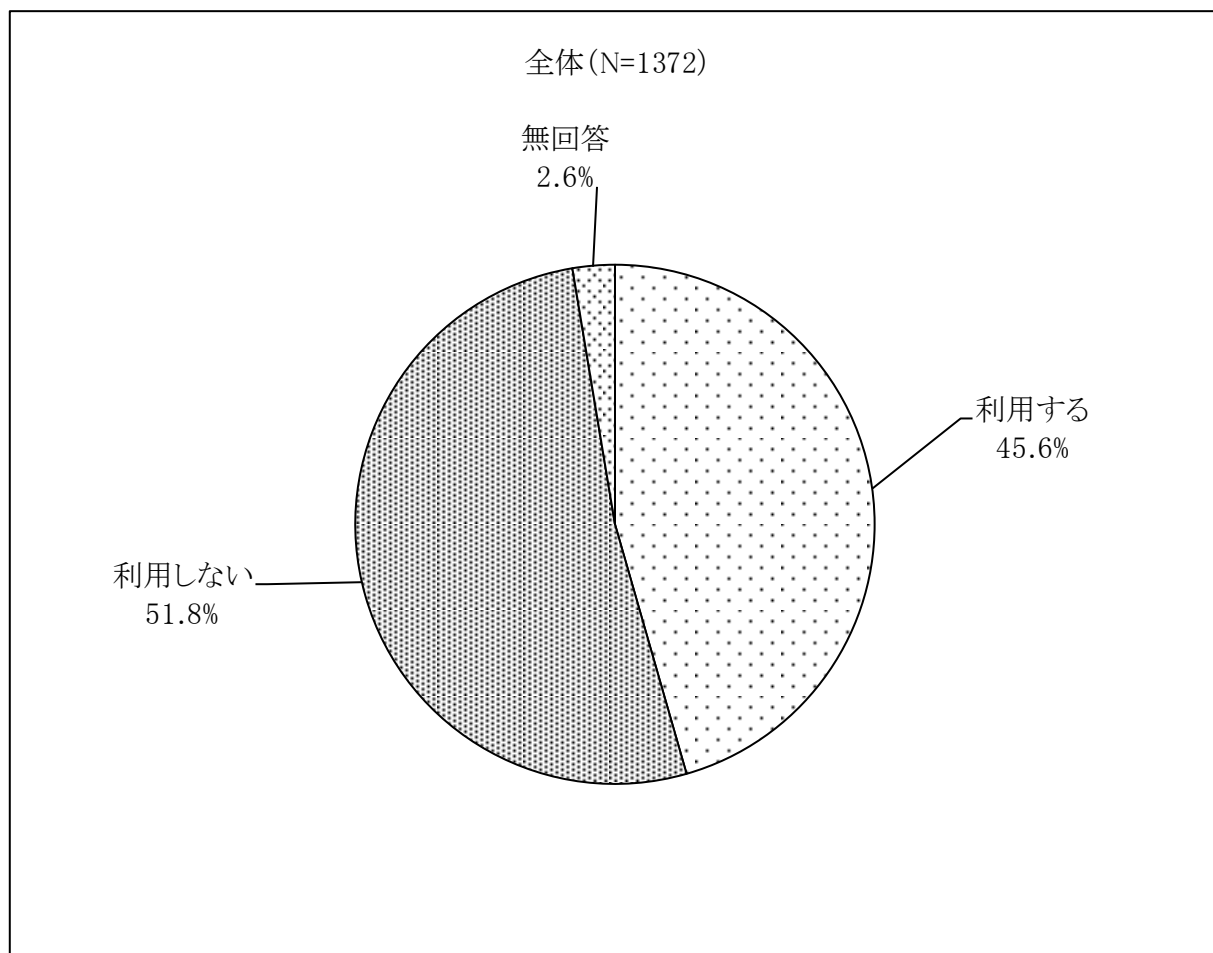


性別でみると、“心がけている”（「心がけている」＋「どちらかという心がけている」）と回答した女性が 73.8%で、男性の 54.1%より 19.7 ポイント高くなっている。

年代別でみると、“心がけている”と回答した 30 歳代～70 歳以上は、全体と同様に“心がけていない”（「あまり心がけていない」＋「心がけていない」）より高くなっている。一方、18 歳～19 歳、20 歳代は、“心がけていない”と回答した人が、“心がけている”より高くなっている。

■減塩食を提供する飲食店等の利用意向

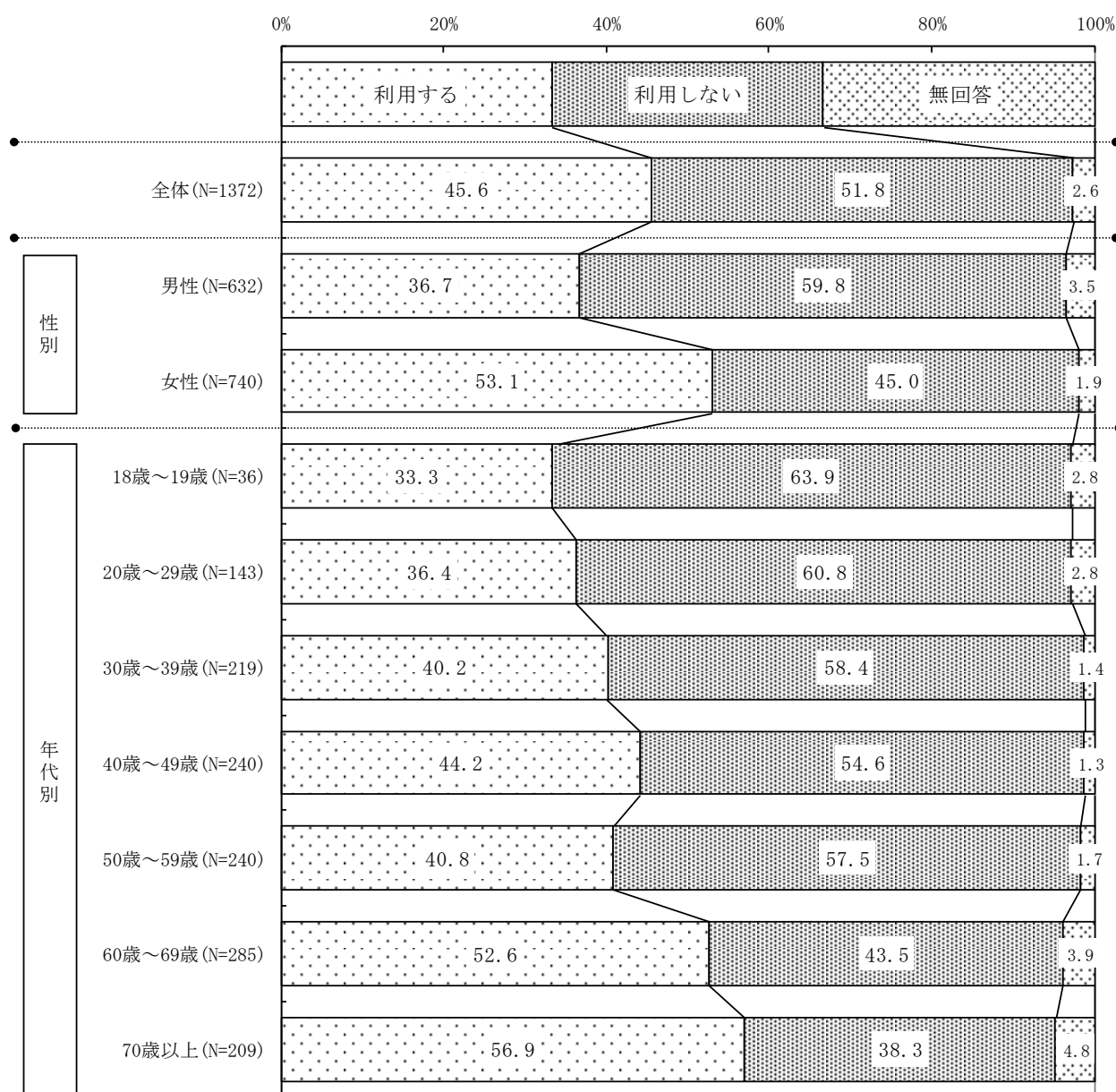
問 1 4 減塩食を提供している飲食店等があれば利用しますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



減塩食を提供している飲食店等の利用について、「利用しない」が 51.8%となっている。

一方、「利用する」が 45.6%となっている。

減塩食を提供している飲食店等の利用について、「利用しない」が 51.8%。



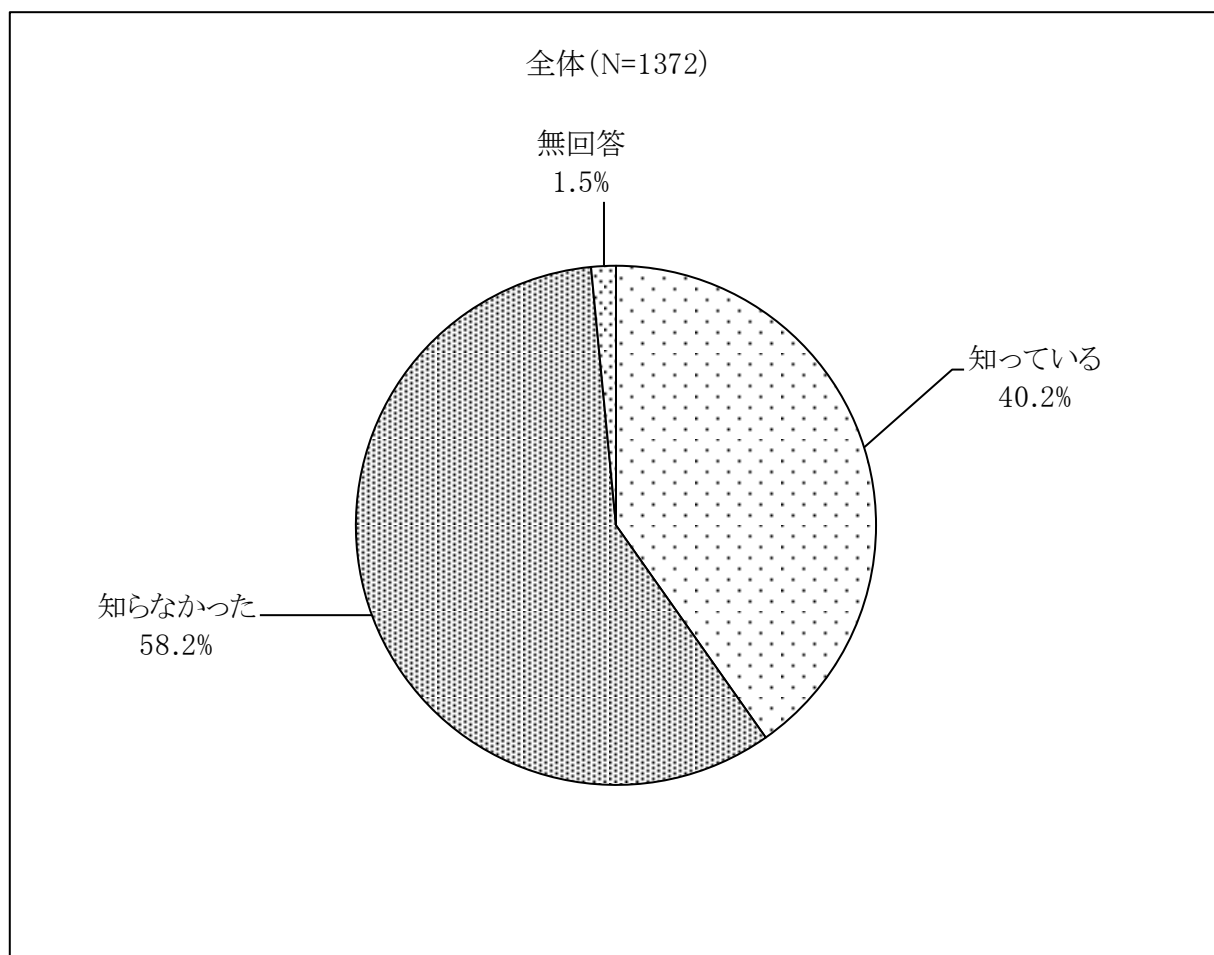
性別でみると、男性は全体と同様に「利用しない」が 59.8%で高くなっている。一方、女性は「利用する」が 53.1%で高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～50歳代は、全体と同様に「利用しない」が高く、一方、60歳代～70歳以上は、「利用する」が高くなっている。



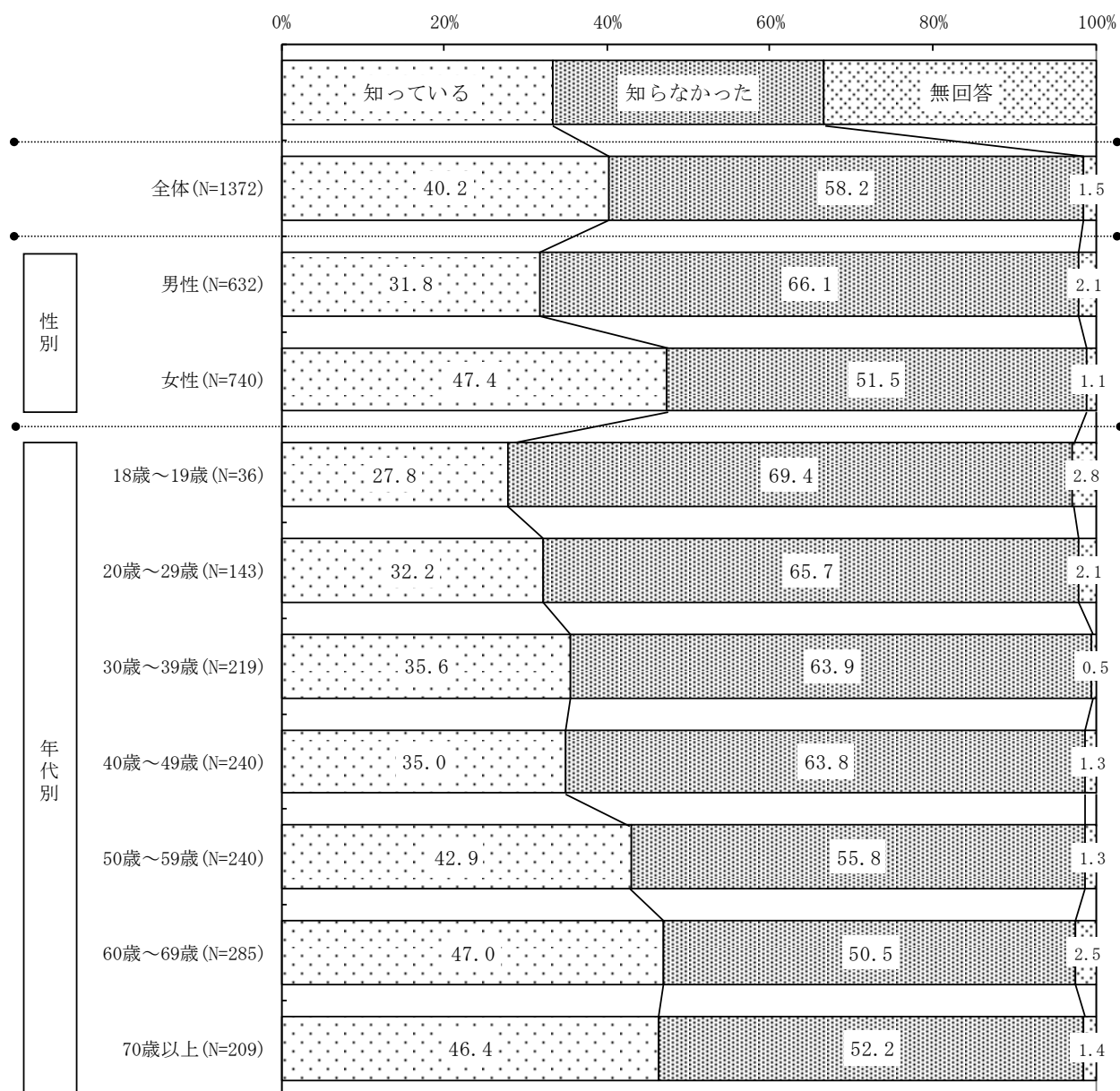
■野菜の1日の摂取目安量に関する認知度

問 1 5      20 歳以上では、野菜の 1 日の目安量が 3 5 0 g であることを知っていますか。  
次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。※ g はグラムと読みます。



20 歳以上では、野菜の 1 日の目安量が 3 5 0 g であることについて、「知らなかった」と回答した人が 58.2%、一方、「知っている」と回答した人が 40.2%となっている。

20 歳以上では、野菜の 1 日の目安量が 3 5 0 g であることについて、「知らなかった」と回答した人が 58.2%。

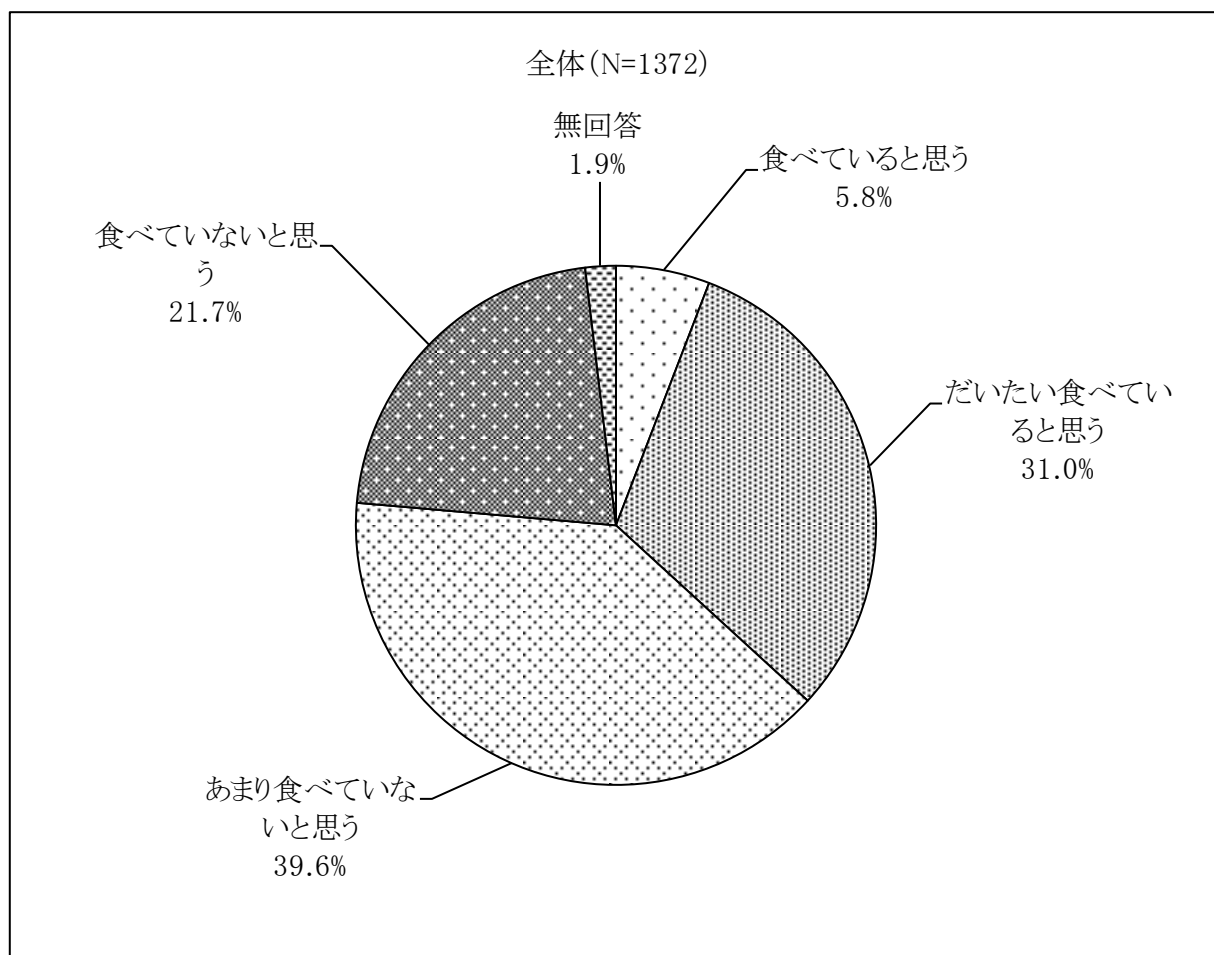


性別でみると、男女ともに「知らなかった」が高くなっており、男性が66.1%で、女性の51.5%より14.6ポイント高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「知らなかった」が高くなっているが、50歳代～70歳以上は、全体の傾向より低くなっている。

## ■野菜の1日の摂取状況

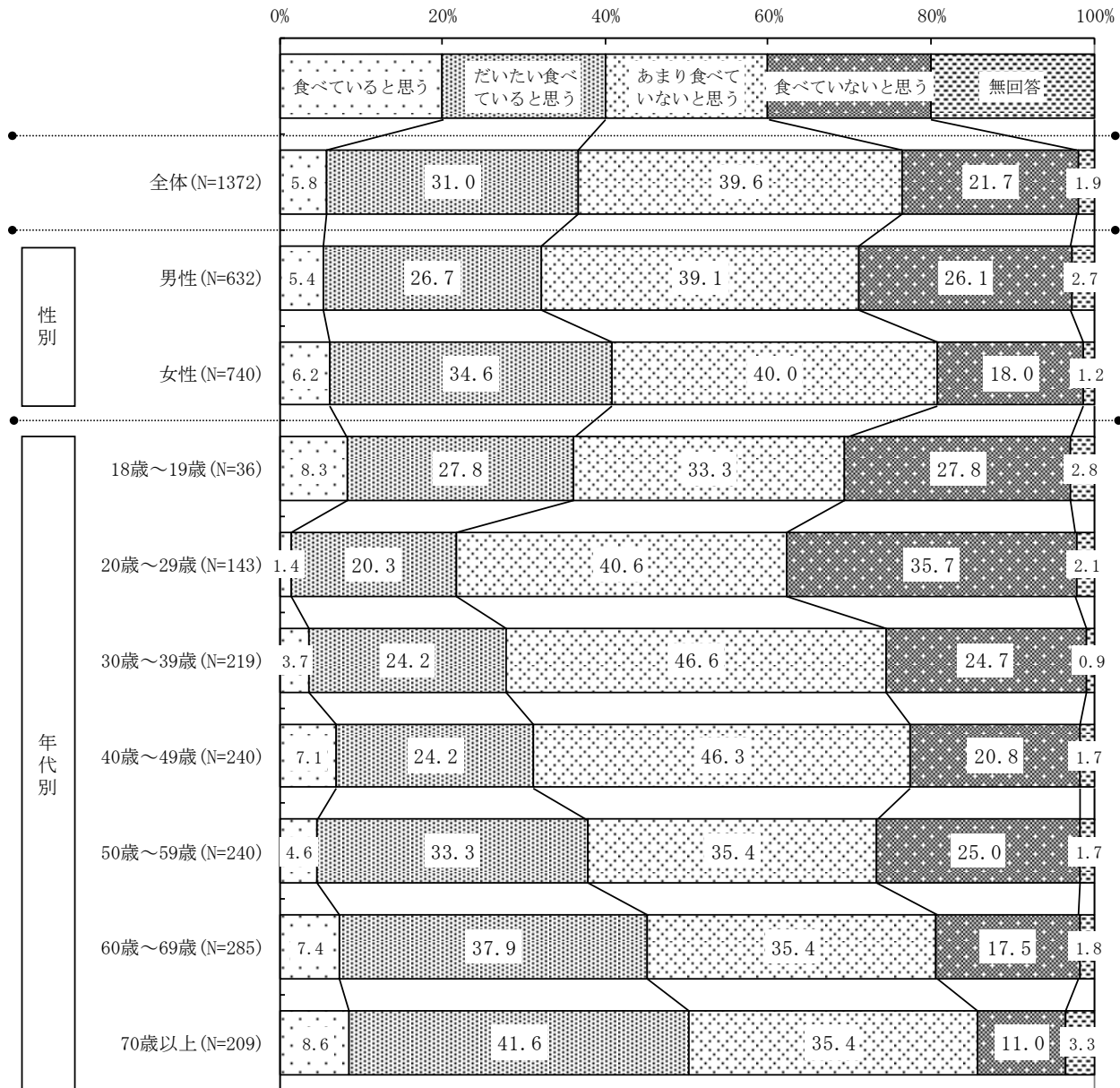
問 1 6 野菜を1日350g食べていると思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。 ※野菜350gは野菜料理5皿分です（野菜のお浸し小鉢1皿で70g位）



野菜を1日350g食べているかについて、「食べていないと思う」の21.7%と「あまり食べていないと思う」の39.6%を合わせた“食べていないと思う”は61.3%となっており、6割を超えている。

これに対して、「食べていると思う」の5.8%と「だいたい食べていると思う」の31.0%を合わせた“食べていると思う”は36.8%となっている。

野菜を1日350g食べているかについて、“食べていないと思う”（「あまり食べていないと思う」＋「食べていないと思う」）が61.3%。



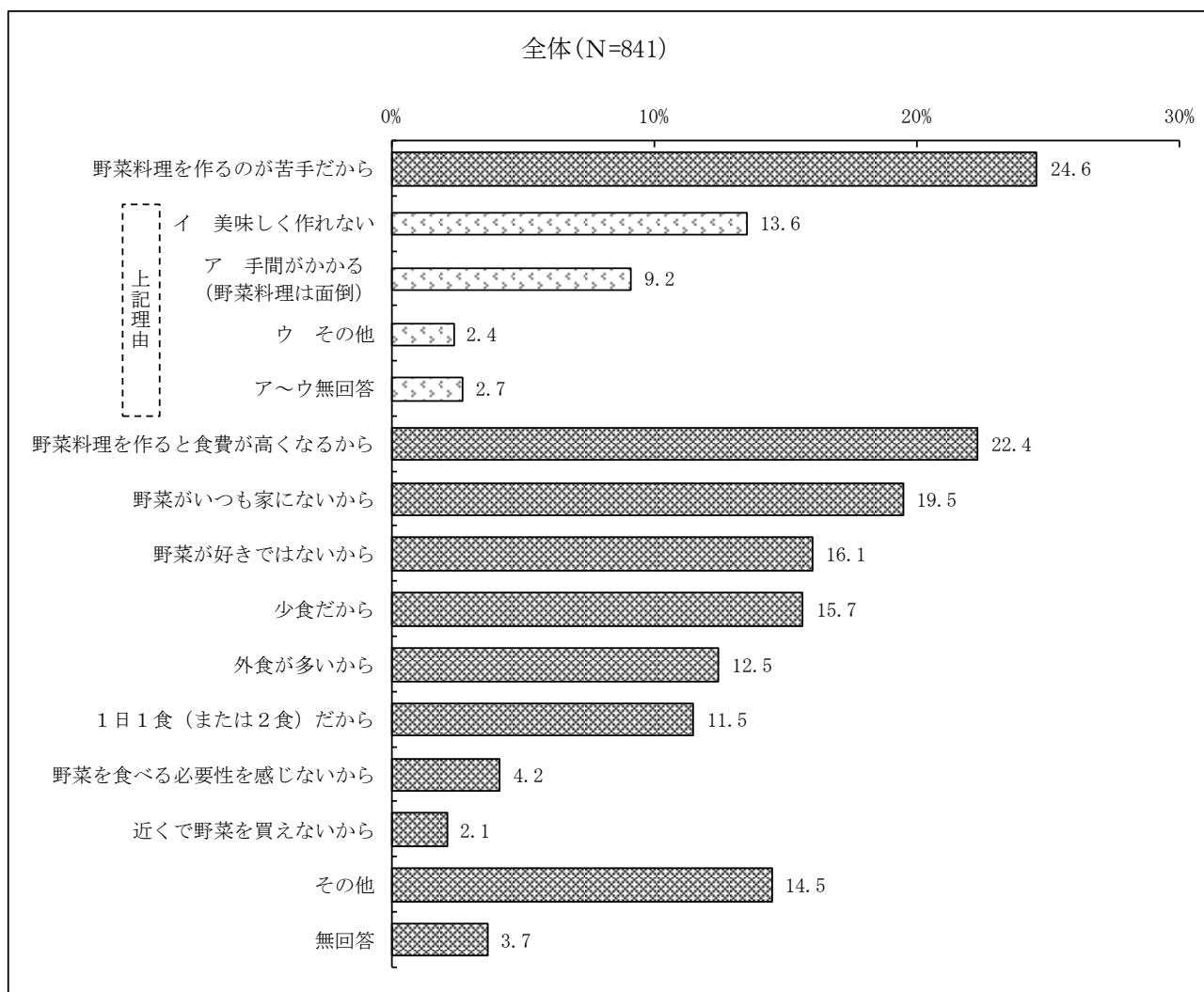
性別でみると、男女ともに“食べていないと思う”（「食べていないと思う」＋「あまり食べていないと思う」）が、“食べている”（「食べていると思う」＋「だいたい食べていると思う」）より高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代～60歳代は、全体と同様に“食べていないと思う”が高いが、70歳以上は、“食べていると思う”が高くなっている。

■野菜を摂取していない理由

《問16で「3 あまり食べていないと思う」「4 食べていないと思う」と回答した方にお聞きます》

問16の1 野菜を1日350g食べていないと思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



野菜を1日350g食べていないと思う理由について、「野菜料理を作るのが苦手だから」が24.6%と最も高く、次いで、「野菜料理を作ると食費が高くなるから」が22.4%となっている。以下、「野菜がいつも家になから」が19.5%、「野菜が好きではないから」が16.1%となっている。

野菜を1日350g食べていないと思う理由について、「野菜料理を作るのが苦手だから」が24.6%。

	サンプル数	野菜が好きではないから	野菜料理を作るのが苦手だから	ア（野菜料理を作るのが苦手な理由） 手間がかかる（野菜料理は面倒）	イ（野菜料理を作るのが苦手な理由） 美味しく作れない	ウ（野菜料理を作るのが苦手な理由） その他	ア（野菜料理を作るのが苦手な理由） ウ無回答	野菜料理を作ると食費が高くなるから	野菜がいつも家になから	近くで野菜を買えないから	少食だから	外食が多いから	1日1食（または2食）だから	野菜を食べる必要性を感じないから	その他	無回答
全体	841	16.1	24.6	9.2	13.6	2.4	2.7	22.4	19.5	2.1	15.7	12.5	11.5	4.2	14.5	3.7
《性別》																
男性	412	22.8	17.5	8.5	9.5	0.7	1.5	15.5	20.9	1.7	10.7	17.0	13.3	6.6	13.3	4.1
女性	429	9.6	31.5	9.8	17.5	4.0	4.0	28.9	18.2	2.6	20.5	8.2	9.8	1.9	15.6	3.3
《年代別》																
18歳～19歳	22	18.2	22.7	9.1	9.1	－	4.5	13.6	27.3	－	13.6	18.2	9.1	22.7	13.6	－
20歳～29歳	109	12.8	11.9	3.7	6.4	－	2.8	28.4	29.4	2.8	16.5	17.4	13.8	6.4	9.2	1.8
30歳～39歳	156	12.2	24.4	12.2	11.5	2.6	1.9	30.1	25.0	0.6	8.3	17.9	17.3	2.6	13.5	1.3
40歳～49歳	161	14.9	25.5	10.6	13.7	3.7	1.9	26.7	17.4	2.5	12.4	11.8	11.8	1.2	16.8	3.1
50歳～59歳	145	22.1	28.3	13.8	12.4	2.8	3.4	19.3	17.9	2.8	15.9	13.8	11.0	1.4	15.9	2.1
60歳～69歳	151	18.5	29.1	7.3	21.2	2.0	2.6	11.9	13.2	2.0	15.2	7.9	7.3	6.6	17.9	7.3
70歳以上	97	14.4	25.8	4.1	15.5	3.1	4.1	18.6	13.4	3.1	33.0	3.1	7.2	5.2	11.3	8.2

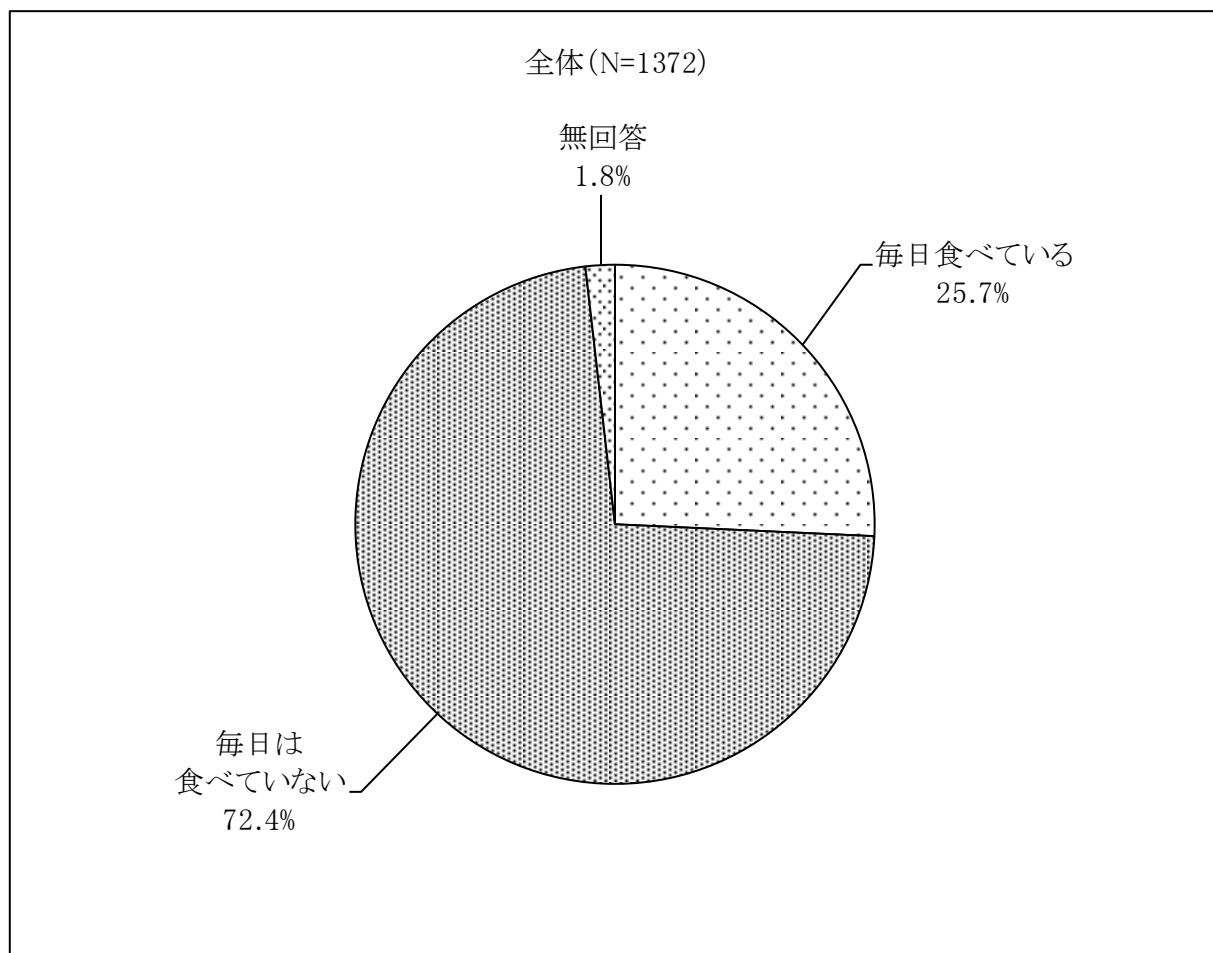
は各属性で最も高い数値

性別でみると、女性は全体と同様に「野菜料理を作るのが苦手だから」が31.5%と最も高くなっている。一方、男性は「野菜が好きではないから」が22.8%と最も高くなっている。

年代別でみると、50歳代、60歳代は全体と同様に「野菜料理を作るのが苦手だから」が最も高くなっており、18歳～19歳、20歳代は「野菜がいつも家になから」、30歳代、40歳代は、「野菜料理を作ると食費が高くなるから」、70歳以上は、「少食だから」が最も高くなっている。

■毎日の果物の摂取状況

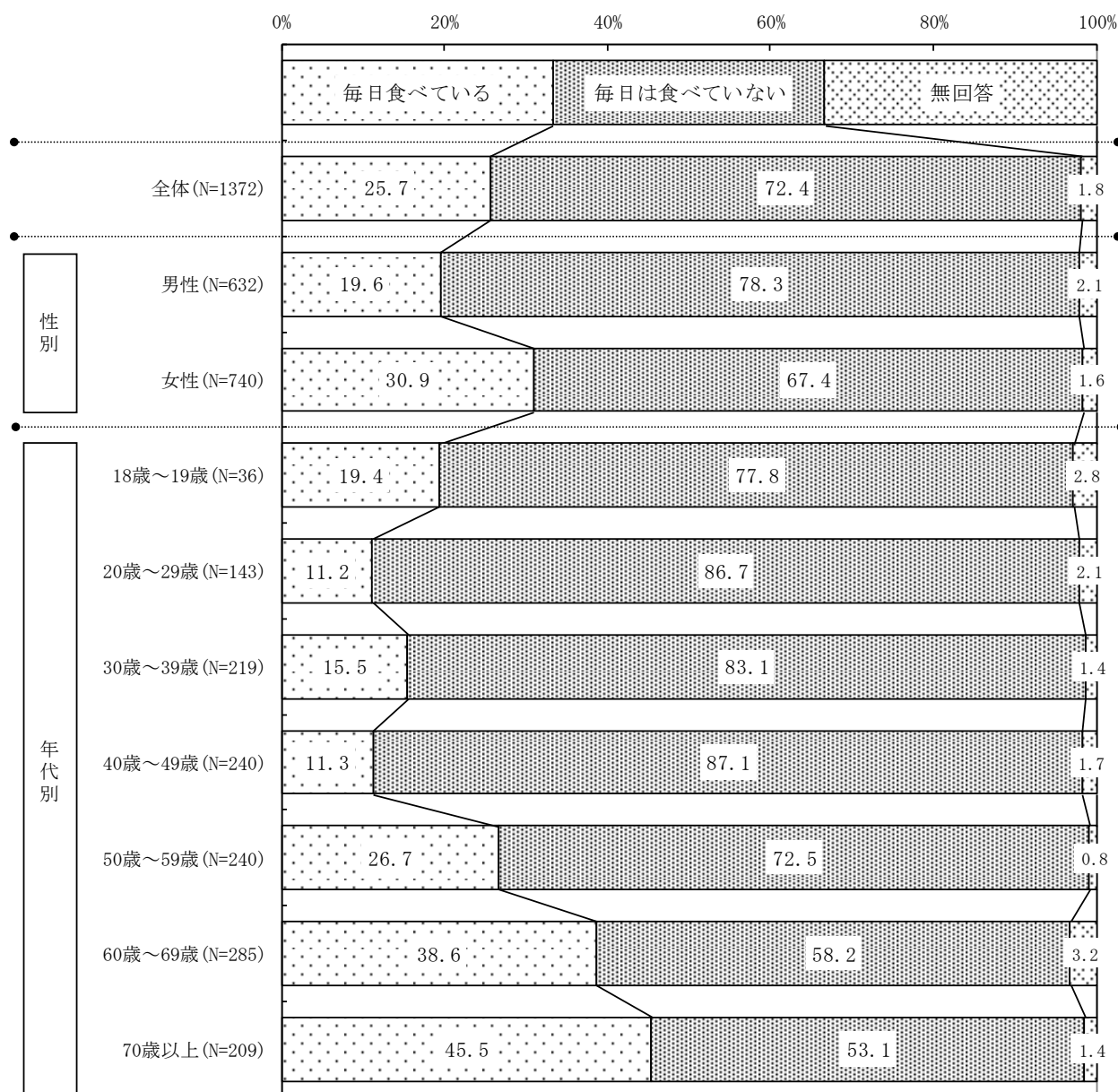
問 1 7 果物を毎日食べていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



毎日の果物の摂取状況について、「毎日食べていない」が 72.4%となっており、7割を超えている。

一方、「毎日食べている」が 25.7%となっている。

毎日の果物の摂取状況について、「毎日食べていない」が 72.4%。



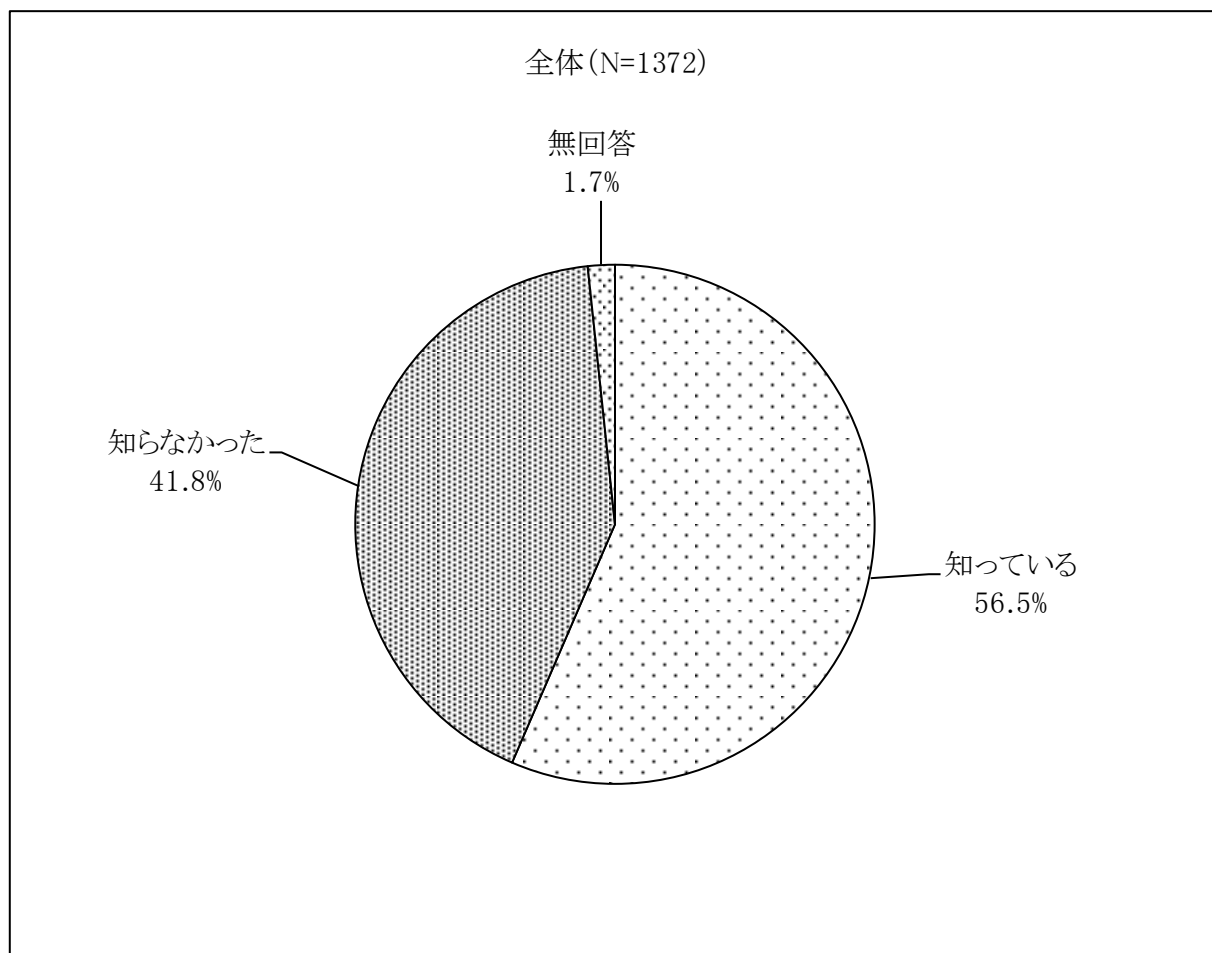
性別でみると、男女ともに「毎日は食べていない」が高くなっており、男性が 78.3%で、女性の 67.4%より 10.9 ポイント高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「毎日は食べていない」が高くなっており、各年代層の中でも、40 歳代は 87.1%で高くなっている。



■野菜・果物による高血圧予防の認知度

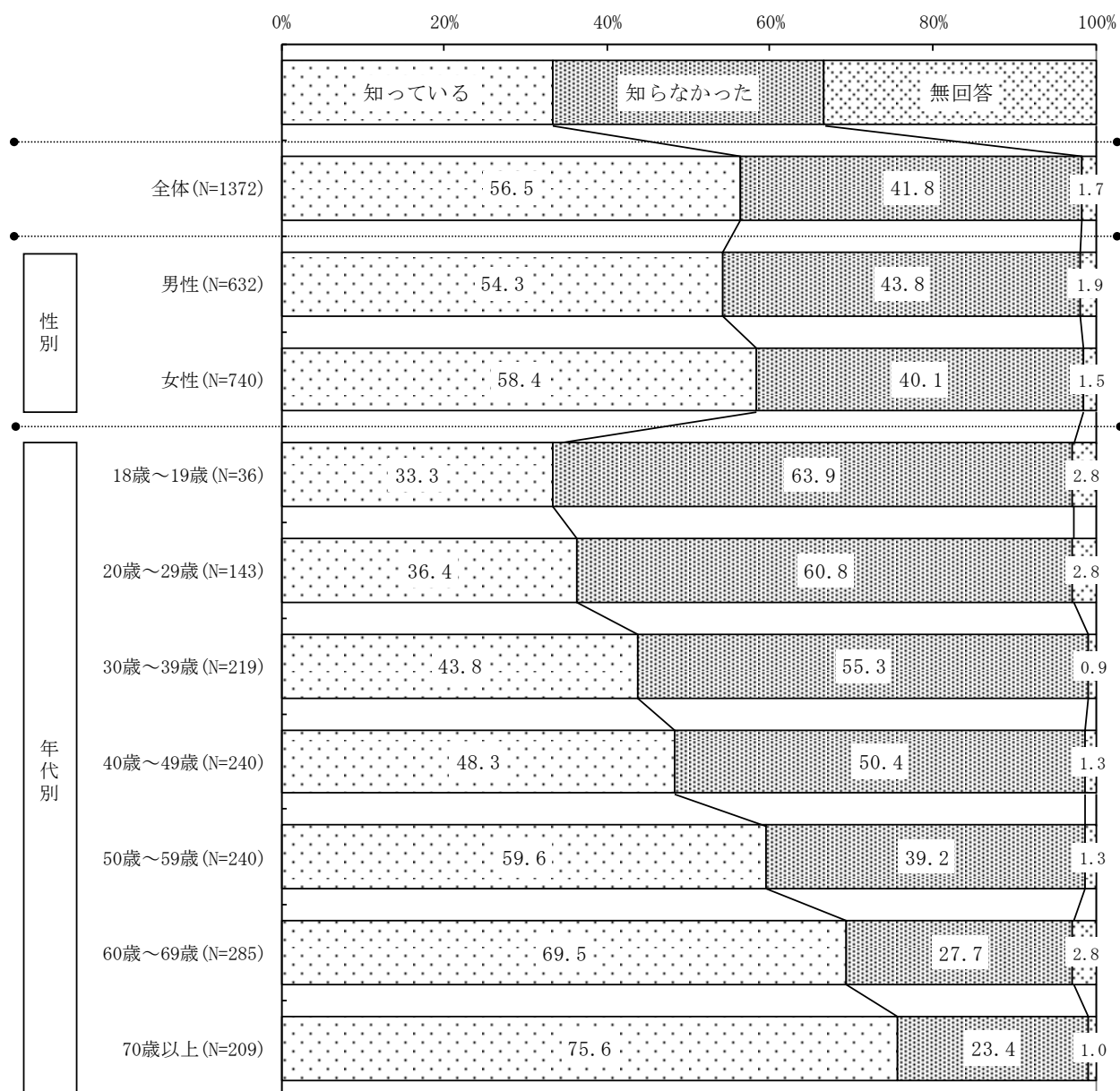
問 1 8 野菜・果物を食べると高血圧の予防になることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



野菜・果物による高血圧の予防の認知度について、「知っている」と回答した人が56.5%となっている。

一方、「知らなかった」と回答した人が、41.8%となっている。

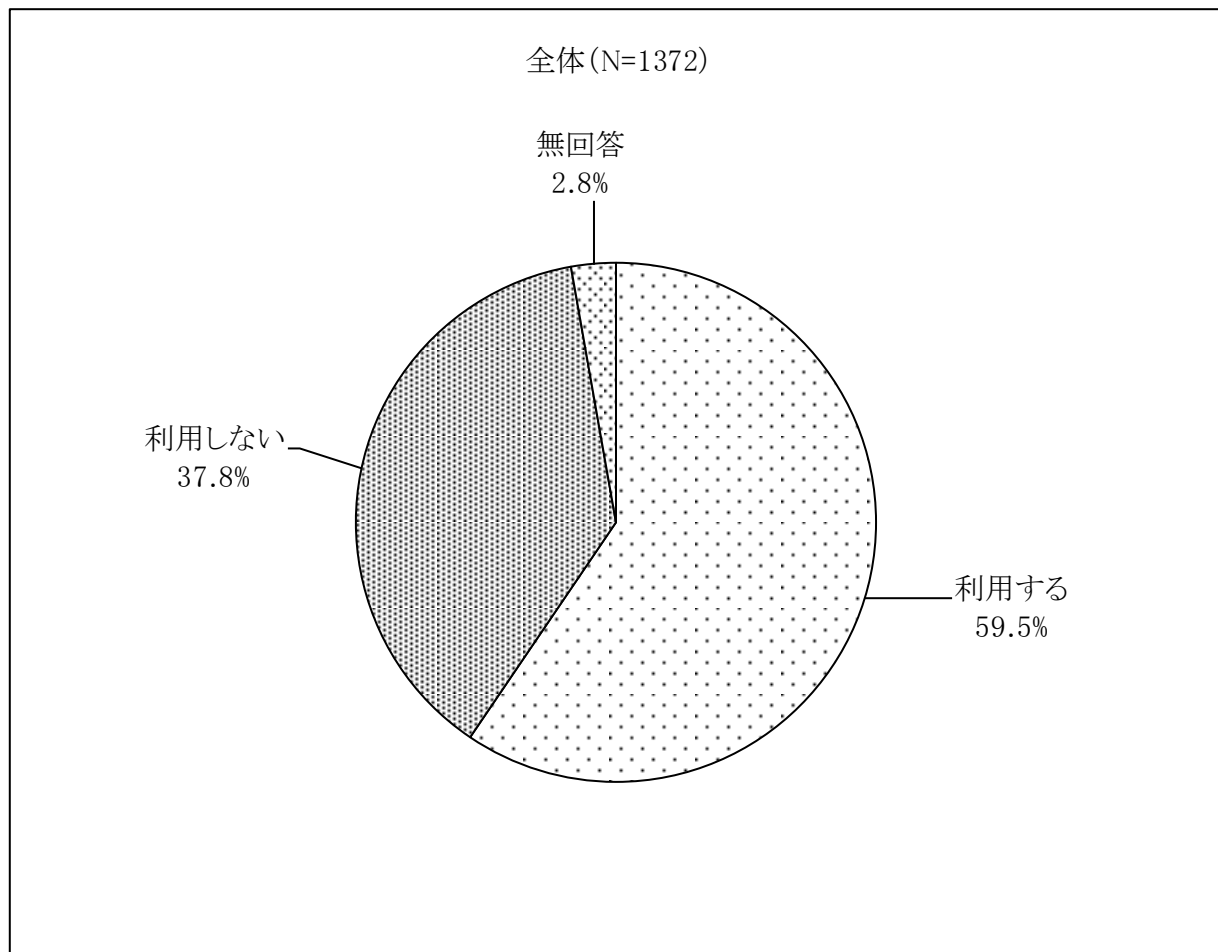
野菜・果物による高血圧の予防の認知度について、「知っている」が56.5%。



性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「知っている」が高くなっている。  
 年代別でみると、50 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「知っている」が高くなっている。一方、  
 18 歳～19 歳、20 歳代～40 歳代は、「知らなかった」が高くなっている。

■野菜・果物を多く提供する飲食店等の利用意向

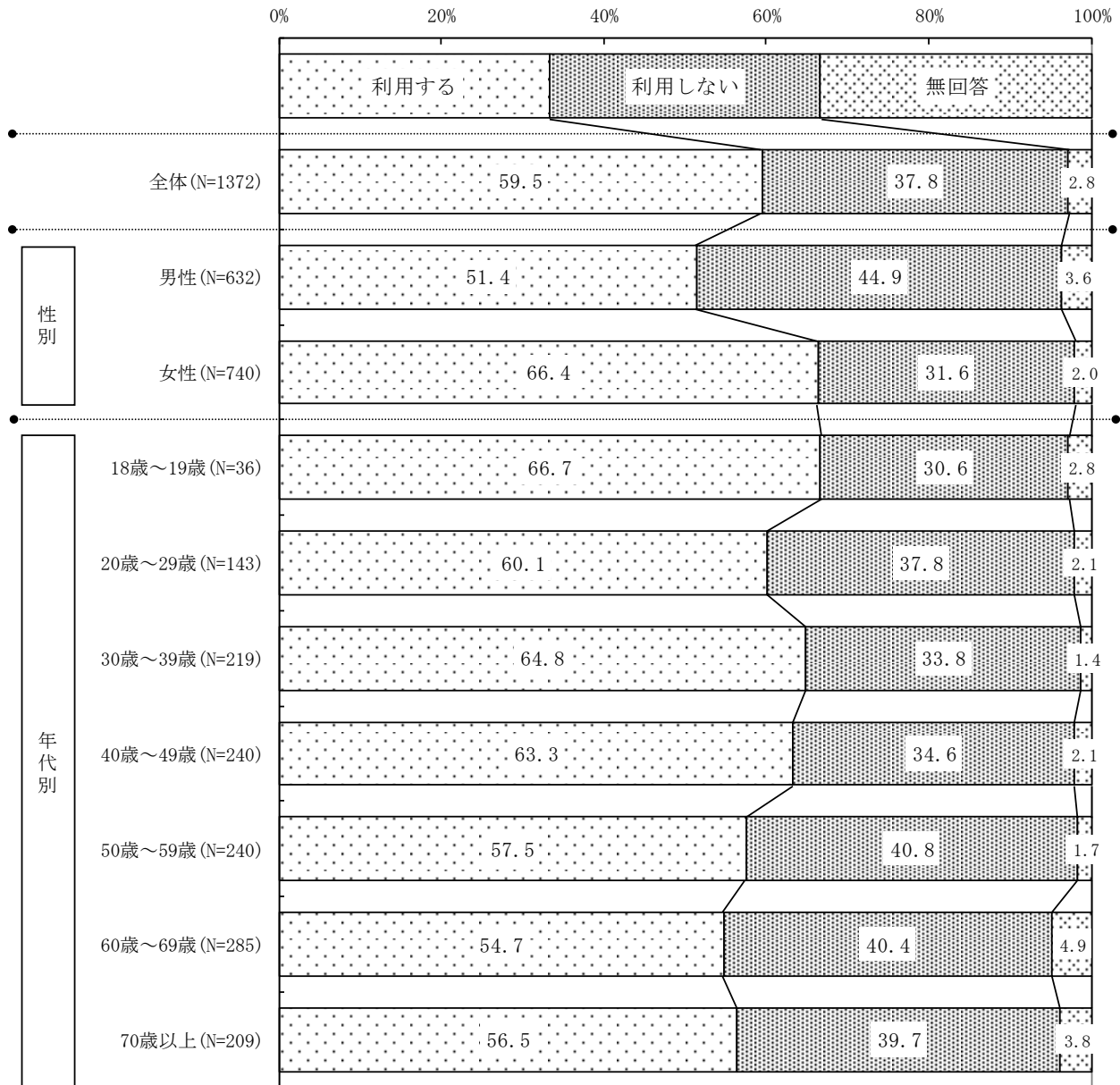
問 1 9 野菜・果物を多く提供している飲食店等があれば利用しますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



野菜・果物を多く提供している飲食店の利用について、「利用する」が 59.5%となっている。

一方、「利用しない」が 37.8%となっている。

野菜・果物を多く提供している飲食店の利用について、「利用する」が 59.5%。



性別でみると、男女ともに「利用する」が高くなっており、女性が 66.4%で、男性の 51.4%より 15.0 ポイント高くなっている。

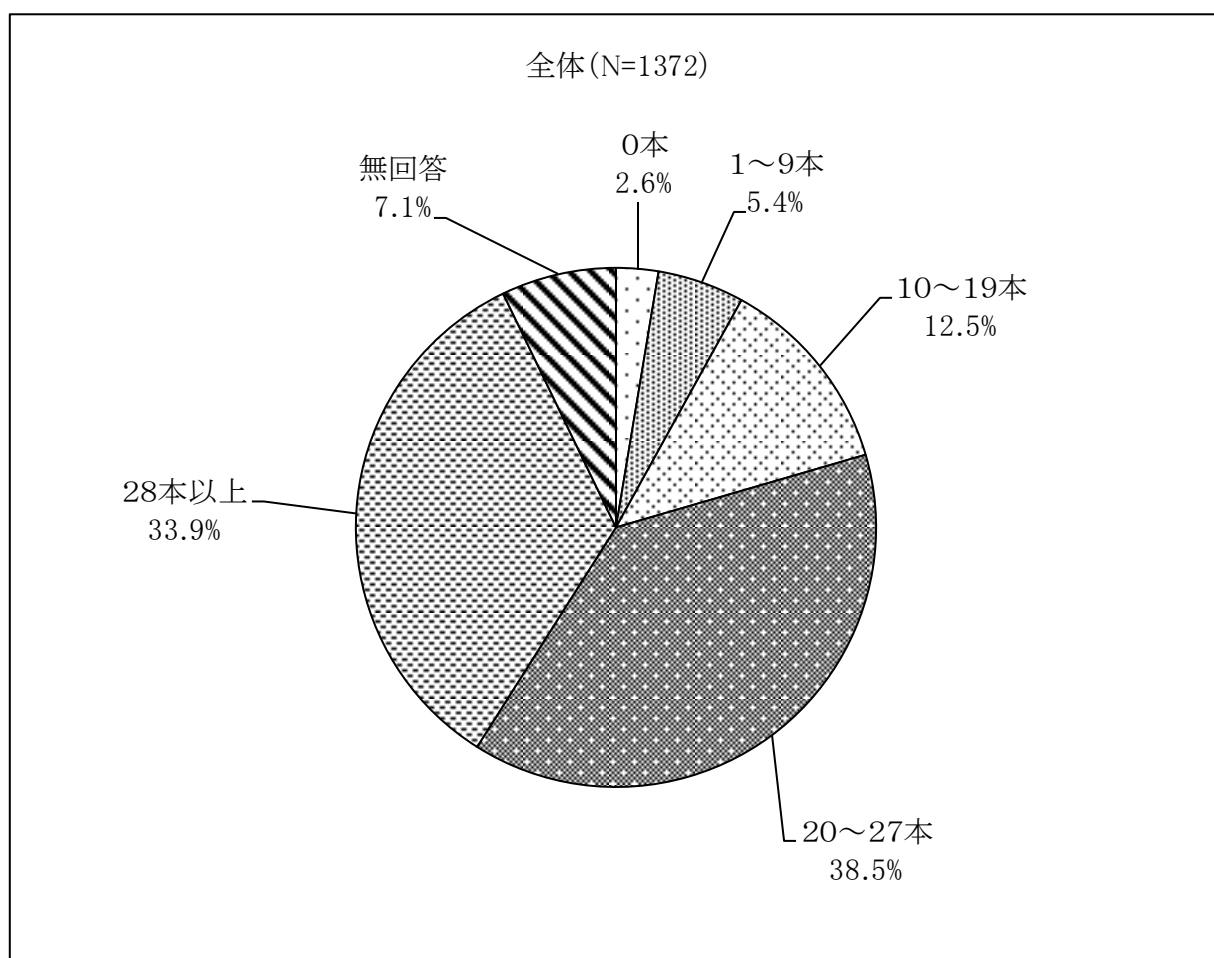
年代別でみると、各年代層とも「利用する」が高くなっているが、50 歳代～70 歳以上は、全体の傾向より若干低くなっている。

## Ⅱ 市民の健康づくり

### － vi 歯・口腔の健康づくり－

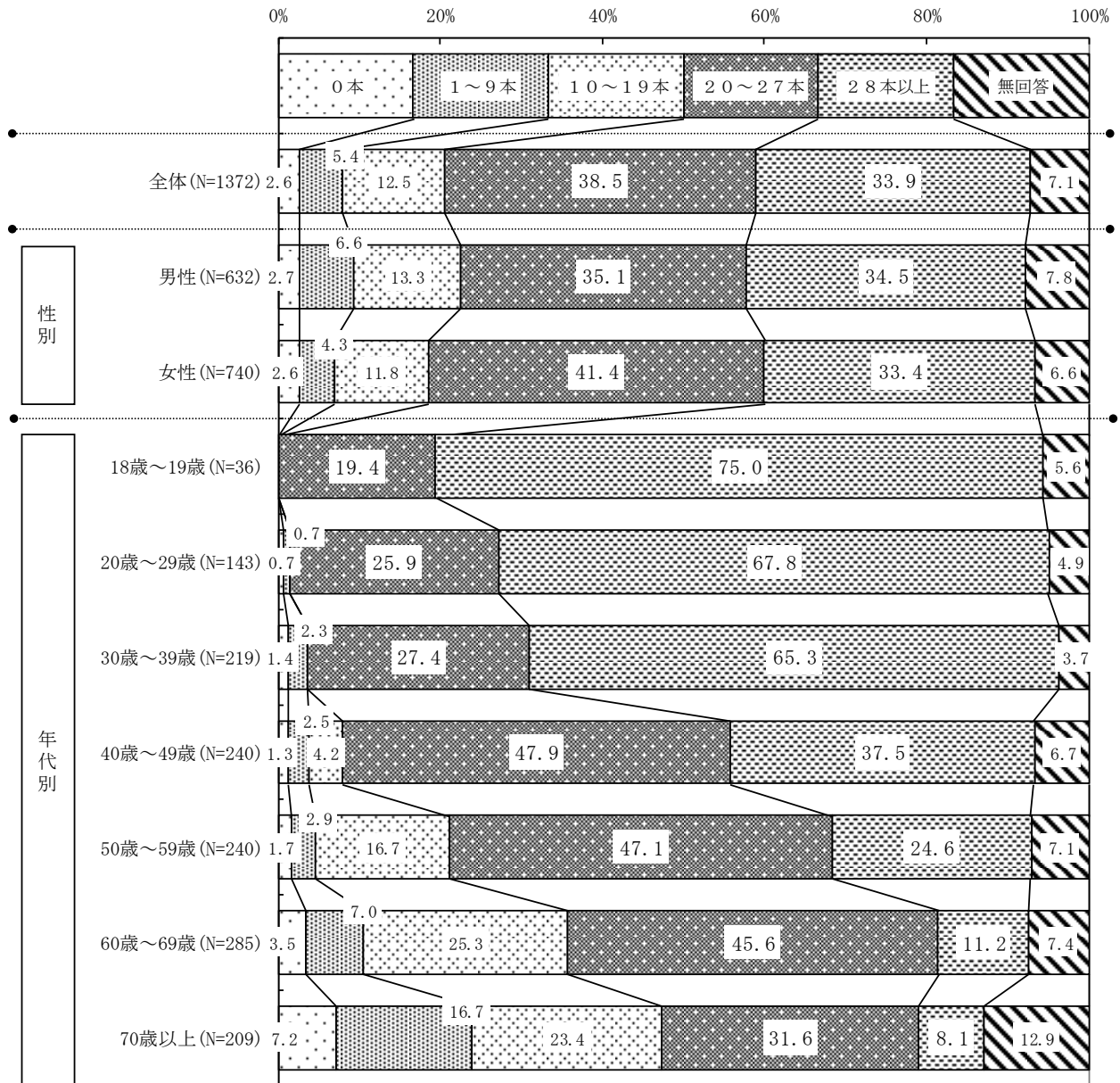
#### ■ 自分の歯の本数

問 2 0      自分の歯は何本ありますか。 ※差し歯は含みますが、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。 親知らずを除くと全部で 28 本ですが、28 本より多い場合や少ない場合もあります。



自分の歯の本数について、「20 本～27 本」が 38.5%と最も高く、次いで、「28 本以上」が 33.9%、「10～19 本」が 12.5%となっている。

自分の歯の本数について、「20 本～27 本」と回答している人が 38.5%。

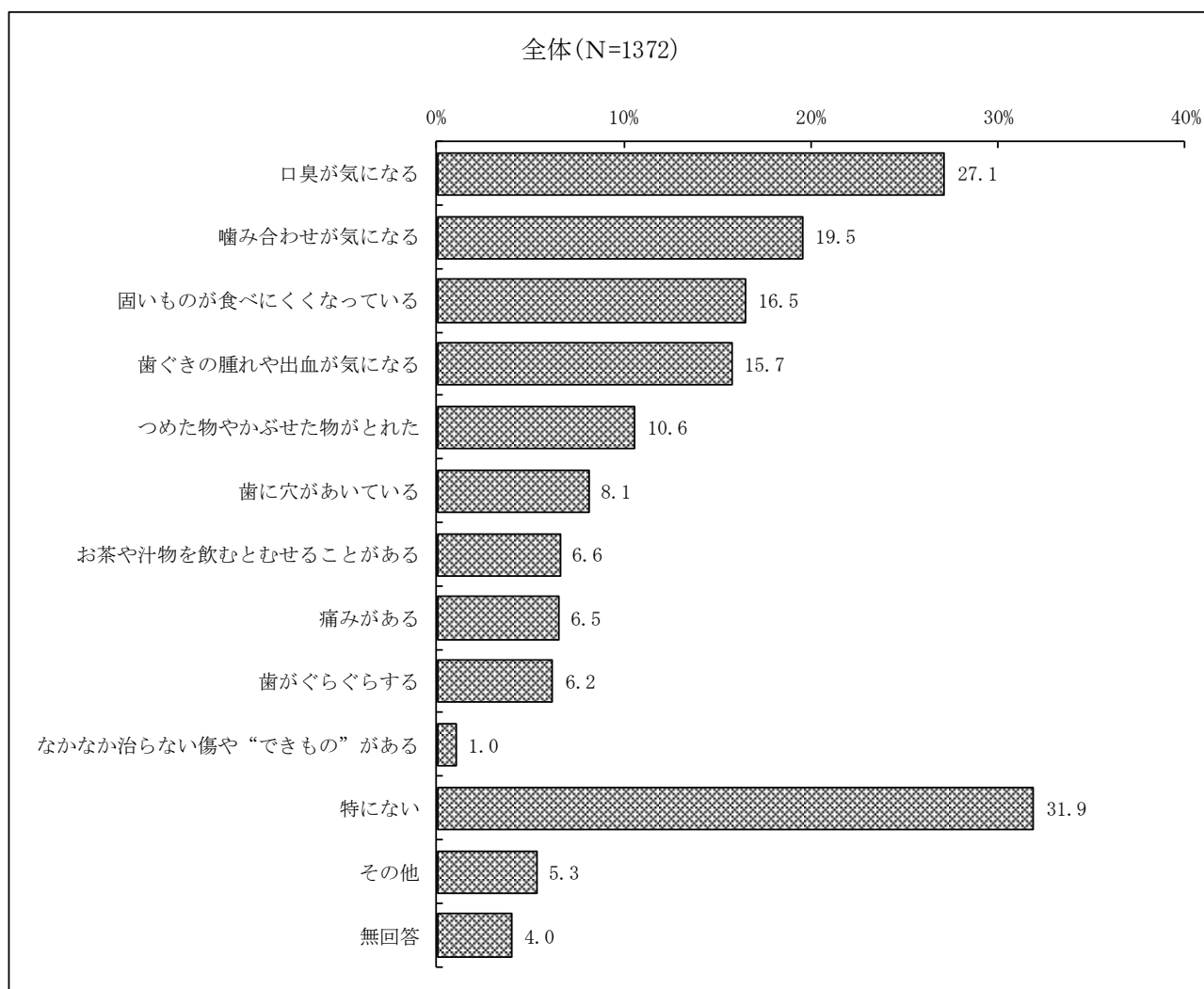


性別でみると、男女でほとんど差は見られず、全体と同様に「20本～27本」が最も高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代は「28本以上」、40歳代～70歳以上は、「20本～27本」が最も高くなっている。

## ■ 歯や口に関する悩み

問 2 1 歯や口の中で気になっていることはありますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



歯や口の悩みについて、「口臭が気になる」が 27.1%と最も高く、次いで、「噛み合わせが気になる」が 19.5%、「固いものが食べにくくなっている」が 16.5%となっている。

一方、「特にない」が 31.9%となっている。

歯や口の悩みについて、「口臭が気になる」が 27.1%。

	サンプル数	歯に穴があいている	つめた物やかぶせた物がとれた	痛みがある	なかなか治らない傷や“できもの”がある	歯ぐきの腫れや出血が気になる	歯がぐらぐらする	噛み合わせが気になる	口臭が気になる	固いものが食べにくくなっている	お茶や汁物を飲むとむせることがある	特にな	その他	無回答
全体	1372	8.1	10.6	6.5	1.0	15.7	6.2	19.5	27.1	16.5	6.6	31.9	5.3	4.0
《性別》														
男性	632	9.3	12.2	6.6	1.1	16.8	7.1	17.9	29.3	16.8	4.7	30.7	3.8	3.8
女性	740	7.0	9.2	6.4	0.9	14.9	5.4	20.9	25.3	16.2	8.1	32.8	6.6	4.2
《年代別》														
18歳～19歳	36	5.6	2.8	5.6	－	2.8	－	25.0	11.1	2.8	2.8	36.1	22.2	2.8
20歳～29歳	143	9.8	8.4	9.1	1.4	9.8	1.4	16.1	22.4	1.4	2.8	46.2	4.9	2.8
30歳～39歳	219	11.4	10.5	8.7	2.3	16.4	0.9	25.6	28.8	1.4	2.3	29.2	5.9	3.7
40歳～49歳	240	13.3	14.6	7.5	1.7	19.2	4.6	20.4	30.0	10.0	5.8	28.8	5.0	3.3
50歳～59歳	240	5.0	11.7	5.8	0.4	22.1	7.5	22.9	32.5	17.5	6.7	27.5	5.0	1.7
60歳～69歳	285	4.6	10.2	3.9	0.4	14.7	11.2	15.4	27.0	33.7	7.0	30.9	4.2	5.6
70歳以上	209	6.2	8.1	5.7	0.5	11.5	9.6	15.3	22.0	27.8	14.4	34.0	4.3	6.7

は各属性で最も高い数値

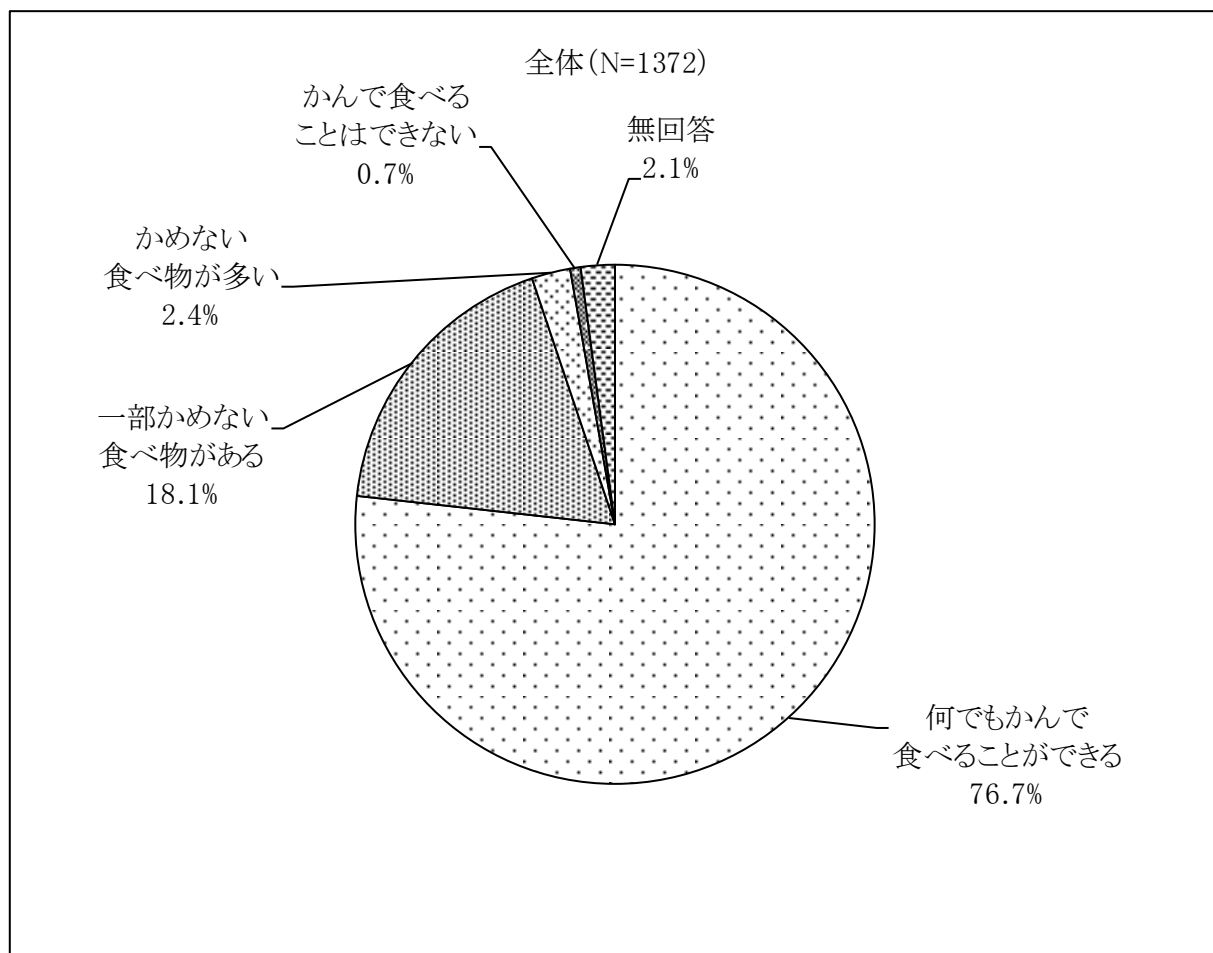
性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「口臭が気になる」が最も高くなっている。

年代別でみると、20歳代～50歳代は全体と同様に、「口臭が気になる」が最も高くなっており、18歳～19歳は、「噛み合わせが気になる」、60歳代～70歳以上は、「固いものが食べにくくなっている」が最も高くなっている。



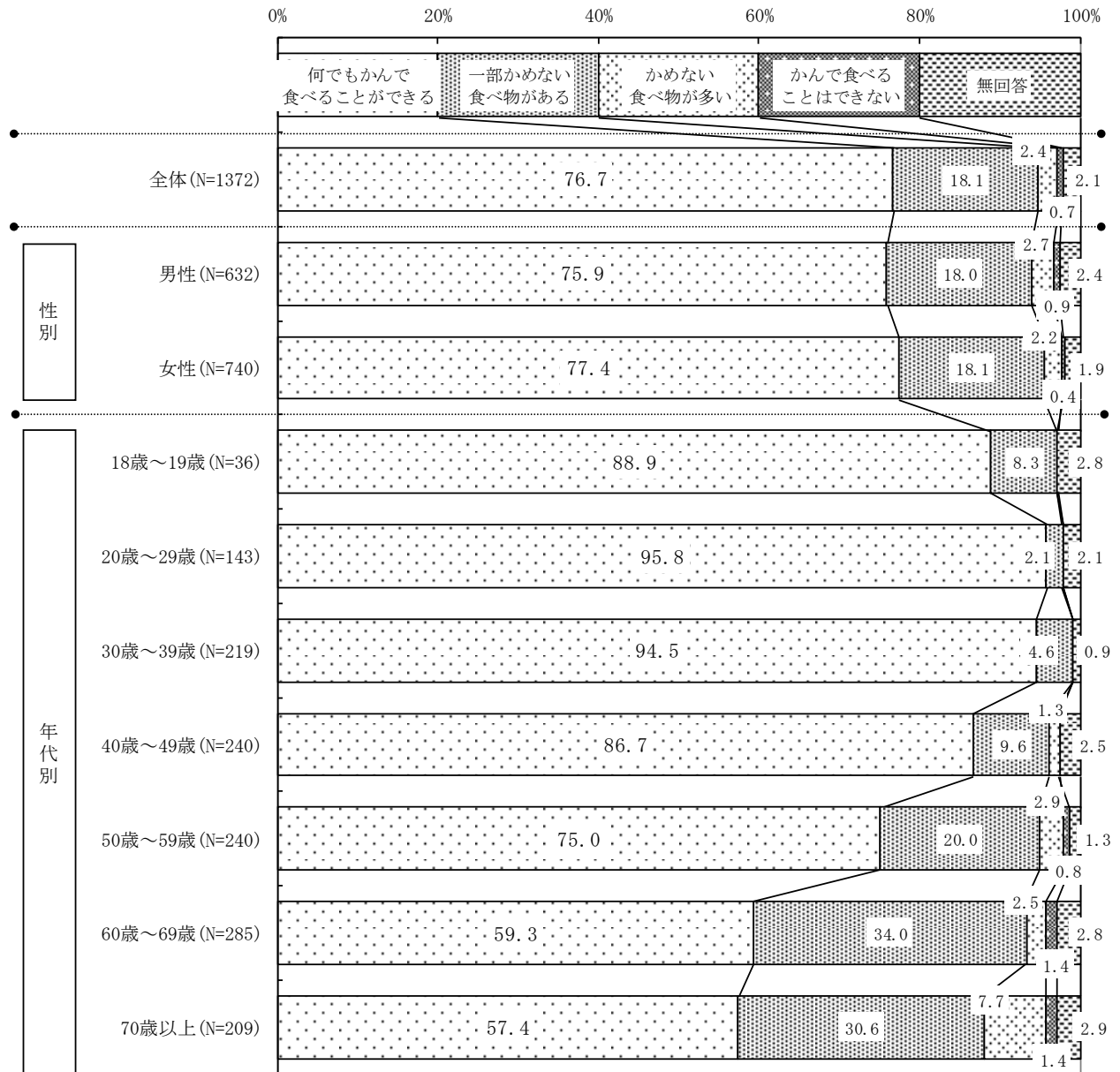
■かんで食べる時の状態

問 2 2      かんで食べる時の状態について、次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



かんで食べる時の状態について、「何でもかんで食べることができる」が 76.7%と最も高く、次いで、「一部かめない食べ物がある」が 18.1%となっている。

かんで食べる時の状態について、「何でもかんで食べることができる」が 76.7%。

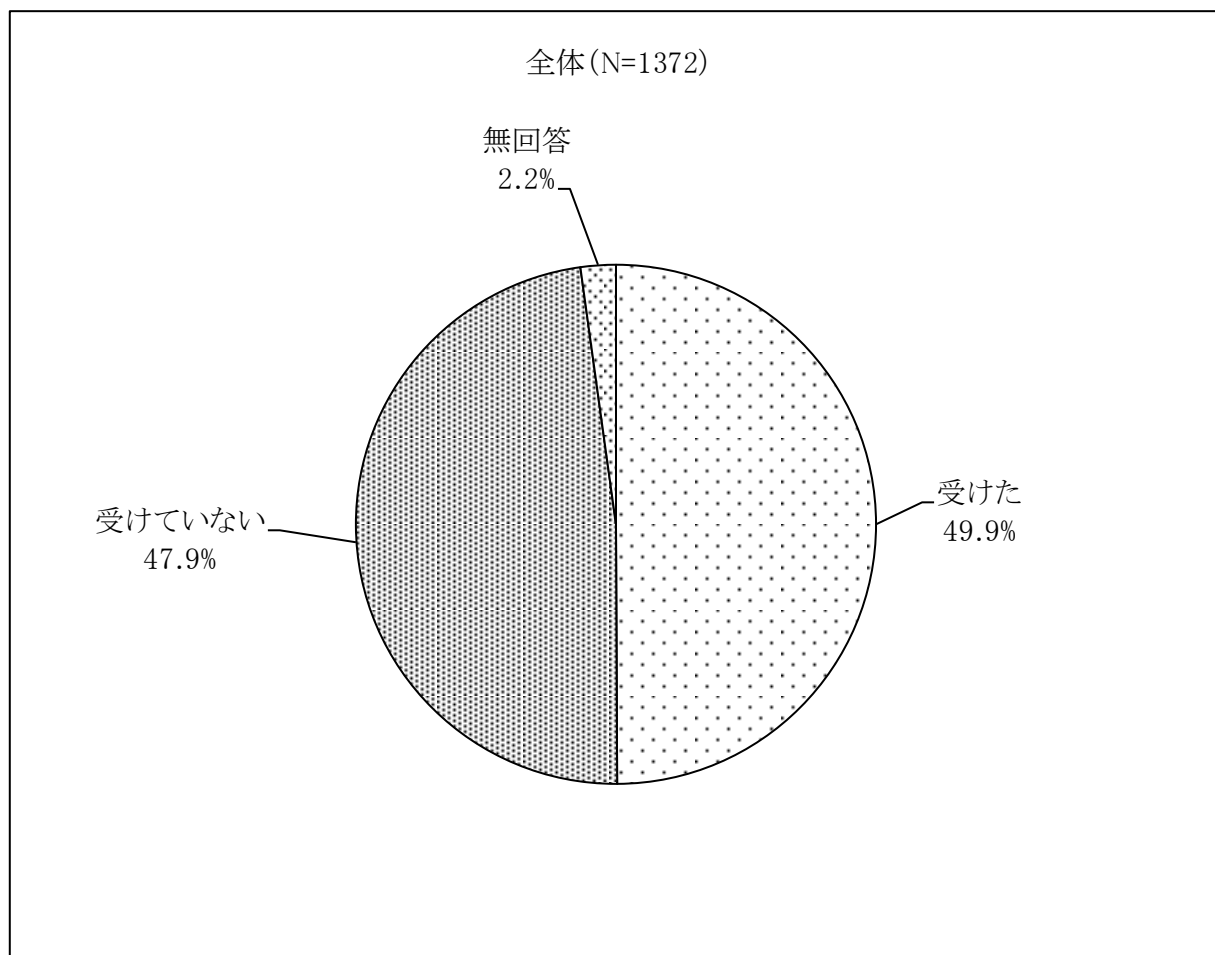


性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「何でもかんで食べることができる」が最も高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「何でもかんで食べることができる」が最も高くなっているが、60歳代～70歳以上は、全体の傾向より低くなっている。

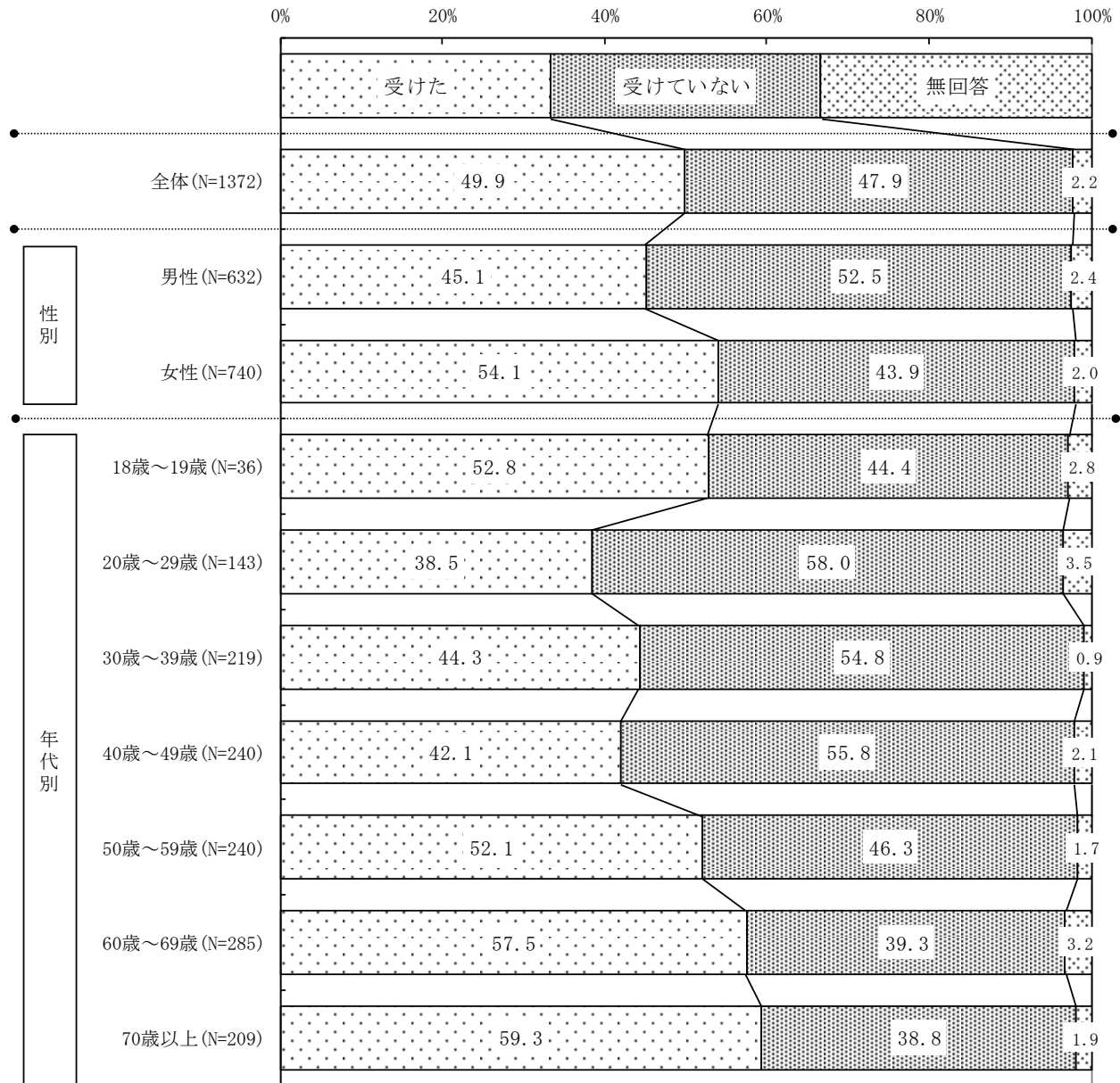
■1年間の歯科検診の受診状況

問 2 3      この1年間に歯科医院等で歯科健診を受けましたか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



1年間の歯科検診の受診状況について、「受けた」が49.9%となっている。  
一方、「受けていない」が47.9%となっている。

1年間の歯科検診の受診状況について、「受けた」と回答している人が49.9%。



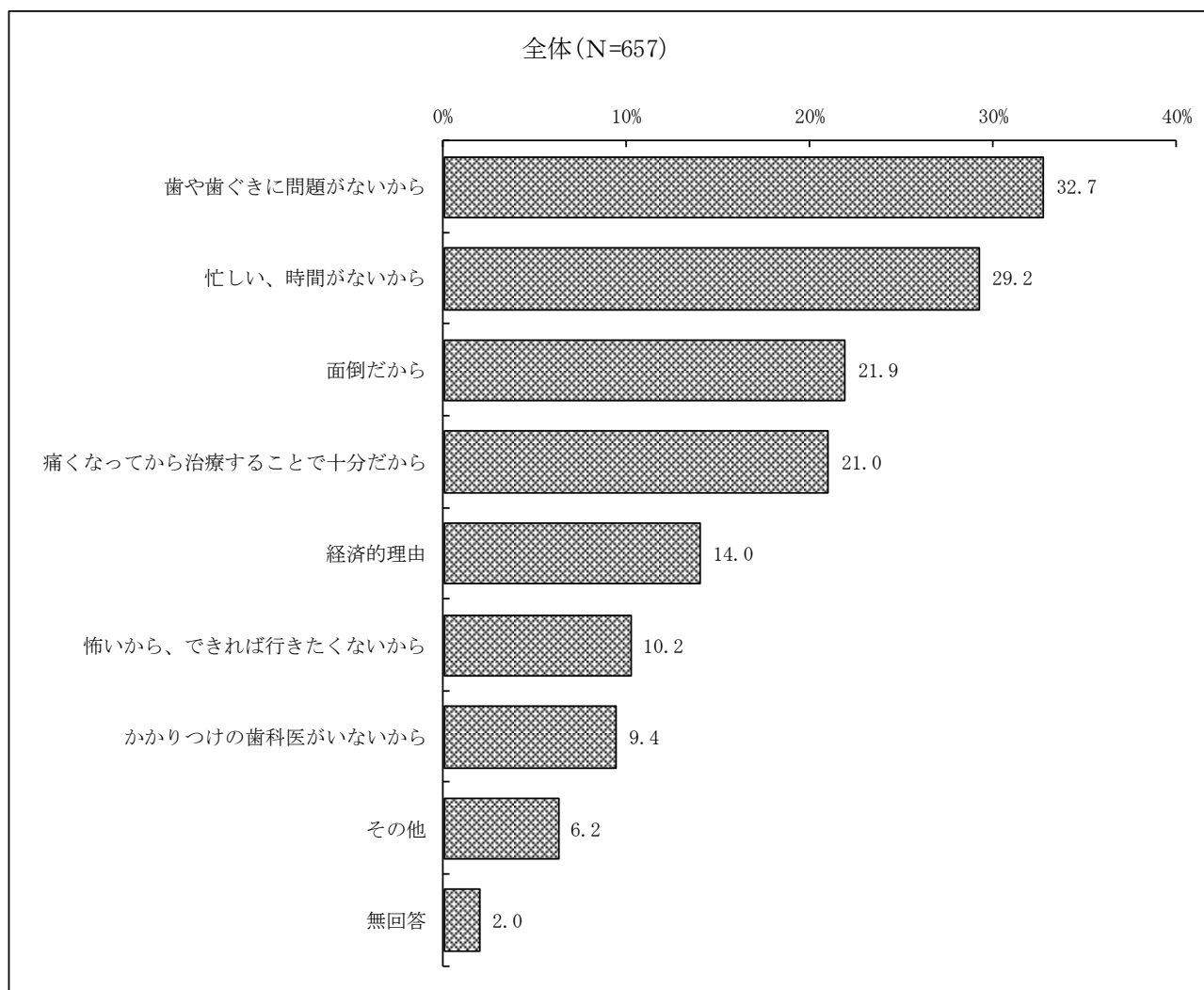
性別でみると、女性は全体と同様に「受けた」が 54.1% で高くなっており、男性の 45.1% より 9.0 ポイント高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、50 歳代～70 歳代以上は、全体と同様に「受けた」が高くなっており、20 歳代～40 歳代は、「受けていない」が高くなっている。

■ 歯科検診を受診しなかった理由

《問23で歯科健診を「2 受けていない」と回答した方にお聞きします》

問 2 3 の 1 歯科健診を受けなかった理由について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



歯科健診を受けなかった理由について、「歯や歯ぐきに問題がないから」が 32.7%と最も高く、次いで、「忙しい、時間がないから」が 29.2%となっている。以下、「面倒だから」が 21.9%、「痛くなってから治療することで十分だから」が 21.0%となっている。

歯科健診を受けなかった理由について、「歯や歯ぐきに問題がないから」が 32.7%。

	サンプル数	歯や歯ぐきに問題がないから	痛くなら 十分だから	忙しい、 時間がないから	面倒だから	経済的理 由	怖いから、 できれば行きたくな	かかりつけの 歯科医がないか	その他	無回答
全体	657	32.7	21.0	29.2	21.9	14.0	10.2	9.4	6.2	2.0
《性別》										
男性	332	33.1	21.4	30.1	21.4	10.8	6.6	9.3	7.5	2.4
女性	325	32.3	20.6	28.3	22.5	17.2	13.8	9.5	4.9	1.5
《年代別》										
18歳～19歳	16	12.5	-	37.5	43.8	6.3	18.8	-	-	-
20歳～29歳	83	54.2	8.4	20.5	31.3	13.3	7.2	8.4	2.4	-
30歳～39歳	120	25.8	18.3	47.5	26.7	19.2	10.8	12.5	3.3	2.5
40歳～49歳	134	26.1	20.9	47.0	19.4	17.2	12.7	14.9	4.5	-
50歳～59歳	111	25.2	27.0	27.9	22.5	10.8	14.4	9.0	3.6	1.8
60歳～69歳	112	38.4	19.6	14.3	18.8	13.4	8.0	3.6	10.7	2.7
70歳以上	81	38.3	35.8	2.5	8.6	8.6	3.7	7.4	16.0	6.2

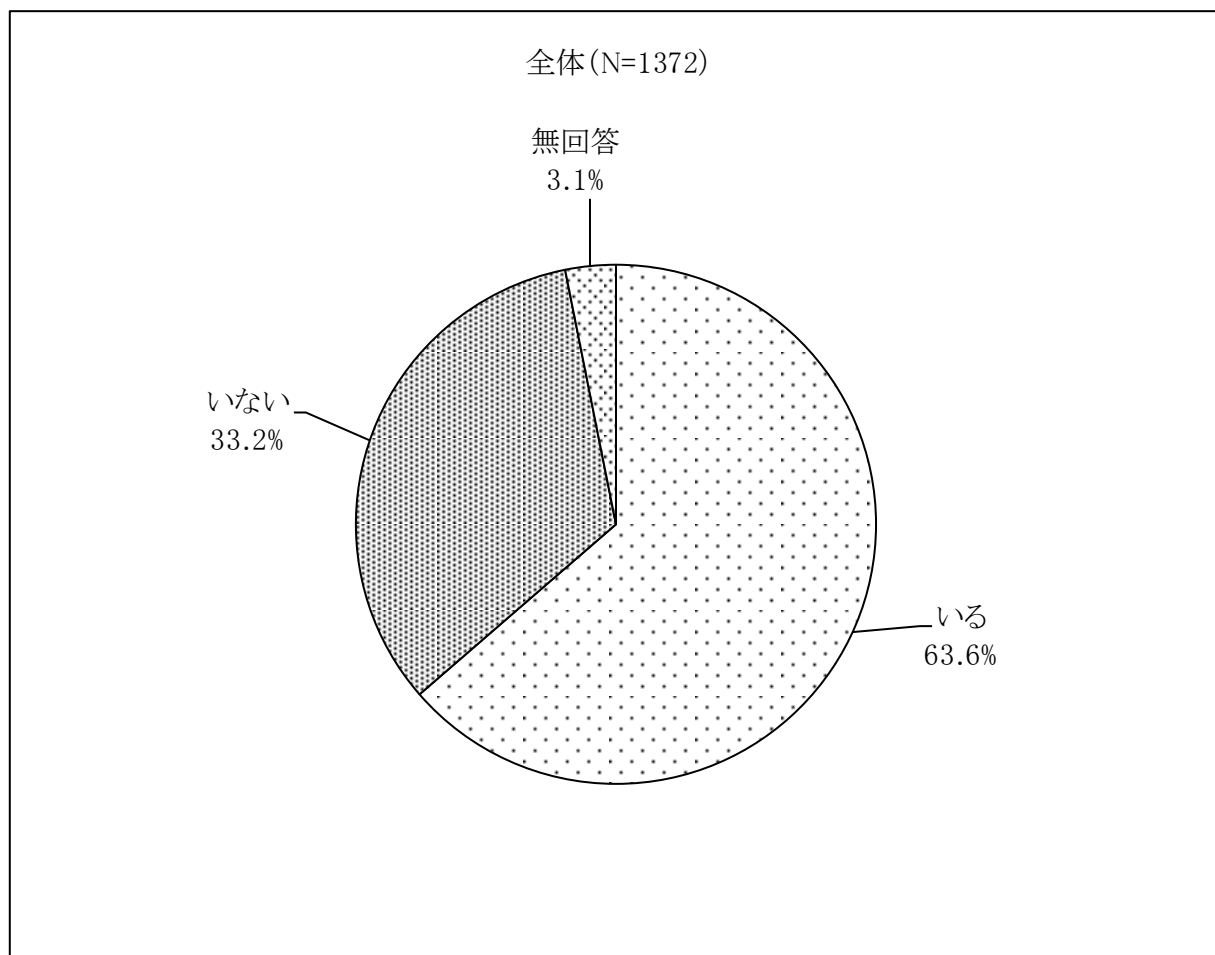
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「歯や歯ぐきに問題がないから」が最も高くなっている。

年代別でみると、20歳代、60歳代、70歳以上は全体と同様に「歯や歯ぐきに問題がないから」が最も高くなっており、30歳代～50歳代は、「忙しい、時間がないから」、18歳～19歳は、「面倒だから」が最も高くなっている。

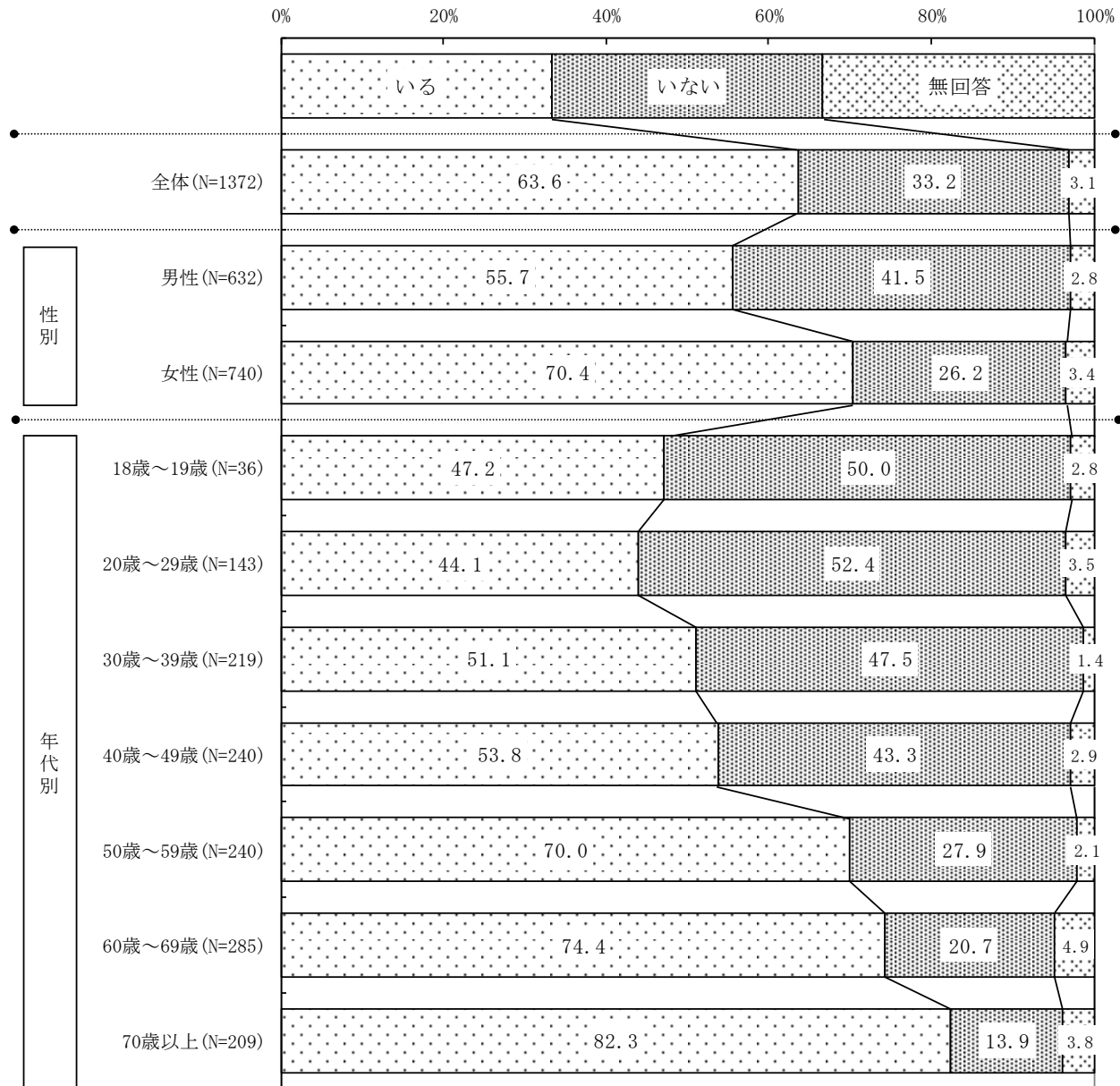
■かかりつけ歯科医の存在状況

問 2 4      あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。次の中から、あてはまるものに 1  
つ○をつけてください。



かかりつけ歯科医がいるかについて、「いる」と回答した人が 63.6%となっている。  
一方、「いない」と回答した人が 33.2%となっている。

かかりつけ歯科医がいるかについて、「いる」と回答している人が 63.6%。



性別でみると、男女ともに「いる」が高くなっており、女性が 70.4%で、男性の 55.7%より 14.7 ポイント高くなっている。

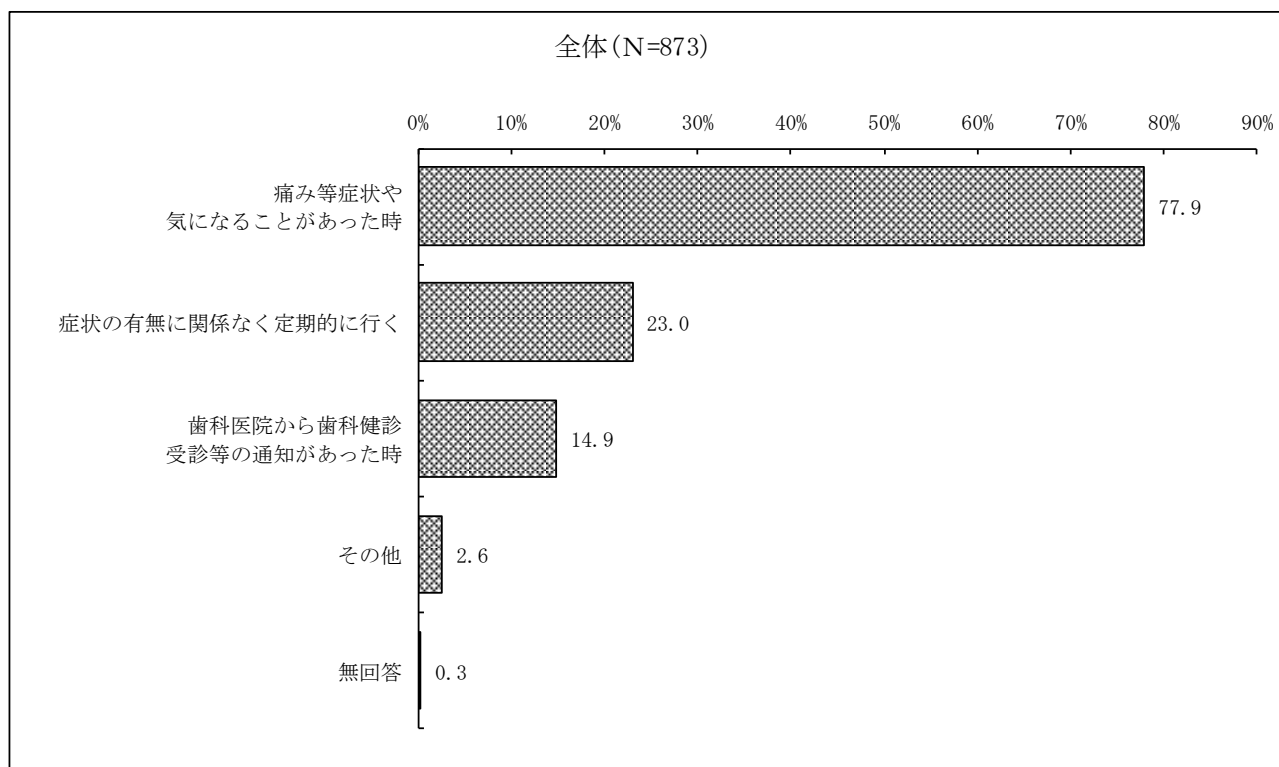
年代別でみると、30 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「いる」が高くなっており、18 歳～19 歳、20 歳代は「いない」が高くなっている。



■ かかりつけ歯科医を受診する理由

《問24でかかりつけ歯科医が「1 いる」と答えた方にお聞きます》

問 2 4 の 1    どのような時に「かかりつけ歯科医」に行きますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。



かかりつけ歯科医を受診する理由として、「痛み等症状や気になることがあった時」が 77.9%と最も高く、次いで、「症状の有無に関係なく定期的に行く」が 23.0%、「歯科医院から歯科健診受診等の通知があった時」が 14.9%となっている。

かかりつけ歯科医を受診する理由として、「痛み等症状や気になることがあった時」が 77.9%。

	サンプル数	痛み等 症状や 気が なる こと が あ っ た 時	症 状 の 有 無 に 関 係 な く 定 期 的 に 行 く	歯 科 医 院 か ら 歯 科 健 診 受 診 等 の 通 知 が あ っ た 時	そ の 他	無 回 答
全体	873	77.9	23.0	14.9	2.6	0.3
《性別》						
男性	352	79.3	17.0	14.8	3.1	0.6
女性	521	77.0	27.1	15.0	2.3	0.2
《年代別》						
18歳～19歳	17	76.5	23.5	17.6	5.9	－
20歳～29歳	63	85.7	14.3	11.1	－	－
30歳～39歳	112	72.3	27.7	16.1	1.8	－
40歳～49歳	129	79.8	24.0	12.4	2.3	－
50歳～59歳	168	83.3	16.1	18.5	1.2	0.6
60歳～69歳	212	75.9	26.9	15.1	3.8	－
70歳以上	172	74.4	24.4	13.4	4.1	1.2

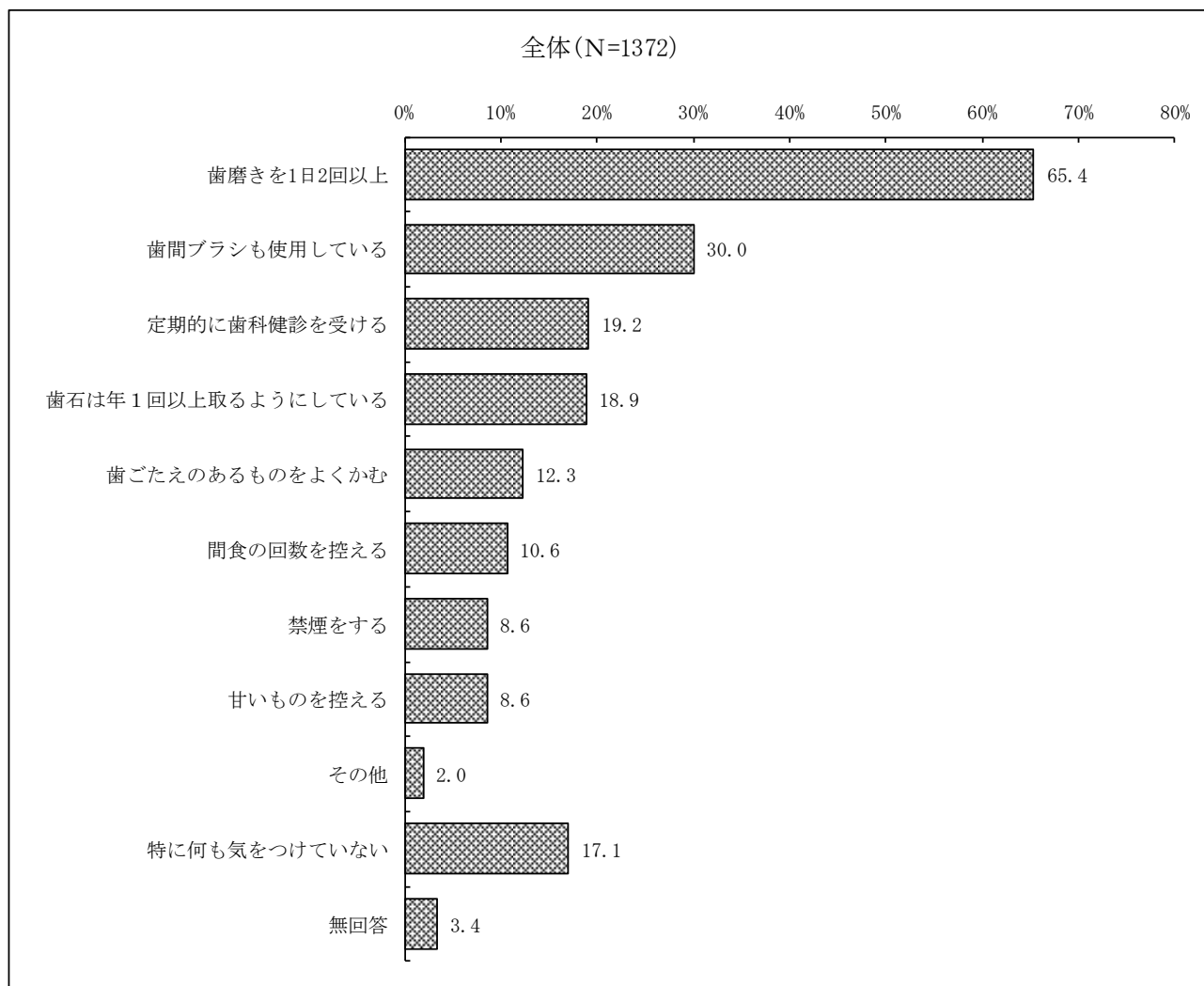
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともに「痛み等症状や気になることがあった時」が最も高くなっている。

年代別でみても、各年代層とも全体と同様に、「痛み等症状や気になることがあった時」が最も高くなっている。

■ 歯の健康のための取り組み実践内容

問 2 5 歯の健康のために気をつけていることは何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。



歯の健康のために気をつけていることについて、「歯磨きを1日2回以上」が65.4%と最も高く、次いで、「歯間ブラシも使用している」が30.0%となっている。以下、「定期的に歯科健診を受ける」が19.2%、「歯石は年1回以上取るようにしている」が18.9%となっている。

歯の健康のために気をつけていることについて、「歯磨きを1日2回以上」が65.4%。

	サンプル数	歯磨きを1日2回以上	間食の回数を控える	歯ごたえのあるものをよくかむ	定期的に歯科健診を受ける	禁煙をする	歯間ブラシも使用している	歯石は年1回以上取るようにしている	甘いものを控える	その他	特に何も気をつけていない	無回答
全体	1372	65.4	10.6	12.3	19.2	8.6	30.0	18.9	8.6	2.0	17.1	3.4
《性別》												
男性	632	53.3	11.1	10.8	14.1	11.4	22.3	13.0	10.9	1.9	23.6	3.6
女性	740	75.7	10.3	13.6	23.5	6.2	36.6	23.9	6.6	2.0	11.5	3.2
《年代別》												
18歳～19歳	36	69.4	5.6	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	－	16.7	2.8
20歳～29歳	143	60.1	11.2	12.6	9.8	14.0	9.8	8.4	8.4	1.4	18.9	1.4
30歳～39歳	219	68.0	6.4	5.5	17.4	6.4	22.8	17.4	4.6	2.3	15.5	0.9
40歳～49歳	240	66.7	7.9	10.0	15.8	4.6	29.2	16.3	7.5	1.7	19.6	2.5
50歳～59歳	240	67.1	12.5	12.9	19.6	7.9	37.9	17.1	7.9	2.5	14.6	1.7
60歳～69歳	285	66.7	11.6	11.2	23.9	10.9	39.3	25.6	12.6	1.4	18.2	3.9
70歳以上	209	60.3	15.3	22.0	25.8	9.1	34.9	25.8	10.0	2.9	15.8	10.0

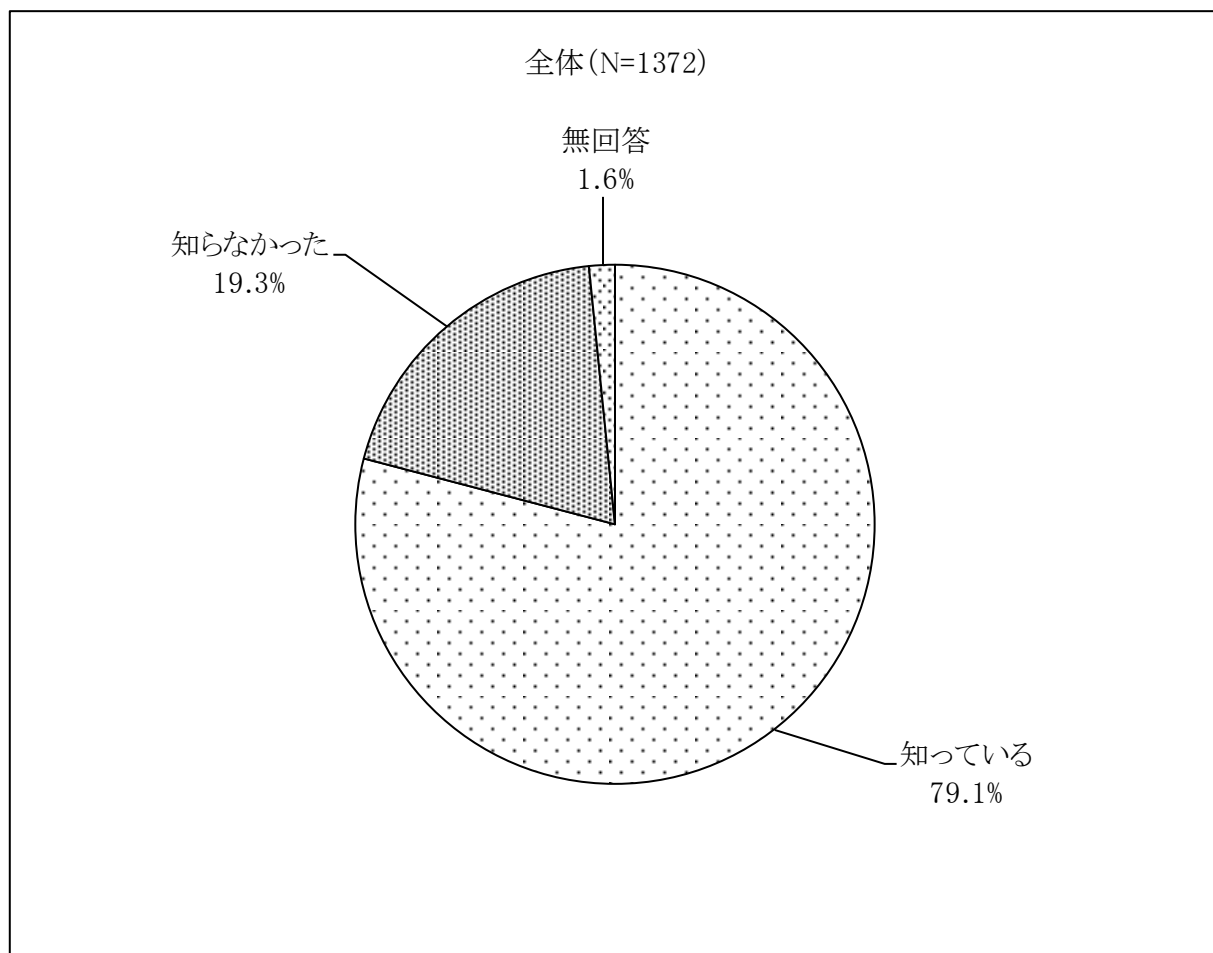
は各属性で最も高い数値

性別でみると、男女ともに「歯磨きを1日2回以上」が最も高くなっており、女性が75.7%で、男性の53.3%より22.4ポイント高くなっている。

年代別でみても、各年代層とも全体と同様に、「歯磨きを1日2回以上」が最も高くなっている。

## ■口腔がんの認知度

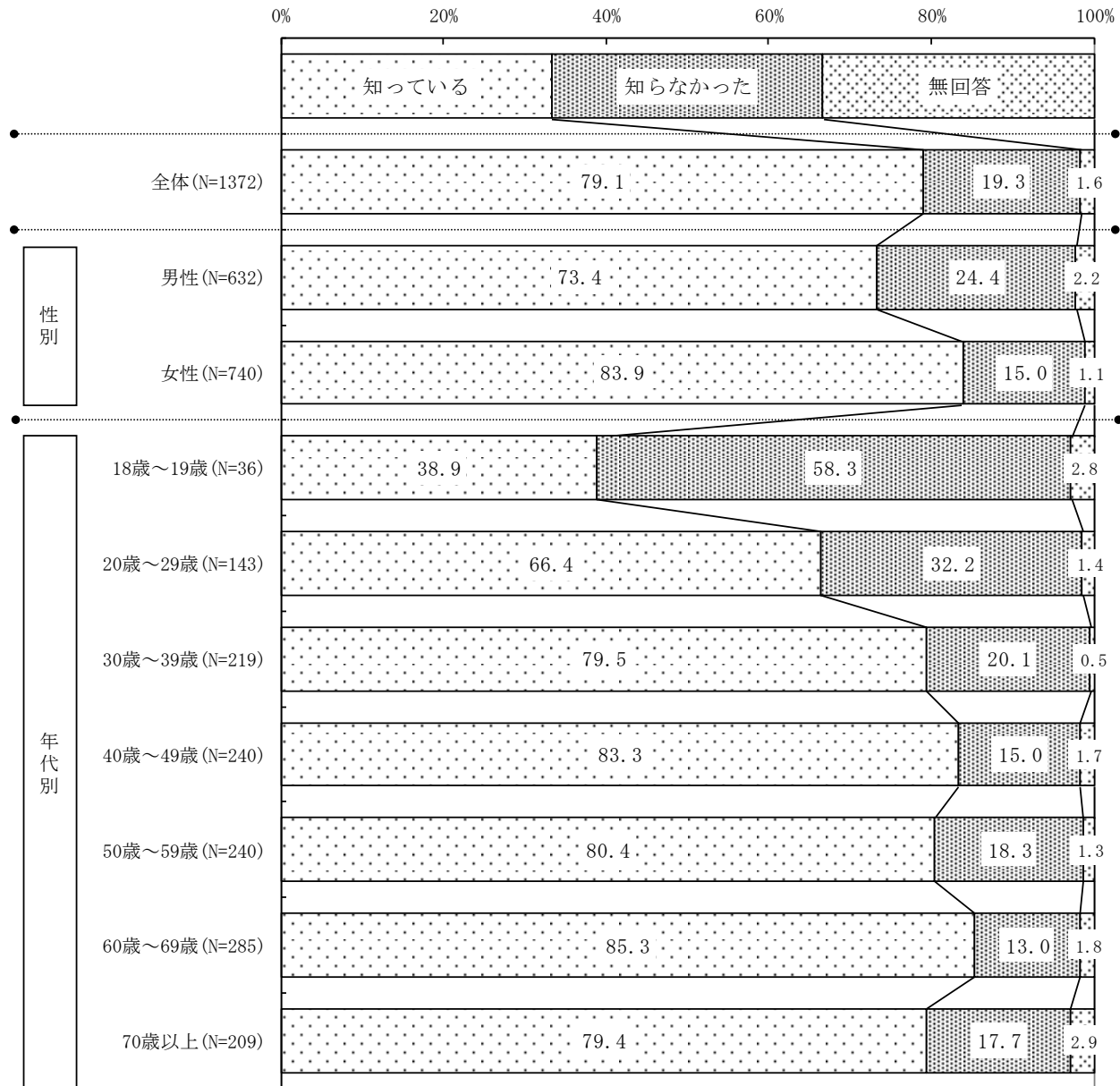
問 2 6      口の中（歯ぐきや舌）に、「がん」（口腔がん）ができることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



口腔がんの認知度について、「知っている」と回答した人が **79.1%**で、約8割となっている。

一方、「知らなかった」と回答した人が **19.3%**となっている。

口腔がんの認知度について、「知っている」と回答している人が **79.1%**。

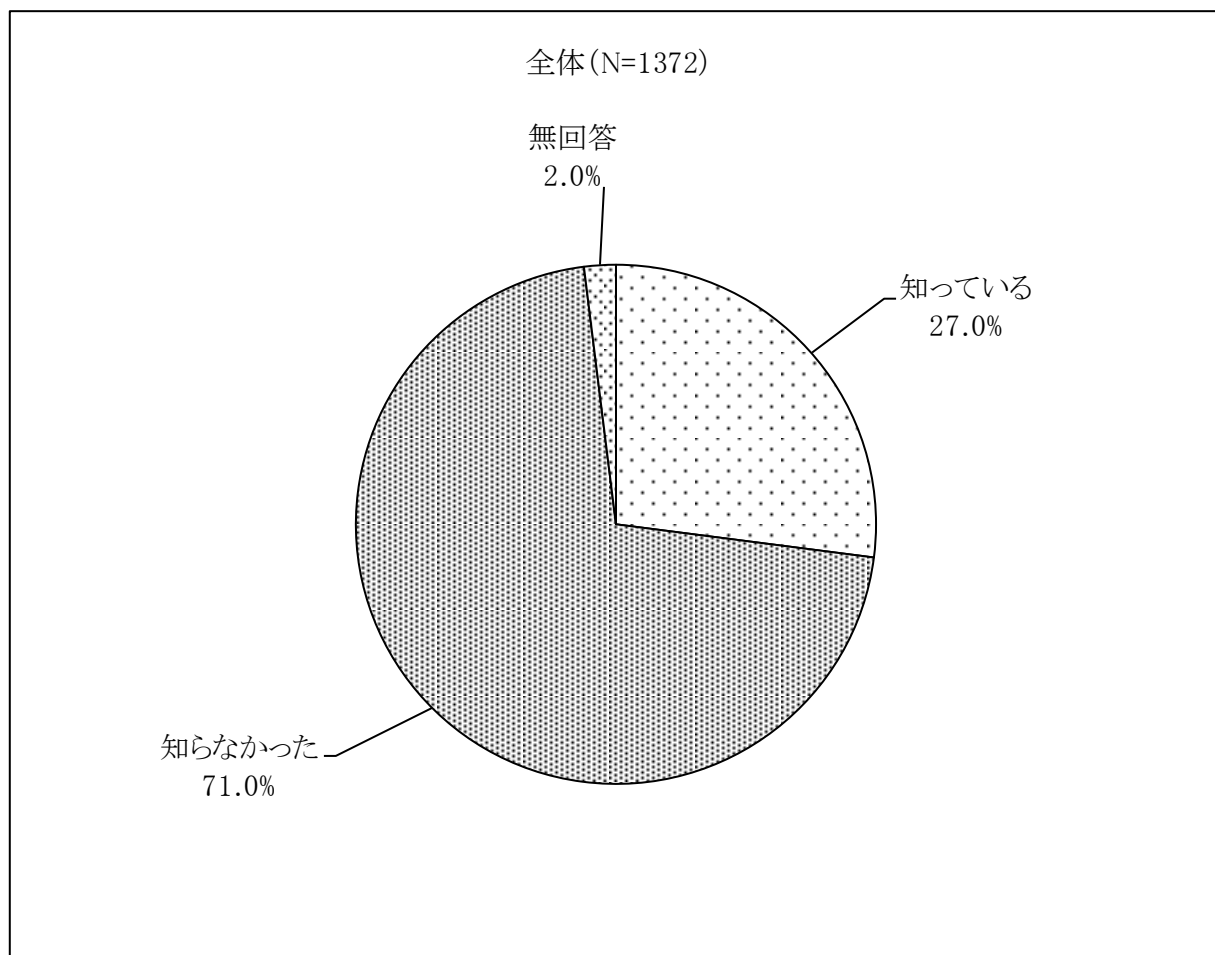


性別でみると、男女ともに「知っている」が高くなっており、女性が 83.9%で、男性の 73.4%より 10.5 ポイント高くなっている。

年代別でみると、20 歳～70 歳以上は、全体と同様に「知っている」が、一方、18 歳～19 歳は、「知らなかった」が高くなっている。

■ 口腔がんの自己発見に関する認知度

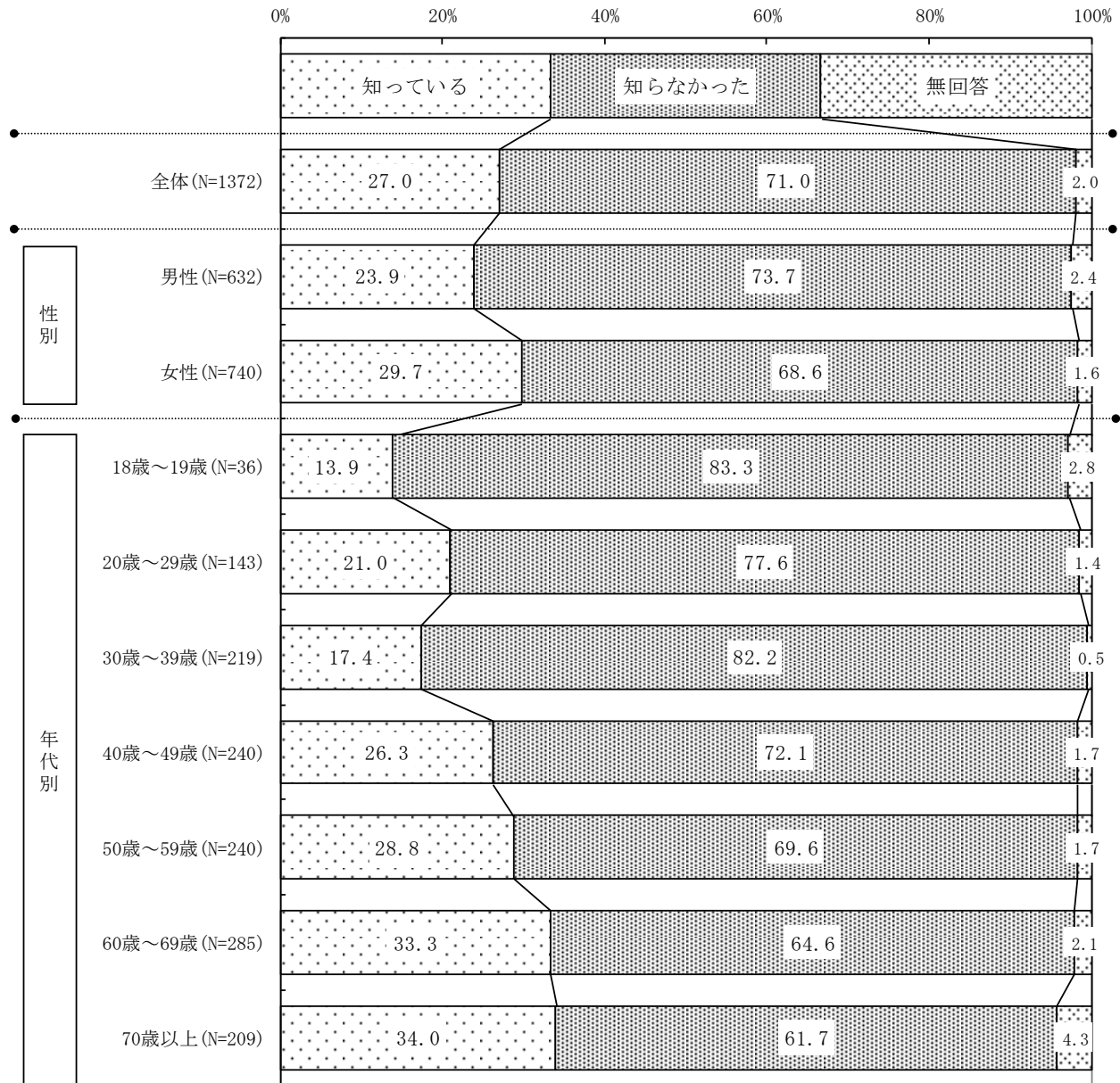
問 2 7      口腔がんは自分で口の中を観察し発見できることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに 1 つ○をつけてください。



口腔がんの自己発見に関する認知度について、「知らなかった」と回答した人が 71.0%で、7 割を超えている。

一方、「知っている」と回答した人が 27.0%となっている。

口腔がんの自己発見に関する認知度について、「知らなかった」が 71.0%。



性別でみると、男女ともに「知らなかった」が高くなっており、男性が73.7%で、女性の68.6%より5.1ポイント高くなっている。

年代別でみても、各年代層とも全体と同様に、「知らなかった」が高くなっている。



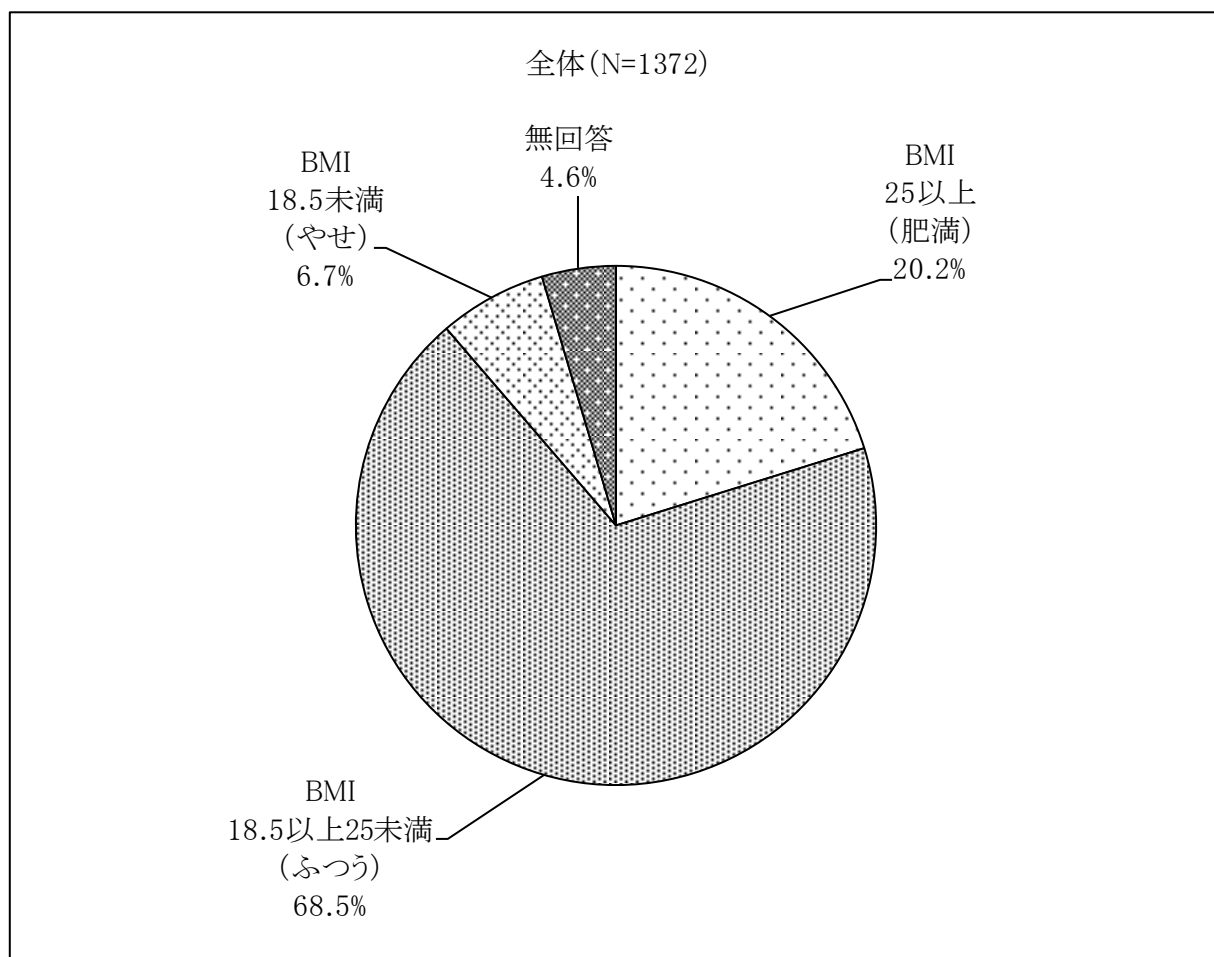
## Ⅱ 市民の健康づくり

### －Ⅶ あなたの体格－

#### ■身長・体重・BMI

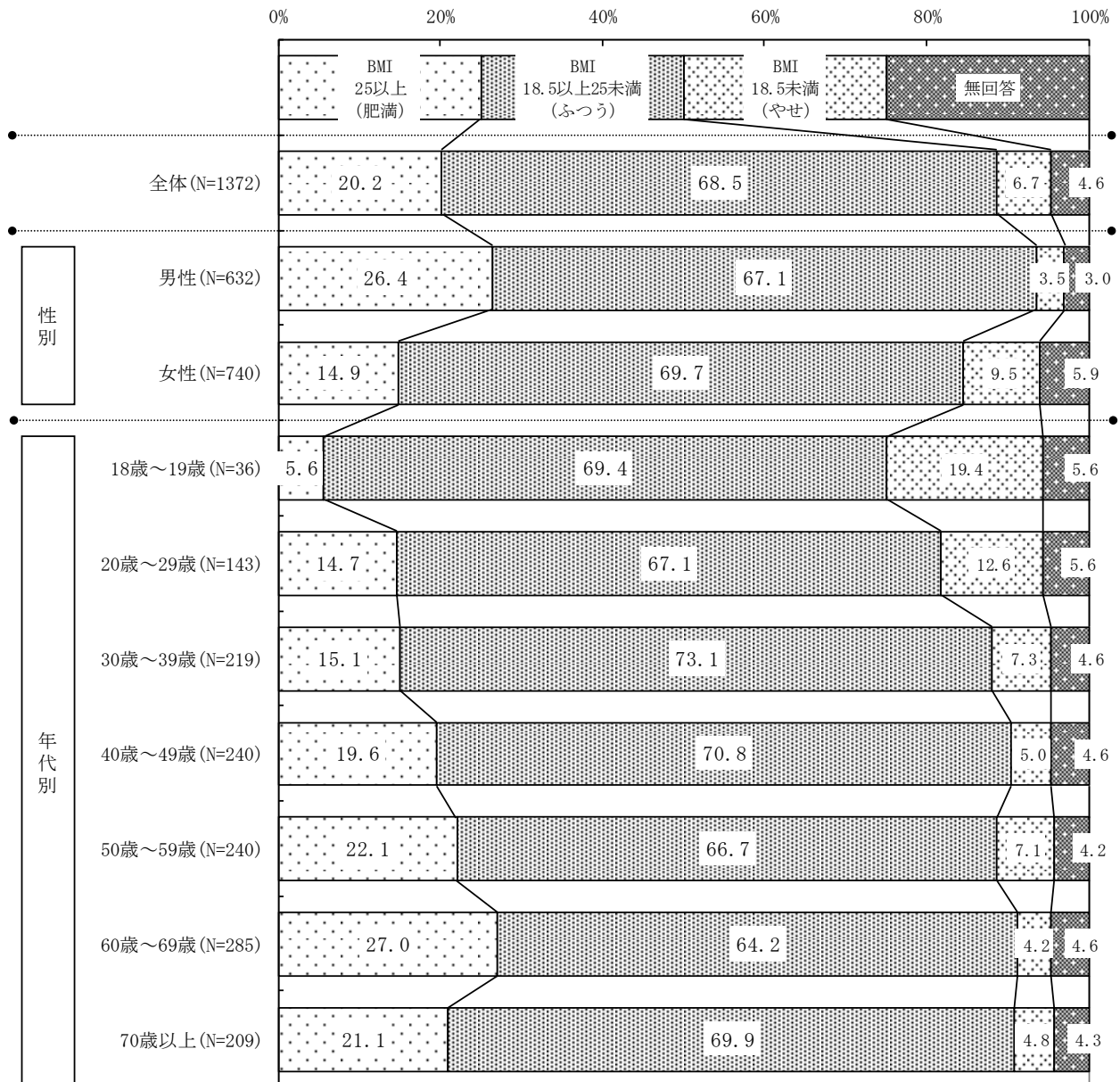
問 2 8      今回の調査にあたり、健康づくりと体格は密接な関係があり、これまでお答えいただいた内容について、分析を深めていくために、身長・体重についてご記入ください。 ※小数点以下第一位までご記入をお願いします。

注：回答欄に記入された身長・体重により、BMI（体重kg÷身長m÷身長m）を算出



身長・体重から算出したBMI（体重kg÷身長m÷身長m）について、「18.5 以上 25 未満（ふつう）」が 68.5%と最も高く、次いで、「25 以上（肥満）」が 20.2%、「18.5 未満（やせ）」が 6.7%となっている。

BMI について、「18.5 以上 25 未満（ふつう）」が 68.5%。



性別でみると、男女とも全体と同様に「18.5 以上 25 未満（ふつう）」が最も高くなっている。また、「25 以上（肥満）」の男性が 26.4%で、女性の 14.9%より 11.5 ポイント高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも「18.5 以上 25 未満（ふつう）」が最も高く、18 歳～19 歳、30 歳代～40 歳代、70 歳以上は、全体の傾向より若干高くなっている。